夕刊
滿洲日報
五月二十八日

馮玉祥氏下野を決意し 近く甘粛に隠遁せん

大勢如何ともし難きを覺り 將領を集めて凝議

【北平特電二十八日發】馮玉祥氏は韓復渠氏の寝返りに依り大勢既に如何ともし難きを覺り廿七日潼關に於いて將領を集めて凝議の結果、いよ〳〵下野して甘粛に隠遁するに決した

閻氏に外遊應諾の返電

【北平廿七日發電】閻錫山氏は曩に馮玉祥氏に對し時局和平解決のため共に外遊せんと打電したが昨日馮玉祥氏より和平手段に依り時局解決を希望すると共に外遊應諾の返電ありしに對し閻錫山氏は今日更に馮玉祥氏に對し和平解決策を議すべく山東省運城まで出迎へられ度いと打電した

韓の寝返りは欺瞞策か

◇奉天某機關に入つた情報

【奉天特電二十八日發】馮玉祥麾下の韓復渠氏の寝返り説は頗る疑問視されてゐたが、當地某機關への着報に依れば、馮玉祥氏がロシヤから供給を受くる兵器とガソリン油の到着するまで中央政府の討伐を再延せしむる欺瞞策なることが判明した

北平の日本公使館 近く大使館昇格

芳澤公使の滯平中に實現か 列國も同意せん

【上海廿七日發電】支那公使館の大使館昇格は六月中旬芳澤公使の北平滯在中實現するに大體決定してゐると確聞する、昇格について列國に我意嚮を通ずべきが固より列國としては不同意を唱ふべしとは從來の關係上芳澤公使より一應期待されない、大使館所在地は北平であるが國民政府との間の用務

外交團會議に提議

【北京二十七日發電】大使館昇格問題は芳澤公使が國書捧呈に依り一切は當地で行はるべく既に重光總領事が大使館參事官兼任たる外天羽書記官は南京總領事兼大使館一等書記官たるに決定してゐる

芳澤公使談

【上海廿七日發電】芳澤公使、天羽書記官、新任南京駐在海軍武官津田大佐一行は本日午後三時上海丸で到着したが公使は語る

大使館昇格問題については既に決定して居り準備もあり適當の時機に昇格する方針であるが未だ一週間や十日中には實現せぬことは確かである、いづれにせよ這は單に時間の問題だ、大使館に昇格しても直に北平を撤退して南遷する意味ではない、昇格は敷地や建物の事ではないことは云ふまでもない、予は引續き當地に留まるから大使館の用務は當方で處理さるべく其の準備も既に整つてゐる

正式承認をなして後一應北平に歸任し移靈祭參列のため南京に赴ける各國公使の歸平を待つて外交團會議開催され芳澤公使より大使館昇格の正式提議をなし日本は大正十四年よりの決定方針なるを以て國民政府正式承認を機會に實現し度き旨を告げ列國の同意を求むるものと豫期されてゐる

故孫文氏の靈柩 けさ南京に到着

卅萬の奉迎者沿道に堵列し 禮砲天地を壓す

【南京二十八日發電】二十六日北平を出發し戰雲漲る津浦線を南下した民國革命の父孫文の靈柩列車は本日午前十時浦口驛に到着した、此の日浦口停車場附近から胡漢民、譚延闓、戴天仇、呉稚暉、蔡元培、王寵惠、王正廷、同夫人、宋子文、同夫人等の中央要人其の他各界代表は續々軍艦のランチで長江を渡り孰も喪服姿を殊に晴れ渡つた南京浦口の

◇……空を 或は高く或ひは低く飛び靈柩車に敬意を表した、百一發の禮砲が打出され數臺の飛行機は弔旗を風に靡かせて紺碧に

◇……碼頭 一帶は早朝から首都衛戍司令派遣の憲兵隊約五百名に依つて警戒され午前八時頃から頭に現しプラツトホームの奉迎位置に就く、軈て午前九時五十分對岸の南京獅子山砲臺から殷々たる禮砲裡に到着、列車からは北平より隨行した孫文遺子孫科鐵道部長孫科（喪主）同夫人、孫未亡人宋慶齡女史降り立ち、之れに續いて徐州まで出迎へた蔣介石氏が姿を現はし之れと前後して孫文の近親者として北平から同道の孫文生前の同志梅谷庄吉氏、山田純三郎氏、前代議士菊池良一氏等の顏も見える、宋慶齡未亡人の喪服姿は人々の心を最も強く打つた樣に見えた

◇……扉は 開かれ晴天白日旗に蔽はれ花環に埋れた孫文の靈柩は四十名の奉仕者の手で列車から靈柩輿に移され奉仕者の肩に擔はれた斯くて靈柩は碼頭に運ばれ軍艦威勝に遷された、此の時碇泊の支那軍艦を始め各國軍艦は何れも弔砲を放ちて弔意を表し我第一遣外艦隊旗艦矢矧も其の列にあり靈柩艦威勝に向つて弔砲を放つた時に十一時四十分、軍艦威勝は中山碼頭に到着し靈柩は各員の最敬禮裡に靈柩車に移され

◇……中山 を一路中央黨部に運ばれ迎櫬行列は八つの小列に分れ各隊の先登にはそれ〴〵軍樂隊が配されて哀の曲を奏でる、參列支那人は白の夏服に黑の靴下を履き蔣介石氏は心持面を伏せながら謹嚴な足取りで靈柩に先行して來る、靈柩が中央黨部の正門に入つたのは午後四時であつた、斯くて本日より四日間靈柩は此處に安置される、下關碼頭より中央黨部に至る沿道の

◇……警戒 には衛戍司令部衛隊、公安局巡警、中央軍官學校學生等一千名が當り沿道堵列の奉迎者は約三十萬人に達した

拓務省開設 六月十日の豫定

大臣は當分首相兼攝

【東京二十八日發電】田中首相は二十七日午後前田法制局長官を官邸に招致して拓務省設置に關する事務的手續に關して種々打合せた結果

一、拓務省開設は六月十日の豫定を以て準備を整へること

一、拓務大臣は内閣改造まで田中首相の兼攝とすること

一、官制公布を十日とするため各大臣は九日午前までに東京に歸り副署に差支へなきようすること

一、政務官は專任拓相決定まで置かざること

一、事務次官は田中首相考慮中であるが大體小村欣一侯と見らる

一、局、課長は來月十日迄に鳩山翰長、前田法制局長官等の手許にて銓衡の上首相の裁決を待つて決定する

ことに大體方針を決定したが拓務局長は内務省の富田社會局保護課長、管理局長は成毛拓殖局長、殖產局長は拓殖局第二課長に落着くべくなほ拓務省開設と共に田中首相は拓殖施政方針に關する聲明書を發表のはずで朝鮮總督上特に朝鮮部設定に關して言及するものと見られてゐる

協調遂に絶望か 市長辭職の他なし

早くも話頭に上る後任市長

助役問題に絡はる大連市會三派の薄渠は依然として除去されぬのみか却て增大し行く狀勢である、革新派中の中立系有志議員が企てた調停運動なるものも擁護派滿鐵派の容るゝ處とならず、殊に滿鐵系は村田議長の辭職を徒事ならしめぬために飽くまで現市長を辭職せしめなければ已まぬといふに傾き革新派の大勢亦益々强硬であつて此等の空氣の中に早くも後任市長候補が話頭に上り、即ち大藏公望男、小川順之助氏等を之に擬してゐる向のあることによつても市會の現勢を察知し得るであらう

村田議長正式辭職

村田氏の辭表 廿七日通達

かねて石本市長に辭職を勸告しつゝあつた大連市會議長村田愨麿氏は其の素志が果されないことを憤慨し廿七日附を以て市會議員辭職書を市役所に通達した

驛傳競爭成績

◇……十九日午前八時十分開始
◇……廿八日午前八時十分現在

紅班	踏破鐵道 二一〇〇・一哩	（實走行程二八〇一・二哩）
白班	踏破鐵道 一三三〇・〇哩	（實走行程二一一三・八哩）

滿蒙鐵道驛傳競爭踏破行程

滿蒙鐵道驛傳競爭

紅白兩班の四勇士 長春で堅き握手

兩班引繼ぎを終つて 東支線と吉長線に勇しく出發

【長春特電二十八日發】海路立派に進むる二十八日午前六時四十四分東支列車は秋山紅班選手を載せて驀進し來り驛頭には長井領事、土肥地方所長、森田驛長、齋藤憲兵隊長、長尾署長、石田郵便局長代理堀江吉長驛長、齋藤事務主任、井上高等、得丸地方委員、野村電信課長、其他多數官民愛讀者の歡迎あり、暫く驛室に休憩し、間もなく南滿より駈け付けた白班加藤選手と偶然にも邂逅しヤアヤアとの叫びに孰も敵味方を忘れて堅き握手を交し「疲れたらう」「うんいや大丈夫」「しつかり頼む」の合言葉勇ましく、白班は北滿を踏破する神藏選手、紅班は吉林の奧深く突進する木村選手に無事引繼ぎ

秘密文書を手渡す

加藤選手から 神藏選手へ

【長春白班加藤選手廿八日發電】吉長吉敦輝吉瀋輝の四鐵道を完全に走破した余は奉天に於ての引つぎを夢みて奉天站に到着したところ更に勇躍長春に飛べとの命に接し氣勢いやも何處へ、やらオーライと三里の道を南滿驛に飛ばし午後十時十分發北行、假寢の夢も結び乘ね今朝七時豫定の如く長春着意外にも紅班の秋山木村兩選手の姿を望み白班第三走神藏選手とともに固き握手を交して前途の武運を祝る「勝てくれ」とバトンを渡して余は神藏選手に武田班長よりの秘密文書を手渡し七時五十分發の東支鐵道ホームに見送つた、戰友神藏君をのせた列車は朝露をついて北へ驀進して其の姿を消した「車よウンと走つてくれ」

を終り、萬歲の聲に神藏選手は七時東支へ、木村選手は八時半吉長に、所定のコースに向つて出發した

怪電報 對策に狂奔

長春に着いた 木村紅班選手

【長春にて木村紅班選手二十七日發電】單騎長驅して豫定の作戰を遂行せる秋山選手に代らんと二十七日夜長春に到着したが、神藏白班選手が吉林驛長に對し「紅班に特別の便宜を與ふること絶對に斷る」旨打電せるを聞き込み鬪志猛然として起り解きし旅装を再びつけ自動車のヘツドライトに闇を破つて人知れず之が對策に狂奔す、天運何れにくみするや二十八日未明には長春驛頭に紅白兩選手相ませずして鐵道の上東西に別れて出發する筈である

白班長善後策

右木村選手の電報を見たる武田白班長は直に吉長當局者に對し神藏が赤に特別の便宜を與ふること絶對に斷はる旨吉林驛長に打電したる趣なるが其心情は充分察するも戰は飽くまで堂々たらざる可からずとて吉林驛長に電報を發した

天氣豫報

廿九日（晴）西北の風 後晴れ
日出四時二十一分 日沒七時十分
滿潮前一時十五分 後一時三分
干潮前七時 後八時四十五分

荻川放談（44）

弔文（其二）

頃日蔣馮の抗爭は次第に募る、たゞしその何れに軍配の揚がるやは知らぬが、蔣側にある強味は、軍費兵員の多少なんかと云ふものよりも革命完成後に内亂なしとの期待が裏切らるゝ民衆の不平次から次と起る戰爭の軍費徴發を厭ふ財閥の離反蔣政府首席の專斷獨裁からしての政府及與黨内部に於ける動搖

此の味があるから蔣も都々に立てぬ、その立つは、故孫文移靈祭が終つてからと云ふも、口實なるなからんや。

◇

されば、と云つて、馮の安きに居つて機を狙ぶの主義は、彼をして蔣に先んぜしむることをなさぬ、而已ならず馮側にも、次の弱味がある

絶えず志を二にするが故を以て誰しも其聯盟たるに躊躇する露國と提携して國家を售ると の惡罵を浴せられ世間から同情なし

斯うだとすると、双方共に立派な名義を摑まねばならぬ、確實なる基礎を踏まねばならぬ、合戰などは易く起されないが、それにしてもこゝらで双方さらりと確執を捨て、元に還つて革命の完成に努力してはどうか。

◇

山西の閻錫山が此の時に方り嚴正中立を聲明す、是れ自衞の爲と目せらるゝが、併し此嚴正中立は、蔣側の戰意を弛めるに足る、これが弛めば馮側とて反將氣分を和ぐるに違はぬ、そこで妥協じや、而して此妥協に一層の効果を齎すべきは、張學良の態度なり、若し張學良にして眞に革命の完成に專念し、東北四省の保境安民に寄思するなら、唯國民政府の遣り口に迎合するばかりが能でない、こゝで天晴れ大政治家たる手腕を發揮し、先づ蔣馮間に居中調停を試み、然る後に於て關内出兵なんかのことを定むるのである。

◇

支那の政權把握者の一人として斯ふした力量を示し能ふは、現在に地の利を得たる張學良あるのみ、彼にして人の和を得んか何事か爲し遂げられざらん、さるにつけ、亡父の功績を揚げ、亡父の遺業を繼ぎ、吾また天下國家を志さんとするに於てまのあたり彼が履み行きつゝある途は餘りに平凡で、寧ろ其脈中妻なさを感ずる、志すところ如上にあらざれば乃ち止む、然らざればこゝ一番發はどうじや而して此奮發は保境安民から始まらねばならぬ、人の和は是から來る。

松岡滿鐵副社長 卅一日東京出發

上京中の松岡滿鐵副社長は卅一日東京發歸社の途に上ることに決した旨滿鐵本社に通告があつた

人事

▲安藤嚴水氏（帝國在鄉軍人會代表弔魂祭參列の爲長春着）二十九日夜六時着列車にて來連

▲井上藤太郎氏（會計檢査官）隨員二名と共に廿八日夜旅順より來連遼東ホテルへ

大觀小觀

◇大島、關西地方行幸。遙かに御旅路の御平安を奉禱す。

◇乾坤一擲の面爽が今にも起らうとして遂に起らず、流石に支那だ。やがて傲慢な馮派がへばる。

◇馮氏下野して甘粛に入る、虎が野に歸つたわけ。但し此の虎はもう牙が拔けてゐるらしい。

◇北滿のクーデター、とても勇ましいことではある。

◇市會の協調遂に成らずといふ。ドウでも宜し。

旅日記

熊岳城にて　遲塚麗水

金州の閻氏の邸に一夜を過ごし翌朝城壁の上を一周す城壁に晴れ行く霧や花馬鵬夜は熊岳城の溫泉場に宿すアカシヤの花の散り込む河原風呂

熊岳城の溫泉は伊豆の下鴨にさながらの風趣あり

關西地方行幸の聖上陛下

常春、傳說の島へ けさ帝都を御發輦

閑院宮始め文武百官奉送裡に 略式鹵簿に召され

【東京廿八日發電】天皇陛下には豫て仰せ出しの如く常春に綠光映ゆる傳說の島八丈、大島兩島を始め西日本の兩大都市大阪神戸へ十二日に亘り行幸、親く赤子を臠はせられ産業狀態を御覽あらせらるべく二十八日帝都を御發輦先づ八丈島に向はせられた、この日の朝海軍樣式大元帥の

「御軍裝」大勳位略章を佩ばせられ颯爽たる御英姿の天皇陛下は御車寄せまで皇后陛下並に照宮樣の御見送りを受けさせられ暫しの御別れを告げさせられて鈴木侍從長御陪乘の自動車に召させ牧野內府、西園寺侍從、奈良武官長を始め侍從御用掛、武官供奉の略式鹵簿にて午前八時五分宮城御出門、市民堵列奉送裡を、東京驛に着かせられ、直に久保田東京鐵道局長の御先導にて、閑院元帥宮、伏見大將宮、賀陽宮、東久邇宮、秩父宮妃、竹田宮大妃殿下、東鄕、山本兩大勳位以下文武百官の奉迎送の裡を同十五分東京驛御發、一路「橫須賀」に向はせられた、岡田、望月、小川の三大臣は御同乘、橫須賀まで扈從申上た

皇禮砲轟く中を御召艦に御移乘

橫須賀を御出發遊さる

【橫須賀廿八日發電】天皇陛下御召の宮廷列車は午前九時四十分橫須賀驛に御到着、この頃御召艦那智を始め在港八十餘艦より二十一發の皇禮砲殷々と響き渡つた、陛下には海見波止場まで土屋侍從御先行、岡本、海江田兩侍從奉持の寶劍、神璽を前後に玉步を運ばせられ水雷艇にて沖合なる御召艦に御到着、荒山那智艦長の御先導にて御乘艦遊ばされた、時正に十時四十二分メーンマスト高く錦繡綾なる天皇旗翩飜と輝き紺碧の海原に映じ莊嚴さを添へた、斯くて十時四十五分御召艦那智は灘風、島風、潮風の供奉艦を從へ東京灣港外へ進んだ

多數の秘密書類と共に 支那官憲七十名を押送

昨夕六時、二臺の自動車にて

哈爾賓勞農總領事館事件

【哈爾賓特電二十七日發】既報勞農總領事館內の家宅搜査を行ひつゝあつた支那官憲は二十七日午後六時に至りメリニコフ總領事を除く館員全部及び共產黨員ら約七十名を自動車二臺に分乘せしめ多數の秘密書類と共に警察署に押送した、右檢擧の原因につきその後判明した處によると二十七日午後一時から領事館內に於て約五十名の共產黨員が極秘裡に集合援滿問題および急變せる支那の政狀に對し第三インターナショナルとしての積極的運動を行はんとして討議せることを探知したゝめであつたと謂はれてゐる なほ詳細なる眞相は押收せる秘密文書の整理を待つて判明するであらう、之がため支那側では各沿線のコーペラチーブその他勞農機關に對し嚴重なる警戒を加へつゝある模樣である

張景惠氏反駁

【哈爾賓二十八日發電】東鐵副總裁ドルキン氏は張景惠氏を訪問し領事館員は何等關係なしと再抗議したが、張氏は領事館に於ける共產黨の會合は社會秩序を亂し國際公法に違反すると辯駁した

東支沿線に於る 勞働組合も閉鎖か

【哈爾賓二十八日發電】一說に依れば哈爾賓領事館同樣奉天領事館も搜査されたと傳へられ、書類の內容如何に依つては赤化宣傳の根據地東支鐵道沿線一帶の勞働組合の閉鎖もなすべき狀態にあり、一方支那要人は緊急會議を開き搜査顚末を張學良氏に打電した

或は支那側が 奉露協定破棄か

【哈爾賓廿八日發電】哈爾賓領事館の手入は南方戰局の發展に伴ふ奉軍の關內出動を豫想し蒙古軍を總動員し背後より奉天派を脅かさんとし且つ赤化宣傳を行はんとした露西亞側に一大彈壓を加へたものであるが、支那側は二十七日午後五時よりソウエート系のグランドホテルの電話線を切斷した、なほ支那側は今回の事件を端緒に奉露協定破棄の態度に出でんとも限らない、一方本事件は張學良氏と蔣介石氏が合議の上行はれたとの說がある

對支赤化 宣傳を協議

事件內容發表

【哈爾賓廿八日發電】支那官憲は二十八日午前一時事件の內容を發表したが、その要點はロシヤ共產黨員八十名（內四十一名は領事館員）は二十七日正午より領事館に會合し午後三時まで第三インターナショナル對支赤化宣傳につき協議したとある

巧妙な 押收の書類

【哈爾賓二十八日發電】押收書類は自動車で支那警察に運ばれたが右は第三インターナショナルの對支政策に關するもの多く一般支那政情を書き連ねた書類の裏面に第[illegible]

實滿野球 爭霸戰前記

ファンの期待する 滿倶新人の活躍

守備は鮮麗堅實共に兼備 攻擊の中心勢力

あと數日に迫つた實滿野球戰に對する全市野球ファンの興味は、この頃の氣溫が昂騰するやうに一日毎に濃厚となつてゆく、グラウンドに兩軍の

練習振り を見物に集る人の數がスタンドに多くなつてゆくのも無理はない、練習を見に來る連中の中には全體としての練習振りを見て、晴れの試合の勝敗を豫想する者も多いが、新入選手の一擧一動に仔細の注意を拂つて兩軍實力の比較を試みようとするファンが少くない、即ち新しい選手は滿倶側に最も多く、今年の實滿戰の人氣の大部分を集中しようとしてゐる濱崎投手を初めとして昨年まで

傳統的に 滿倶の缺陷だつた內野を充實して、守備を安泰に導かうとしてゐる、二壘手として現在日本一と謳はれてゐる永澤選手、實業の高橋三壘手同樣ジミな振りではあるが確實無比な吉野三壘手（舊大連商業遊擊手で山口高商出身）それに六大リーグの遊擊を凌駕してゐた國學院大學出の長澤選手、高崎中學出で俊敏な井上外野手、それに滿倶のピッチングスタツフに一段の勢力を增した松山高商出の藤枝、大商出の小松兩投手、好防

猛打者と して工專時代から鳴らした廣津捕手の七人である、この內レギュラーメンバーとして實滿戰に出場を豫想されるのは永澤、吉野、長澤、濱崎の四選手で井上外野手は左翼の守備を練習してゐるが、打擊が好いので出場の可能性多くピンチヒッターとして兒玉投手と共に後詰の備へには是非なくてならぬ重要な地位に置かれてゐる、藤枝、小松兩投手は場馴れのせぬ點に於いて兒玉、青山、濱崎三投手に萬一の故障以外本年はベンチを溫めるほかはあるまいと見られてゐる、廣津捕手も同樣の意味で片岡正捕手の後陣たるは蓋し自然の趨勢であらう

新入選手 は概して打擊の確實な連中で攻擊の中心となり猛然として實業の堅陣に迫ることであらう、第一回戰に濱崎を立てるか、青山、兒玉の內から投させるか、この點は秘中の秘として窺知するを得ないが、前記の新人を加へ第一回戰の滿倶のメムバーを豫想すれば大體左の通りではあるまいか

投	捕	一	二	三	遊	外野
濱崎	片岡	疋田	永澤	吉野	長澤	田原、芥木 [illegible]

寫眞說明

（上）永澤二壘手（中）右は井上外野手、左は吉野三壘手（下）長澤游擊手

安藤嚴水中將 今夕着連

帝國在鄕軍人弔魂團一行は廿八日午前九時二十五分遼陽を出發し途中鞍山を見學し同日大石橋に一泊の上、明二十九日朝營口を見學次で同日午後七時旅順へ赴き同夜はヤマトホテルに投宿の豫定であるが尚三十日は戰蹟を視察し夜は軍司令官招待の晩餐會に臨み同夜の最終列車にて大連に來る豫定である因に團長安藤中將は二十八日午後六時着列車で來連すると

親なればこそ

苦界の娘の落籍を依賴

原籍山口縣佐波郡小野村字中山四九中村忠吉長女俊子（二一）は大正十五年十二月市內惠比壽町西檢番から八千代と名乘前借二千三百圓五ケ年契約で藝妓となつて出てゐるが廿八日福岡縣若松市に居る父より「母サタが病氣だから是で身を洗つて歸らして吳れ」と三井銀行振出朝鮮銀行宛の大枚二千百圓の小切手を同封し大連民政署長宛依賴して來たので直に管轄小崗子署より目下樓主に交涉してゐる

僞造印紙を貼り 上海煙草を密賣

けさ露天市場で發見 小崗子署活動を開始

二十八日朝小崗子露天市場一區一八九雜貨商孫中倫（三一）方店頭で煙草に僞造スタンプを押して居るのを偵邏中の刑事が發見取調べた處以外にも數十枚の關東廳の煙草收稅印紙及び印紙の無き密輸煙草多數あり直に小崗子署に引致嚴重取調べた處次の如き事實が發覺した即ち該印紙は僞造で芝罘で製造されて居るらしく、彼等は密輸の上海製煙草ラットに是を貼付し八錢のスタンプを捺して賣出して居たもので、一箱二十五個入につき民政署から卸されるより三十錢の利益あり、他に相當連絡があるらしく小崗子署では刑事を八方に派して各方面に探索を續けてゐる

社員招聘

一、年齡二十五歲より四十五歲迄、中等教育以上の者採用す

御希望の方は履歷書携帶本人御來談を乞ふ（但し午前中）

外勤　數名
內勤　一名

帝國生命大連出張所
大連市但馬町五一
電 七〇五六

獎學基金橫領の 松田は懲役一年

けふの公判で求刑さる

遊女に現を拔かし獎學基金財團の公金一萬二千圓を橫領した元滿鐵學務課勤務松田豐（二九）並に植田タカ兩名に係る橫領私文書僞造行使詐欺事件の公判は二十八日午前十時から大連地方法院にて長島判官係池內檢察官立會の下に開廷された、被告松田は判官の事實訊問に對して素直に犯行の全部を認め判官の慈父の如き懇々たる意見に流石ほろりとしてゐた、相被告のタカは女だてらに强たか者で男が不正手段で金を得てゐると知りながら男を騙まして身受けさせたと悪びれた風なく申立てた、立會檢察官は男に懲役一ケ年、女は贓物罪も併合されて懲役一ケ年罰金五十圓の求刑があつた

胴體を眞二つ

製材中の木挽

市內北大山通四番地秋田商會木挽工董振發（三〇）は二十八日午前九時三十分ごろ同商會工場に於て製材に從事中、過つて製板機に卷込まれ胴體を眞二つに切斷され、悲慘なる卽死を遂げた

菓子屋と豆腐屋に 夏期衞生の注意

けふ夫々大連署から

傳染病流行の時期を目前に控へて大連署衞生係では近く飲食店の一齊臨檢を行ふ筈であるが、これに先だち二十八日午前十時から管內の菓子製造販賣業者百五十餘名を召集し、菓子製造工場及び什器の淸潔、蠅の驅除、從業員の健康等につき充分なる注意を與へ、なほ今後製造職人には白衣をまとはせることにした、更に同署では二十九日午前十時から管內豆腐製造業者七十餘名に對しても同樣の注意を發する筈である

遣外驅逐艦

けさ旅順歸港

大連入港中の第二遣外艦隊驅逐艦「槇」「椿」の二艦は二十八日午後一時出港の豫定を繰上げ同午前九時出港旅順に歸港したが、既報の如く海事思想普及の爲め一般市民約三百名を便乘せしめた

湖月園生花會

佐藤湖月園社中の生花大會は六月一、二の兩日市內大山通花園席で開催するが、當日は青山御流生花及び湖月流投入、盛花、盛物等五十餘瓶の出陳あり、又別席で抹茶の饗應をなし一般の觀覽を希望すると

南船北馬

◇…昭和の軍事美談が滿洲駐劄福知山聯隊內にあつた事は本紙既報の如くであるが今回マキノキネマ撮影所で之を映畫化し近く公開することになつたと留守隊から遼陽の本隊に情報があつた【遼陽發】

◇…二十六日午前八時ごろ鐵嶺驛三等待合室で新聞配達夫張廣河（一五）が備へ付の消火器を轉倒し流出する水を止めやうと無鐵砲に逆にした爲め强硫酸と重曹が爆發濛々と噴出し初めたので面喰つて投出すと消火器は八尺ばかり飛上つて行程十四米突弱の大飛行といふ前代未聞の離れ技を演じたが居合せた揚巡警は氣の毒に負傷した【鐵嶺發】

平安異香（2）

葉多默太郎作　中一彌畫

非常線（二）

大事なところで呼ばれた彌陀六

「あゝいけねエ、おつうちやん、引込んだ引込んだ」

窓から出かゝつた女の頭を押込んでおいて、ばた／＼と驅けて行く。と、雜木林を拔た所でばつたり出會つたのは、この邸で相撲と稱んでゐる年增の愛嬌のない女中

「何をしてゐるのだね、六さん。こんな日にはちやんと御殿の近くでゐてくれないと困るぢやないの何時、どんな用事が出來るか分らないのに」

「へエ」

「このお人を送つて上げておくれ栖倉樣のお邸へ、これから行くのださうだから」

「へエ、畏まりました」

「直ぐ歸つておくれよ。まだ／＼忙しいのだから」

云ひ捨てて、そゝくさと御殿へ返つて行く相撲。後にのこつたは先刻御殿で東踊りを踊つてゐた傀儡子の女だ。小袖に水干のまゝの姿で立つてゐる。

「こいつは困つた」

呟いて彌陀六がチラと女の顏を見ると、すつきりと水際立つて美しいには美しいが、胸の病でもあるのか、いやに色が青くつて、つゝましく伏目になつてゐる。

「御面倒なことを御願ひ申しまして」

「へエ、いや、どういたしまして さあ、どうぞ此方へ」

彌陀六は何を考へたものか、女を導いて雜木林の中の小徑を往く

「あのう、こちらでございますか」

「へエ、裏門は直其處ん所で」

そして出て來たのは例の納屋の前だつた。

「お女中はこれから栖倉樣へおいでになるので」

「えゝ、少しも早く參りたいのでございますが……アラ……」

「こ、聲を出しちやいけねエ」

突然女の頸を抱きこんだ彌陀六が、片手で女の口を抑へて了つた

「な、なあにお前吃驚することたあねエ、命を貰ふのなんのと、そんな大それたことをするこの彌陀六ぢやねエ。な、堪忍しなよ、これも前世の因緣だ」

云ひながら彌陀六、醬油で煮しめたやうな手拭を女の口の中へ詰めこみ、水干を剝ぎ、帶に手をかけてくる／＼と解き、小袖を脫かすと女は裸體だ。

「南無阿彌陀佛、寒からうな。だが一寸の間だ、我慢しなよ」

裸體の女を、逃げ出さぬやうに樹に縛つておいて。

「おつうちやん、さあ出て來な、さあ」

「あいよ」

窓の下につくばつた彌陀六の背を踏臺にして、おつねが漸う窓から下りると、

「おつうちやん、さあよ、早くこの着物と着替へな」

「まあ、そんなつもりだつたの、偉いわねエ六さん」

おつねが女傀儡子の衣裳を着る間に彌陀六がおつねの着物を女傀儡子に着せて了つた。

「お女中、重ね重ねの無理なお頼みで申譯ねエが、晩の辨當の時刻迄身代になつてゐておくんなよ」

ぐつたりとなつてゐる女を、窓から納屋へ投りこんで、五人力の力で曲がつた鐵格子を直すと、彌陀六はおつねの手をとつて裏門へ走つた。

おつねが水干をすつぽりと頭から被いだので、門番は遊女だと思つて默つて通す。が、門を出ると

「さあ、どうぞお召なすつて」

一挺の袖襖が鋒棒を揚げて待つてゐる。

考へてみると、遊女を送つて行けといふのだから、輿の用意くらゐはさせてあるのが當然だが、そこへ彌陀六は氣が付かなかつた。

ぐつと唾を呑んで目を白黑してゐると、當のおつねはいきなりぽんと草履を脫いで、

「御苦勞ですね」

すうと輿の中へ入つて、座つてしまつた。

「あいよ」と輿は揚がる。

「なあるほど、おつうちやんはあれでなか／＼確かり者だ。裏門あたりで愚圖々々云つて輿丁に疑はれでもしやうものならそれつきりだてんで、默つて乘つたもんだな」

彌陀六に漸うおつねの心持が呑みこめたのはそれからもう小一丁も行つた時分だつた。見ると、栖倉右京太夫樣の御邸が、斜になつた日差に甍を光らせて、つい其處に立つてゐる。

「こいつはいけねエ、あすこへ擔ぎこまれた日にや、何も彼も毀れてしまふ」

發聲映畫雜話（三）

矢野クニジ

トーキーとは是等發聲映畫の總稱であることは云ふまでもないが、これを興行、製作と云ふ二方面から考慮して、全く寫幕の無いものをオール、トーキー又は百パーセント、トーキーと云ひ、部分々々をトーキー化したものをパート、トーキーと云ふことは既に讀者御承知の通りである。

次にトーキーの內容に立到る順序になるが、2、3はフイルムに寫眞と音響とを同時に記錄する所謂フイルム、メソッドで殆と全く其の原理を1に等しくするものであるから、フオノ、フキルムによつて代表せしめて以下記述することにする

このヴアイタ、フオン方式は未だ筆者が其の內容に接しない爲め、たゞ特殊の自働的に板を取り替へることの出來る蓄音機板を映畫と巧にシンクロナイズせしめ（同期電動機等を用ひて）そのレコード音をラヂオの眞空球を應用した擴大裝置に導き、任意の音量となし、これによつてスクリーンの裏面に置かれた擴聲器を動作せしめて最初の音聲を再現せしめる（これをレコード式と云つてゐる）と云ふ程度より以上に識り得ないのは甚だ恥しい次第である。

だがトーキーで最も重要であり且又最も苦心を要した興味ある映畫と音響とのシンクロナスモーションは、フオノ、フキルム一般にフキルム式に見るべきで、如何に是等の諸點が巧妙に取扱はれてゐるかは實に驚異である。ラヂオの心臟とも見做すべき眞空球の發明者にしてはじめてこのフオノ、フキルムの發明があつたと合點せしめるのである。

ド、フオレー博士が一口に云へば音響のエネルギーを電流のエネルギーに轉換し、更にこれを光りのエネルギーに換換して而もそれを特殊なものを用ひず現用キネマ、フキルムに寫眞と並行して音を燒きつけた（一寸變に聞えるが）と云ふことは、今日トーキーをトーキーたらしめた所以で、當時のエディソン式に比較して大なる進步であると云はねばならない。

この音響のエネルギーを電流のエネルギーに轉換すること（或はこの逆）は日常のラヂオによつて我々はこれを容易に行つてゐるが、最後に光りのエネルギーに換へてタイム、ラッグ（時間の遲れ）無く、瞬間々々の音響の變化を寫眞とシンクロナイズせしめつゝフキルムに記錄し、映寫に當り再び音響を寫眞とシンクロナイズせしめて再發せしめると云ふことは、可成り六ケ敷い問題で、この兩者のシンクロニズムと云ふことは、ラヂオ界の發達進步に依つて初めて完成せるものと云つて決して過言では無いのである。

スペインの花

ロナルド・コールマンとヴィルマ、バンキーの最後の共演映畫といふのが興味をそゝる

◆オルチー夫人の原作「レザーフエース」をミラー女史が脚色してフレッド、ニブロが監督した十卷もので、結局はハピーエンドとなる悲戀舞曲でフランダースがスペイン支配下にあつた頃の戀物語でコールマンのリイクとバンキーのレノラ姬が例によつて定石通りに支配人の暴政に虐げられて最後に愛の殿堂を築くといふのがこの映畫の梗概である

◆ところで見てゐる方ではコールマンとバンキーだといふので最初から終局を想像してゐるだけにニブロ監督の手法が少々ファンをアッピールするのに熱が不足してゐる、第一卷で頻りにオーヴアーラップで疊みかけた手法は次第に手堅い一方な可もなく不可もないといふ調子に進んでゐるが、流石にフオローシーン其他にニブロの冴えが閃めいてゐる【演藝館上映】

昨日の船で警視廳の檢閲係長橘高廣氏が來連、ファンには立花高四郎といつた方が通りが良い▲日程のなかに、市內映畫館視察が含まれてあるが、その感想が妙に興味をそゝる▲それから社告の如く講演會を開くが演題は氏の著書「映畫の見方」と「教育映畫に就いて」によつたものである▲會場は約二百名位しか收容出來ぬから成るべく早く來場されたい▲日活の「東京行進曲」は天然色を挿入した爲め燒き增が間に合はず浪速館の內地同時封切は延期されるらしい▲其代りに河部五郎の「赤垣源藏」を上映する▲情報課の映畫班は都合で娘々祭行きを中止した▲今週の演藝館は高級ファンには「スペインの花」だらうが▲却て帝キネの「波浮の港」とマキノの「續水戶黃門」が大衆受けがして人氣を呼ぶものと見られてゐる

新日本少年文學全集

豫約募集

〆切迫る

内容見本進呈

申込〆切 五月卅日

第一回配本開始 長篇童話集

豐かな滑稽味の中に敎訓を含み、面白みの中に眞理を考へさせ、愛を敎へ平和を敎へ、人間のたましひの尊さを敎へる點に於て、沖野先生のお話は誠に傑れたものであります。その傑作中の傑作が此の集です。

▲世界に誇るべき本全集の内容

1. 建國物語集 蘆谷蘆村
2. 長篇童話集 沖野岩三郎
3. 實演童話集 久留嶋武彦
4. 科學童話集 廣田花崖
5. 宗敎童話集 野邊地天馬・岩村やす子・栗津勤・小野田露村・村岡花子・中根眞雄・内山憲堂・樫葉勇
6. 童謠傑作集 北原白秋・三木露風・川路柳虹・河井醉茗・濱田廣介・白鳥省吾・水谷まさる・大木篤夫・百田宗治・西條八十・野口雨情・井上康文・萬原秀夫・藤森正夫・福田御風・相馬サトウ・ハチロウ・他數十名
7. 冒險小説集 安倍季雄
8. 世界神話集 松村武雄
9. 幼年童話集 岸邊福雄
10. 文藝童話集 小川未明・久保田万太郎・小嶋政二郎・澁澤青花・千葉省三・濱田廣介
11. 水木京太・鹿嶋鳴秋・北村壽夫
12.
13. 動物童話集 上澤謙二・樫葉勇・安倍季雄・野邊地天馬
14. 女流童話集 與謝野晶子・茅野雅子・德永壽美子・横山美智子・小寺菊子・宇野千代・村山籌子・北川千代子
15. 歴史小説集 江見水蔭・笹川臨風
16. 名作物語集 仲木貞一
17. 兒童劇集 坪内逍遙・生田葵・小寺融吉・岡田八千代・長尾豐・多田不二
18. 傳説童話集 藤澤衛彦・佐田至弘・中田千畝・西岡英夫

略規 ▲申込金貳圓（最終會費充當）▲毎月拂込金貳圓▲外に送本料を要す▲六月より毎月一回配本

體裁 ▲四六判天金▲裝布製極美本▲十二ポイント組總振假名付▲毎卷彩色石版挿畫數葉▲紙數毎卷三百五十頁

東京市麹町區内幸町一丁目六番地 國民圖書株式會社 電話銀座七八三・二八八・三六八六 振替口座東京五二二九八番

佐佐木信綱博士編 九條武子夫人書簡集

壹圓五拾錢 送料八錢

好評忽十五版

九條夫人を追慕する人々に久しく待たれた書簡集が美裝して世に出た。書簡は、初めから公表されることを豫期されない全然の親展書であるから、餘所行きの心持が少しも交つてゐない。それこそ心に思つたことが、包まず、飾らず、其のままに記してある。從つて、本書は夫人の心に秘められた、信念、社會觀、人生觀、結婚觀を窺ふに頗る便利であつて、本當の夫人を知るには、「無憂華」「薰染」に併せて、本書を讀まなければならない。また婦人の書簡文範としても推奬したい。

—内容—

◇三河島千軒長屋（小川鐵相夫人の許に）
◇糸毛の車（横山大觀畫伯の許に）
◇女と生れし喜（下村宏博士の許に）
◇九月一日の事共（小西夫人の許に）
◇深川の託兒所（渡邊子爵夫人の許に）
◇封筒日（藤顯夫人の許に）
◇尼港紀念碑（堀内信水將軍に）
◇アトリエ開き（津輕伯爵世堂の許に）
◇濟女のうらみ（高島米峯氏の許に）
◇人生の旅（佐佐木博士の許に）
◇春雨の静かな日（バーネット夫人に）
其他合計百七十六篇 本文三百貳拾頁 秘藏寫眞八頁

九條夫人二大名著

隨筆 無憂華（むいうげ） 貳百廿版 定價貳圓 送料拾錢

歌集 薰染（くんぜん） 好評重版 壹圓八十錢 送料八錢

九條夫人歌碑建立

九條夫人歌碑を永久に記念するため一字一石の御寄附を仰ぎ建立致します。本社は九條夫人の功業を碑に刻して永く保存し御寄附者には……

發行所 東京市京橋區南紺屋町 振替東京三二六番 實業之日本社

岡本瓊二著 四六判四百頁 價一圓廿錢 送料十錢

一世の風雲兒 後藤新平

立てば必ず風を起し雲を呼ぶ。萬人夢想の裡に何者も企圖し得ぬ天下國家の大策を遂行して、世人を驚嘆せしめし一世の怪傑伯後藤今やなし、而も其の生涯は實に波瀾萬丈小説よりも奇しく又面白し。本書は志を立つる者には處世訓となり、國民大衆には風雲兒後藤伯を偲ぶの書。大方の愛讀を俟つ。……好評最新刊

東京市麹町區四番町 振替東京五七〇七三 第一出版協會

モンドロスミシンとビクター蓄音器は 文化的生活に必要なる二重奏

ミシン界の革命兒「モンドロス」は貴家のお裁縫を擔任し時間の經減と被服の經濟化を謀り「ビクター蓄音器」は古今の名曲を吹奏して終日のお勞れを慰め亦一家團欒の急先鋒となります。弊店は此の二重奏の最も善き品を最も御便利に提供する事に努力して居ります是非弊店を御利用願上ます

ミシンと蓄音器の御用は 大連市常盤橋電車交叉點角 河島ミシン店 電話六六八四番

正隆銀行

頭取 安田善四郎

大連市三河町二番地 日下齒科醫院 電話三三六七

ハフィス振動不感時計

世界第一の良品廉價 振つても落しても止らぬ時計

特徴 振動不感 指示正確 機械堅牢 日本章印極厚側

滿洲關東 安東 大連 旅順 營口 長春 櫻井時計店 平間時計店 金原洋行 近江洋行 石原洋行 奥田時計店

滿洲特約店 大連 營口 奉天 前田洋行 森土時計店 天時計店 近江洋行大連販賣所

藥新氣脚

ヴィタミンBの世界的始祖

オリザニン

脚氣に對するオリザニンの效果は既に決定的事實なり

(1) 重病經過中に來る榮養障碍及其浮腫の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特に煉乳、穀粉榮養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の榮養を助け、惡阻を輕減若くは防止し便秘を去るに極めて適切なるを知らる

類似品多數ありオリザニンと指定を要す……（實驗報告集進呈）

粉末、錠劑、液劑、越幾斯劑、注射劑の各種あり

東京室町 三共株式會社

株式會社三共藥品販賣所 大連市山縣通一八一

あなたのお顔のシミこそは雪野に下りた黒い鳥！ずいぶん目立ちますことよ

タバコのみの 齒磨スモカ

煙草店 化粧品店にあり

284

最新刊

- 上田恭輔著 支那陶磁の時代的研究 實價三圓六十七錢送料十二錢
- 三軍吉著 黒い騎士 實價三圓六十七錢送料二十錢
- 林鶴一外一名著 級數總和數 實價五圓四錢送料二十錢
- 西澤道寛著 作詩法入門 實價二圓十錢送料十二錢
- 岩田新著 物權法概論 實價二圓八十九錢送料十二錢
- 春美穂彌著 競艶女變相圖 實價一圓五錢送料十二錢
- 高橋貞三著 法學通論 實價二圓八十三錢送料十六錢
- 藤井衛彦著 明治風俗史 實價二圓九十四錢送料十四錢
- 荒木矩著 落款と箱書の栞 實價三圓十五錢送料十二錢
- 川上三太郎著 新川柳大觀 實價一圓五十七錢送料十二錢
- 鈴木謙一郎著 燒立ての馬鈴薯と其他 實價一圓三十六錢送料八錢
- ステイーヴンスン著 自殺倶樂部講義 實價一圓八十九錢送料十錢
- 今田武千代著 歴史哲學序論 實價一圓二十六錢送料六錢
- 奥村秀子著 漬物のつけ方 實價一圓五錢送料十錢
- 高石辰五郎著 歎米を見よ 實價一圓二十六錢送料八錢
- 伊藤千信三著 日本倫理概説 實價一圓五十七錢送料十錢
- 永井柳太郎著 グラッドストン 實價一圓五十七錢送料十錢

最新刊

- 大戸喜一郎著 デンマルク童話集 實價一圓五十七錢送料十二錢
- 高橋悠久著 人心收攬術 實價一圓六十八錢送料八錢
- 佐藤己之吉著 新式建築設計商店圖案 實價二圓四十一錢送料十二錢
- 西龜正夫著 世界地理少年文庫 實價一圓五十七錢送料八錢
- 佐藤紅霞著 世界性慾學辭典 實價二圓九十四錢送料十錢
- 吉田治助著 義經物語 實價一圓五錢送料八錢
- 中等英語研究所著 昭和四年全國高等專門學校英語問題解釋とその傾向の指摘 實價六十三錢送料四錢
- 長沼直兄著 昭和四年高等專門學校英語問題解釋 實價九十四錢送料六錢
- 稻村順三著 レーニン彼の生涯と事業 實價一圓廿六錢送料六錢
- 吉野源三郎著 フォーレンデル西洋哲學史第一卷 實價二圓九十四錢送料十二錢
- 玉置光三著 ドウブハナシカナツ 實價七十三錢送料六錢
- 金の星社著 魔の湖物語 實價五十二錢送料六錢
- 野上豐一郎著 お菊さん 實價四十二錢送料四錢
- ヨウネン社著 アーサー王物語 實價九十四錢送料六錢
- 金の星社著 少年日本外史南北朝の卷 實價二圓十錢送料十二錢
- 福田正夫著 自由詩講座 實價一圓五錢送料六錢

大連市浪速町 大阪屋號書店

大連市大山通 滿書堂書籍部

滿洲之社會改題 社會研究 六月號

- □婚姻の社會的考察……穗積重遠
- □東三省の敎權回收問題……田原豐
- □不健全なる享樂生活……和田富子
- □社會政策的敎育の急……今泉應明
- □日支親善の社會觀……山田武吉
- □學校の卒業生と就職……海老川良一
- □デパートと小賣商人……狩野豪一
- □勞働保護會の事業成績……菅野一
- □創作＝源實朝の死……島田一夫

發行所 大連市松山臺ノ五（電話五四二六番） 滿洲社會事業研究會

煖房

衞生 水道 工事 請負

大連市榮町二二 中嶋平治事務所 電三〇八〇番 支店 長春、撫順

皆樣にキット御氣に召す御寫眞……吉野町の内田へ……

大連市吉野町三丁目 内田寫眞館 電話四五一七番

馮派と聯絡して四省の擾亂を計畫

證跡瞭かとならば奉天でも捜索　支那側當局者語る

【奉天特電二十八日發】支那側の哈爾賓露西亜領事館に對する思ひ切つた彈壓は當地外交團に非常なショックを與へ、奉天の露西亜領事館に對し一樣に注意を注ぐに至つた、記者は哈爾賓からの情報に接するや直に商埠地の勞農領事館を訪ね眞相を探らんとせるも、館員全部不在を名として面會せぬので、支那當局について訊くに

露西亜側は先般來浦鹽の赤化宣傳本部を哈爾賓に移して、赤化宣傳に努めつゝあるのと、馮玉祥と聯絡して東北四省擾亂の陰謀を企てつゝあつたことは證跡瞭かである、此の爲め張學良氏は建設廳長彭士雲氏を宣傳部長、楊大實氏を副部長に任命して、之が取締と對抗策を講じつゝある、今の處奉天の露西亜總領事館をどうするといふ處までは行かぬが若し證跡瞭かとなれば斷乎たる處置を執るは勿論である

と語つてゐた

ポクラニチナーヤの露領事館をも捜査

國境に赤衛軍集中說

【哈爾賓特電二十八日發】二十七日支那官憲の當地勞農領事館手入と同時に同領事館と最も密接な關係にあるポクラニチナーヤ領事館も亦同地官憲から臨檢されたと傳へられてゐる、しかし支那側では今回押收した文書を調査した結果によつては滿洲各地領事館の撤廢を要求し更に目下係爭中の東支鐵道問題もこの際强硬手段を以て一擧に解決せんとする肚であるらしい、これに對し露國側では尙未だ不氣味な沈默を守りチルキン東支副理事長が事件當日抗議を發したのみで今後の態度に就いては目下本國政府に請訓中である、尙右事件に關聯して滿洲里及びポグラ國境方面では赤衛軍の集中說が盛んに傳へられてゐるので、張作相氏は邊防軍各機關に急電を發し特に國境の監視を嚴命した

秘密書類は燒棄てた後

露國側の態度强硬　捜査は南京政府の命令

【ハルビン秋山特派員二十七日發電】今回支那側が突然勞農ロシア總領事館の捜査を行つたのは張學良氏が南京政府よりの命令に基き之を電命したものであつて折柄ロシア側は各地の領事會合せるときであつたので有無を言はせず會合者全部を逮捕したものである、ロシア側は此の不意討ちに多少狼狽したが肝腎の秘密書類は全部燒棄した後であつたから支那側の睨んだ事件に對して何等物的證據を握られないので、ロシア側は强硬な態度を執り苟くも居住權を有し殊に領事館に在つたものを單に多數會合せりとの理由により斯くの如き行爲に出づることは甚しき暴擧であるとて抗議を提出する模樣であるが結局水掛論に了るであらう

押收文書は當分發表しない

監禁者半數は釋放

【哈爾賓廿八日發電】露西亜領事館の共産黨秘密會議事件につき支那官憲は今曉まで重要會議を開き徹宵押收書類の取調を行つた、書類は當分發表しないことになつてゐる、なほ昨日監禁された八十名の內領事館員四十一名だけ釋放され又メリニコフ總領事は昨日來監禁されてゐない、他方支那官憲は露支國境のボクラニチナヤの露西亜領事館を襲ひ多數赤化文書暗號電報を押收した

軍隊を還へして改編を實現せん

閻氏の討馮通道の內容

【北平特電二十八日發】太原よりの電報によれば閻錫山氏は馮玉祥氏に對して次の如く打電し下野外遊を慫慂した

我等三名(蔣、馮、閻)は黨國及び人民のために圖り其の幸福を想ふこと久し、故に自ら敢へて當らずと雖も此に衷情を披瀝して貴兄に致す、貴兄若し一切を捨て、即時下野し鐘議を以て干戈に代へれば是れ豈に單り吾人兄弟の幸福のみに止まらず、洵に國家の大幸なり余久しく外遊の願ひあり驥尾に附して倶に遊ぶ欣幸何ぞ之に過ぎん、兄にして其の決心をなさば之を國民政府に宣布し軍隊は中央に還し以て改編を實現し得ん

韓石氏等

中央擁護通電

【北平廿七日發電】韓復榘、石友三氏以下八名の馮玉祥軍師長旅長は連名で中央擁護の和平通電を全國に發した

閻氏は中立

馮氏に反對　出來ぬ破目

【北平二十七日發電】閻錫山氏が蔣介石氏と策應して馮討伐に參加し得ず平津を守つて中立の態度を執る外なきは既報の通りだが京漢線及び正太鐵道の從業員に對し早くより馮玉祥氏の手が廻つて居り若し閻錫山が對馮軍事行動を執り積極的に軍隊を動かすに至らば

怪電報事件で白班聲明書發表

昨夜深更繩田紅班長に手交　俄然兩班緊張す

驛傳競爭に對する興味は今やクライマツクスに達し、フアンの熱狂振りは物凄い程であるが、紅班第二走者木村選手が長春から繩田紅班長への怪電報事件報告により

社內は　俄然緊張し、武田白班長は直に吉長鐵路當局に對して電報を發すると同時に在連白班各選手を某所に招致し善後策協議の結果、白班の立場を明かにし且一般讀者の誤解を解くため聲明書を作製し、二十八日午後十一時本社編輯局に於て山口社會部長立會の下に繩田紅班長に手交した、かくて紅白兩班は極度に神經を尖鋭にし其の作戰を進めてゐる、即ち紅班木村選手は二十八日午後八時敦化に到着し二十分の後同地を發する貨物二十四列車に便乘して吉林に引返し今朝

吉海線　に入る豫定であるといふが、吉敦線はさきに白班加藤選手が貨物列車を利用せんとして運轉休止に遭遇し豫定變更を餘儀なくされた大難關であり、如何なる結果となるか興味の中心となつてゐる、最も繩田班長の談によれば「昨夕刻の情報では廿八日は運轉する筈である」といふから若し之が實行されれば紅班は大成功である、また一方白班は北滿通の神藏選手によつて東支線を征服すべく加藤選手と交代して長春より北行し廿八日午後四時半哈爾賓着、同七時十五分ボクラ行列車に乘換て

東進す　る作戰であるが呼海線、齊克線等の乘換に於てまたく紅班の膽を寒からしむる放れ業を演ずるに非ずやと注目されてゐる

神藏選手

哈爾賓を出發　ボクラへ

【哈爾賓特電二十八日發】南方小鐵道の難關を小刻みに征服したあとを承けて北滿大鐵道踏破のコースに入つた白班第三走神藏選手は二十八日午後四時半元氣よく多數の出迎へをうけて着哈、小憩の後同七時十五分發ボクラニチナヤに向つて壯途についた

秋山、加藤紅白兩選手

相携へて歸る

【長春特電二十八日發】期せずして今朝當地に落ち合つた紅班秋山白班加藤兩選手は各後繼選手に引つぎを終り吉林と哈爾賓とへ送り出してホツと一息、重責を果して心も輕く昨日までの敵味方の奮鬪を忘れたやうに打揃つて食卓をとり休憩數刻午後三時十分發列車に乘り仲睦じく歸途についた

木村紅班選手

敦化へ

【吉林特電二十八日發】長春で秋山選手と引繼ぎ吉長線を踏破して廿八日午前十一時半吉林に着いた紅班第二走者木村選手は直に吉敦線敦化行き列車に乘り換て敦化に向つた

驛傳ゴシツプ

滿鐵鐵道部の中でも旅客課は紅班の顧問渉外課は白班の顧問といふやうに分かれてゐるので此所でも眞劍な競爭が行はれ、兩班の一進一退毎にお互に「何うだい君の方は、ダメぢやないか」とデモンストレーシヨンをやり合つてゐる。

◇

兩班とも豫定のダイヤも可なりの變化を來したのは掩い難い事實である、ソコで滿鐵邊で專門的に研究して、豫想投票は案外適中せぬであらうと見られて來た。

◇

例の怪電報事件につき白班武田班長は二十八日夜繩田紅班々長に對し

白班神藏選手が吉林驛長に對し「紅班に特別の便宜を與ふると絕對に斷る」旨打電せしも若しこの事實ありとするも一總の事實は目下調査中なるが吉林驛長が管轄外の敦化發列車等の運轉を左右し得べしとは絕對に信ぜず、既に白班加藤選手が苦き體驗によつて明かである、萬一紅班が再び白班の如く臨時運休に遭ひ或は延着等のことあるとも、それは不可抗力にして決して神藏選手又は白班乃至は吉林驛長の所爲に原因するものに非ざること勿論である、余は既に「戰は飽くまで堂々」との白班の主義を吉敦當局に打電誤解なからんことを際明した處であつて、若し白班の場合突如運休せし列車が紅班の場合に運轉したりとて只武運拙なかりしとの一笑を以て之を看過するに過ぎない

と白班の態度を闡明するところがあつた。

孫文陵墓

南京紫金山に造營された孫文陵墓にして六月一日靈柩はこゝに安置される

討馮通電

五路軍幹部連名して

【北平廿七日發電】唐生智、何成濬、李品仙、魏益三氏その他五路軍全部連名で本日附馮玉祥氏に通電を發し馮氏の十六罪狀を擧げて十日以內に反逆者を殲滅すべしと稱してゐる

馮閻兩軍衝突說

綏遠地方で

【東京廿八日發電】其の筋入電に依れば綏遠の五原西方に於て馮玉祥軍、山西軍の前線衝突し馮系の門致中、閻軍の徐永昌軍交戰中の如し

領事館に半旗

孫文移柩祭當日

【吉林特電二十七日發】孫文移柩祭に當り我公使館及び各地領事館に於ても半旗を揭ぐる事となり其旨外務當局より夫々達示があつた爲め當吉林總領事館に於ては六月一日丈け半旗を揭ぐる事になつた

軍事會議の結果

馮氏下野を聲明　露國へ赴くに決す

【北平廿八日發電】馮玉祥は部下を聲明し、ロシアに赴くに決し直隨一の武將韓復榘が寢返り、河南々部より武漢を衝くべく配置された石友三軍が突如鄭州以西に引揚けた爲め大勢不利なるに鑑み二十六、七兩日潼關に軍事會議を開き孫良誠、宋哲元、石敬亭等列席し善後策協議の結果大體左の如く決定を見た

一、馮は下野して全軍を孫良誠の指揮に委す

二、情勢の如何に依つては馮軍を以て韓復榘軍を討伐すべし

三、最後の手段として河南を放棄し甘肅に引揚げ再起の時機を待つべし

此の會議にて馮氏は韓の寢返りを瓦房に痛鳥し悲憤の聲を漏らし斷然下野に之れが準備を命じたと

王寵惠氏渡歐

【上海廿八日發電】國民政府司法院長王寵惠氏は六月八日出發約三月の豫定でヘーグの國際仲裁々判所會議に出席するに決定した、王氏不在中は次長朱履龢氏が院長代理たる筈

非行を認めて支那側深謝

誠意を認めて犯人を引渡す　我兵狙擊事件解決

【奉天特電二十八日發】奉天鐵西に於ける支那巡警の日本兵狙擊事件に關し、奉天總領事館は嚴重に抗議したが昨二十七日支那側よりは、白公安局長が奉天總領事館、奉天憲兵隊、奉天獨立守備隊を歷訪し、今回の事件は重々支那側の非行として、その罪を深謝し尙今後は自分が全責任を以て事件の再發を取締まるべく、既に各地に訓令を發した、又發砲した巡警は處罰することを條件として解決方承認を要望したので、右三代表は商議の結果、支那側の誠意ある態度を認め、要求の如く承認し茲に問題は圓滿に解決したので拘禁してゐた巡警の身柄を釋放し、尙押收してゐた證據物件を引渡した

孫文氏の靈柩南京に到着

中央黨部に安置さる　犬養頭山大谷氏等燒香

【南京特電二十八日發】國賓として昨日南京入りをした犬養頭山兩氏、宮崎未亡人及大谷光瑞氏等は今朝八時半夫々代表を南京の對岸浦口驛に派し靈柩を奉迎せしめたが、靈柩は河岸の中山碼頭に安着するに先だち午前九時頃犬養、頭山、宮崎乃自等は碼頭の奉迎場で待ち受けた、此日日中は暑氣を感じた、靈柩車が中山路より南平中央黨部に向ふや犬養翁等の一行は自動車で別路を先廻りし先着して靈柩を迎へ孫文氏遺族、蔣介石氏以下國民政府要人等と共に移柩祭に參列、交々靈前に燒香し沈痛なる敬悼の意を表した

我が學校選手團張氏を訪ふ

互にシヤンパンの杯を擧げ　◇…和氣藹々の光景

【奉天特電二十八日發】旅順工大庭球部主將兵頭君外奉天醫大、教專、大連工專の各學校運動選手廿五名は滿鐵岡部、長澤、工大教授茂木三氏に引率され廿八日午後二時張學良氏をその私宅に訪ねた

一行は　王家楨及び陳杜の三秘書の出迎へを受け特別室に入り小憩後、張學良氏現はるゝや岡部氏が遠征團を代表し來意を述べると、張氏は王秘書の通譯で

「本日日本の學生諸君に會ふことは非常に愉快である、日支兩國の關係は其の人種、文化及び言語に於て離るべからざる關係にある、そしてこの關係を果す責任の地位にあるものは兩國の青年諸君をおいて他に無い、青年は無邪氣でその精神まつたく清淨無垢にして、政略的又は國際的關係に於ても何等の野心も惡心も持つておらぬ、だから兩國の青年は互に會合し知り合ひになると云ふことは何よりも先づ必要なことである、今兩國の間にはかなりの

誤解が　ある、而もその誤解たるものは主として言語の不通の爲め會合の機會少なく互に知り會にならない爲に生ずるものである、故に學生諸君は出來る限りお互ひに會談の機會を作り相接觸するやうにすればその間に意思の疏通をはかりうべく、かくて相共に東亞の興隆の爲め努力されんこと切望に堪へぬ」

と語り、次いで岡部氏より昨年東方大學生團の東道役として日本になつた旨を報告した

貴說の　實現をはかりたいと述ぶるや「それは吾等の歡迎措かざるところだ」と答へ、シヤンパンの杯を擧げ一同の健康を祝し頗る上機嫌で諸君はあまり飲むとスポーツマンの資格に影響する」等の冗談を云ひ和氣靄々の光景を呈した、こゝに於て學生は張學良氏の萬歲を三唱し張氏又之に答へ會見四十分餘にして辭去した因に吾學生團は同日夜六時からヤマトホテルに支那側の東北、馮庸二大學及同澤中學の學生代表廿二名外陪賓に支那側劉東北大學副校長首め各學校々長、日本側稻葉醫大校長外數名を招き日支學生の懇談會を催す筈

芳澤公使南京に向ふ

【上海二十八日發電】芳澤公使、重光總領事、公森財務官、有野通譯官一行を乘せた滯外艦隊矢矧は今朝五時半出港南京に向つた

三十日に國書捧呈

首相閣議で報告

【東京特電二十八日發】田中外相は二十八日の閣議に於いて芳澤駐支公使は六月一日孫文移靈祭に參列するに先だち五月三十日を以て國民政府に國書を捧呈することになつた旨を報告した

高等商業の建設を立案

關東廳學務課に於て

關東廳各課ではソレぐ來年度豫算編成に取掛つてゐるが、學務課では大連市民多數の希望と輿論に鑑み彌生高等女學校を大連市より移管すると共に高等商業學校を建設すべく立案中である

技術界の權威である

西濱少將重態

【東京廿八日發電】陸軍技術本部第一部長西濱司馬吉少將は廿八日突如腦溢血に罹り重態に陷つた、氏は陸軍雄

民政黨の海外派遣議員

【東京二十八日發電】民政黨の海外派遣員及び支那視察員は左の如く廿八日決定した

一、萬國議員商事會議出席者　清水留三郎、菅原英伍、紳出正

一、支那視察員　なほ櫻井兵五郎、永田善三郎氏は自費參加　川崎安之助、高橋元四郎、佐藤啓

安滿三師團長

拜謁仰付らる

【東京二十八日發電】山東より歸還した安滿第三師團長は六月十一日午前十時四十五分兇き邊より凱旋將軍の禮を以て拜謁仰つけられ御賜品を御下賜あらせらるゝ由拜承す

未曾有の大受渡

昨日奉取で

【奉天特電二十八日發】二億九千四百二十一萬七千三百五十九元といふ奉天取引所始まつて以來の巨額な受渡のある二十八日の奉天取引所における取引は、奉票の大暴落で打擊をうけた取引人の多いだけに氣遣はれてゐたが無事終了した、當日の受渡しは小切手によるもの〻ほか四十萬元入りの麻袋の荷車で運び込まれたもの三百五十袋の上に、官銀號の代理店なる東和號、德泰號、益順號などからの金票の五百十一萬三千圓の札束の山が築かれたには、それが金票であるだけに物凄いものであつた

混保制度の改善案

委員會開催

混保制度改正問題中の重要案件なる規格審査については既報の如く特産取引人組合重要物産組合油房聯合の三團體より成る聯合研究委員會に於て基礎案を作成する所あつたが大連取引所への上場を圓滑ならしむべき必要上二十八日午後三時より取引所主催の下に取引所樓上會議室に於て再び聯合研究委員會を開き更に愼重審議する所あつた

市學務委員會

彌生高女の移管申請を協議

大連市役所では廿八日午後二時から學務委員會を開いて石本市長、小泊學務課長、恩田今村、牛島、三宅、園、西內、岡內、重松、倉島の各學務委員出席、市立彌生高等女學校關東廳移管申請の件に關し協議を重ね午後四時過ぎ散會した

鈔票の賣買增加

五月廿七日限

大連錢鈔市場に於ける鈔票五月二十八日限は二十七日前場を以て納會を告げたがこれが賣買高百三十六萬圓、賣買標準値段九十五圓六十錢にして五月十三日限の賣買高に比すれば四十八萬圓の增加を來し標準値段は一圓二十錢方の安値を示してゐる、今賣買の手口を示せば(單位百圓)

▲賣方

店名	數	店名	數
東永茂	八〇	東順盛	三〇

▲買方

店名	數	店名	數
儲蓄	一九〇	摩盛泰	一七〇
山左銀號	一三〇	福和盛	一五〇
廣盛泰	一〇〇	恒聚棧	五〇
三井	七〇	三菱	四〇
協和棧	一〇		
東裕	三〇	德泰	二五〇
和盛泰	九〇	泰信	一〇
泰記	四〇	隻聚福	二〇〇
山本	二〇	福順	二〇
福源祥	一四〇	公濟棧	二〇
永衡通	一四〇	永豐裕	一〇
達			
益發合	六〇	裕生德	二〇
裕昌祥	六〇	裕昌源	四〇
純昌號	四〇		

佐分利參事官

公使に任命

【東京二十八日發電】滿鮮經由三十日歸朝する佐分利英國大使館參事官は近く公使に任命されるはずである

大連市參事會

三十日午後二時より大連市參事會を招集することとなつた、同會に附議せらるべき案件は左記の通りである

一、税戶別割異議申立に關する件

一、市稅家屋稅免除の件

一、戶別割免除の件

一、納稅延期の件

一、不動產管理に關する件

一、彌生高女移管申請に關する件

森岡領事寄連

芝罘領事森岡正平氏は二十九日早朝入港の得利號にて芝罘より來連直ちにバイカル丸に便乘內地へ向ふと

關東廳敍勳(二十五日)

敍勳三等授瑞寶章　正五位勳四等　郡山智

敍勳四等授瑞寶章　正五位勳五等　大場鑑次郎

敍勳五等授瑞寶章　正六位勳六等　三木卓

敍勳七等授瑞寶章(各通)　從七位勳八等　早野文雄　從七位勳八等　橫井武雄　勳八等　櫻井勘四郎

辭令

【東京廿八日發電】

亞細亞局勤務領事　宇佐美珍彥

安東在勤を命ず

出船入船(五月廿九日)

▲出船　△ばいかる丸午前十時　△奉天丸午前十一時

▲入船　△河南丸

安田偶子

ン事安藤勝君嘆じて曰く「一昨日は彼方(實業球場)で左を、今日は此方で右をやられた、これぢや歩くことが出來ねえや」傍から實業負のファン慰め顏に「兩方でヒツトが打てる前兆だらう」で、素晴しいバツチング振の岩瀬投手小安チヤン跛を曳きながら苦笑▲にネツト裏から前滿倶の主將竹中君「五郎サン大分當つてるね」と云ふと「今年は打ち捲くつてやるんだよ」と兩將顏を見合せてニコ

く▲練習見物の彌次馬連が改造中のプレヤースベンチを眺めながら「ネツトを篏め込んだら虎の檻だね」「精々まづ猫か狐ぐらゐだな」「ぢや第一回戰を見物に來た猫と狐を追込むさ、網の前は鼻の下の長い連中がワツショイくで毎日賑やかなことだらう」で惡落

實滿戰も愈グラウンド交換にまで進んで戰機切迫を告げてきたが、昨日滿倶球場で練習中足に球を叩きつけられた實業團の人氣男小安チヤ

特產

◇定期後場(銀建)

▲大豆(強調)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	五十九車			

▲三等大豆　出來不申

▲豆粕(強調)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	五萬二千枚			

▲豆油(保合)(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	五百箱			

▲高粱(區々保合)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	二十八車			

▲包米　出來不申

◇現物後場(銀建)

品名	寄付	大引
混保(袋込)	六五五〇	六五七〇
大豆(裸物)出來高	三十車	
三等(袋物)	六四六〇	六四八〇
大豆(裸物)	—	—
出來高	五車	
豆粕	二一八〇	二一八五
出來高	一萬五千枚	
豆油	一六二五	一六二五
出來高	二千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

◇定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	期近 五十五萬圓			

◇現物後場(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高	銀對金 六千圓	銀對洋 二千圓	

商品

後場　出來不申

神戶特產物(廿八日)

品名	値
大豆現物	七五〇
大豆先物	六五〇
豆粕現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	寄	引
豆新	[illegible]	[illegible]
豆中	[illegible]	[illegible]
豆先	[illegible]	[illegible]
豆信、中、先	不申	不申

大阪株式

銘柄	寄付	引
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報　支那の勞働運動に就いて

大連を根據地として一時滿洲の勞働界を風靡した中華工學會は、周水子における福島紡績の暴動的罷業を最後として、昭和二年四月頃遂に解散したが、それ以來、滿洲の勞働界は先づ平穩無事であつた。然るに本年に入つてから營口の東亞煙草、奉天の大安煙、同上の國際運輸等に勞働爭議が起り、且その勞働運動が組織化され思想化されて行く傾向が見えるのは、大いに注意すべき事である。京奉鐵路工會や奉天及び長春に設けられた郵務工會の如きは、組織化されたものとして、蓋しその最も優秀なものであらう。

◇

支那の產業が近代化されるに從ひ、支那にも勞働運動が起るのは當然で、產業近代化の地たる上海、香港、漢口、廣東、青島、天津、大連、奉天、長春等には、日本より少し遲れて、大正十一年頃から種々の勞働爭議が頻發した。勞働運動は言ふ迄もなく勞働團體の成立に隨伴して起るもので、大連の中華工學會、奉天製麻の茶話會、南滿製糖の同僚會の如き、初めは勞働者各自の親睦と技能の練磨を目的とする消極的團體に過ぎなかつたが、次第に變化して竟に純然たる勞働團體となり、中華工學會の如きは國民黨中央執行委員會工人部の統制下に在つた中華全國總工會と呼應して盛んに罷業を煽動した。消極的勞働團體のやうに見せかけて其實過激な勞働運動の指導を目的とした團體もあつたのである。

◇

斯くして支那の勞働運動が最も激越化したのは大正十三年乃至十四年の頃で、上海には彼の五卅事件なるものが起り、其頃滿洲にも中華工學會によつて華人勞働者の罷業が激烈に且頻繁に起つたのである。斯やうな次第であるから、滿洲にも青天白日旗が掲げられて南支那の勢力が徐々に且巧みに浸透しつゝある今日、華人勞働者を產業別にして縱に結合せる種々の勞働團體が新たに滿洲に起るのは、毫も怪しむべき事でない。唯こゝに注意を要するは是等の勞働運動が排外運動の一種又はその手先となることで、之れは支那に外國人經營の工場が多い故でもあるが、特に排外運動化させる場合も尠くない。上海には別して排外的色彩の濃厚な勞働運動が起り易く、大連や奉天にも煽動者によつて此種の勞働運動が起つたのであるから、滿洲においては、殊にこの點に深甚の注意を拂はねばならぬ。

◇

時代の大勢より觀て、支那にも組織化した勞働運動が起るのは當然だが、政客又は學生などの煽動によつて、或る場合それが排外運動の一種又はその手先となるのは、厄介千萬な事である。支那は外國の資本と外國人の技術を入れて其の產業を近代化すべく運命付けられて居るのであるが、打倒帝國主義、國貨奬勵、外貨抵制、經濟絶交などを口にする三民主義の徒は、一般的排外運動と共に、勞働運動を特に使嗾して排外化させやうと努めるので、彼の上海や漢口に起つた如き排外的勞働運動が現はれるのである。ロシアが支那の國民黨を自在に操つてゐた當時、中國共產黨やデマゴークの徒によつて支那の勞働運動は殊に排外化され、華人勞働者は却つて困つた程である。

◇

若しそれ華人勞働運動の思想化については、華人勞働者の智識の程度の概して低いこと、隨つて自覺力の乏しいこと等に考へて、今それを明白に言ひ切ることは難かしい。だが彼等と彼等の運動の裏面に指導者、統率者、煽動者、デマゴークの徒などある事を思ふて、それ等を介して、多少の思想的背景のあることは觀取し得られる。滿洲の勞働運動もこの意味において思想化されつゝあると言へる。江亢虎、孫洪伊、混自由などの古いところは暫らく措き、現に共產黨のある事や、三民主義の民生主義が社會主義の一類である事など念ふたならば、排外化し易い支那の勞働運動に警戒の要あるを知るであらう。

滿蒙鐵道驛傳競爭

蒙古開發に必要な長洮線の建設
車中に横溢する民族の臭ひ

(第十信)　龍江にて　秋山紅班選手

◇滿鐵、四洮、洮昂、東支の四線は其の名の異ふやうに客車内部の構造が幾分變つてゐる。四洮、洮昂は左程でもないが、東支線は丸きり様子が異ふ。洮昂線は貧乏世帶のためか便所に這入つても巻紙がぶら下つて居ない。此十六日から一等車半食堂を運轉したが、排水器の引手を引張つても雨垂れの雫に似た水がチョボ、チョボと洩れて來る程度。洗面室には手拭も無ければコップ一つ無い、備品があつても手の長い人間が多いから失敬して了ふのかも知れない。滿鐵線の其れに比較すると全く雲泥の差である、さうした比較をすることが根本に於て間違ひかも知れない。其の點に行くと四洮線も大同小異である。唯藥臭のする番茶と、手拭を持つて來ることは全支那鐵道の似通つた旅客接待法である。

◇東支線に這入ると今までのニラ臭がチース臭に變り、最近はニラとチースの混臭で充滿してゐる普通列車の便所(ウボールナヤ)はダンスでも出來さうな廣さで洗面場と糞便壷が對座してゐる、三等車の便所と來ては氣持が惡くて潔癖性のないコノ選手も些か落ちつかない。これが初めての日本人なら出るものも出さずに退却して了ふだらう、尤もエキスプレス車の一等は國際旅客を扱ふだけ稍々設備は整うてゐる、露支人共には非衛生的觀念の持主であるとは共通してゐる、支那人が三等車内に咯痰して四邊かまはず手鼻をかむことは其れに馴されたものでも餘り氣持のよいものではないが、オシヤレの若いロシヤ人男女が、時々櫛にペツと唾液を吐きかけ其れで髪を整理してゐる姿は手鼻式よりは他人に迷惑をかけぬだけ少しは優つてゐるだらう。

◇一世紀前に引戻された氣分のする四洮線から洮昂線を經て線の終點に着いたのが大連を發して二日目の午後五時半、洮昂線は將來齊克線によつて價値づけられるであらうが、更に洮南から西北方ソロン方面と長春から扶餘を經て洮南に達する長洮線が架設されたら、興安嶺東部の開拓と內蒙の農牧が畏然一變し、吉長線との聯絡で中部滿蒙の經濟的發展は目覺ましいものがあらう「滿蒙の文化は鐵道から」との標語が實現されることになる、張海鵬君の所有土地も初めて値うちが出るだらう。

◇洮昂鐵路局では今回本社主催の驛傳競爭リレーに對して聲援する意味から路局長を初め洮南站長孫不功君の肝煎りで各驛に青天旗と黨旗とを交叉し昂々溪では特に「滿洲日報主催の驛傳競爭を歡迎」と記した二旒の旗を竿頭高く立て歡迎を表されたことは此所に改めて感謝する、尙ほ洮南公所長西村潔、所員湯淺秀、雨衣辰巳其他諸氏が誠意ある聲援を與へられたことを謝す。

—蒙古人の住家—

大楡樹驛の試驗水田に土塗れに働く若人
感激させらるゝ沿道の歡迎

(第十信)　公主嶺にて　加藤白班選手

◇鄭家屯までアッサリ一なめにして私は意氣方に衝天。廿二日午後二時、四平街を北行車に乘る。櫻井支局長、濱田驛長その他が熱誠なる見送りをしてくれる。私の前途を祝して擧げた盃、私はせつな氣持に打たれて乾杯した。萬歳の聲に送られて發車、車輪は五月の午後の陽光を浴びて滑らかに回轉して行く、素晴らしい速度である。

◇齋藤軍務事掌は「私が乘つてゐる以上遲らす様な事はありませんよ」力強い激勵辭、安心し切つた安易さはやつと私に世間話の口をひもとかせた、世間がこの滿日の驛傳競爭に對しどれだけ熱心に注意を喚起してゐるとか、又は、支那鐵路旅行の經驗談とか蘊きるところを知らない

◇ですれ違ふ筈の貨車が來ないので八分遲れる「それで好いのですか」聞くと「大丈夫ですよ」大きな返事で、安堵の胸をなで下す、驛長の厚意で食堂車において前途を祝つて貰ふ「プロージット」桐ケ谷驛長はとても元氣だ。乾盃して萬歳の聲を後に更に北進——一路長春に向ふ

揚緑、十家堡、郭家店が私の目の前を過ぐる。大楡樹に着いた時日本旅行團の臨時特別列車が構内に入つてくる「こんなのを利用したらうまく行くだらうに」私の頭は全く驛傳競爭になり切つてしまつたらしい、時間表が私の頭で回轉してゐるのだ、この大楡樹には、かつて同驛の驛長だつた曾根氏が試驗的に作つた水田があつて今公主嶺の農事試驗場の採種田をなしてゐる、で今年までは鮮農に試作を命じてゐたものであるが、今期からこの滿洲の土になるべく、眞實に働き切る若人の爲に開設される事になり、陸軍の滿期兵その他眞面目な青年が十二三人、朝まだきから夕晩くまで孜々として土まみれになつて働いてゐるさうである

ゐる我國の權益の一つたる大滿鐵

る、折柄うすづきかけた夕陽に私はこれ等の若人の健在を祈つた。

「近代支那外交史論」

竹內克己氏が現國民政府外交部長王正廷氏の原著を飜譯して標題の書を出版した、內容は支那の國際的交通の起原より筆を起し鴉片戰爭以後の中國外交の失敗、歐戰後の中國外交の進步、關稅回收問題、法權回收問題、租借地回收問題等を要項として詳述してゐる、著者は中國外交界の大立物として近代支那の外交に直接執掌せる人であるから對支外交研究の上には見逃がし難いものがあり譯者亦た多年支那問題を研究しつゝある人であり此の書は支那研究者にとつて好個の材料たるを失はぬ(定價一圓五十錢、中日文化協會發行大阪屋號發賣)

ラヂオ英語講座

大連放送局五月廿九日午後七時三十分
講師大連彌生高等女學校茶谷茂
第九回(第九週第三課)

At a Restaurant.　第三回

1. Good morning, sir. Please take this seat.
   What would you like? This is to-day's Menu.
2. Have you any fresh oysters?
3. Yes, sir.
4. These oysters are delicious.
5. What next, please?
6. I'll have beefsteak.
7. Do you care for tomato sauce on the steak?
8. Yes, that will do.
9. How about a little soup before the steak?
10. Yes, all right.
11. Do you like your steak well done or underdone?
12. Underdone, please. Pass the sault, please.
13. Anything more?
14. No, nothing more.
15. What will you take for dessert?
16. Any fruit will do, so long as it is fresh.
17. Do you care for coffee?
18. Yes, please. This coffee is very strong.
    I hope it will not keep me awake to-night.
19. I don't think it will, sir.
20. Well, how much do I owe you?
21. Two and six pence, sir.
22. Here you are three shillings. Don't bother about the change.
23. Thank you, sir.

料理店にて

1. いらつしやいませ、どうぞお掛け下さい。
   何に致しませうか、之が今日の献立表です。
2. 新らしい牡蠣があるか。
3. はい。
4. 此の牡蠣は甘い。
5. お次は何に致しませうか。
6. ビーフテキ にしませう。
7. テキの上に トマトソース をおかけ致しませうか。
8. はー、それもよいでせう。
9. テキ の前に少し スープ は如何ですか。
10. えー、それもよからう。
11. テキ はよく焼きませうか半焼に致しませうか。
12. どーぞ 半焼なのを、食鹽をこちらに廻して下さい。
13. もつと何かお上りになりますか。
14. もう何う要りません。
15. デザート は何に致しませうか。
16. 新しければどんな果物でもよろしい。
17. コーヒ をお上りになりますか。
18. はい、どーぞ、この コーヒ は隨分濃いが。
    夜眠られない様な事がなければよいが。
19. そんな事は御座いませんでせう。
20. さて、お勘定は？
21. 二シリング 六ペンス です。
22. これに 三シリング あるが、お釣りはもうよろしい。
23. 有り難う御座います。

八相　投書歡迎

中傷を目的とするのは採らず
新聞行數五十行以內のこと

所謂嚴罰主義

滿鐵本社　當局生

交通事故頻發に鑑み警察當局は嚴罰主義を採ると言ふことであるが之が既に取締方針が根本的に誤つてはゐないか、犯したものを罰するではなく事故を未然に防ぐといふことが最も進んだ警察の根本方針でなければならん、現今の如く罰金をとることが即ち交通整理だと心得てゐるやうな警察當局では何年經つても望ましき交通整理は出來るものでない、却つて警官の前で緩めた速力を他で入れ合せやうとするから事故が多くなるやうな結果になるのではなからうか、警察當局にして眞に交通整理を行はんとするならば交通當事者を集めて協議するなり世界各國で行はれてゐるやうな交通事故防止宣傳標語を募集して一般市民の交通道德の向上をはかるなり又もう少し根本的にその原因例へば近來盛んに起る自動車事故に對して誰かも言つてゐるやうに賃金値下げが交通事故に如何なる影響を與へてゐるかといふことを調査するなりして事故を未然に防ぐといふことに根本方針を變へなければ到底徹底した交通取締りが出來るものではない、敢て警察當局の熟慮を促す

土木課に願ひ

Y生

日本橋の交番前に圓形の空地がある、あれは安全地帶かとも思はれるが避難する人は未だ嘗つて見たことがない、少しの金を出してあの空地に草花や樹を殖えたらあの殺風景な場所がどれ程よくなるかわかりません、市民に代つて敢て民政署土木課當局へお願ひします

コドモページ

修學旅行記　汽車は我々の樂しい夢をのせて　北へ北へ……

大廣場小學校六年生　屋鋪健治

汽車の中はせまいので中々きうくつだ。あせはだら／＼流れる。僕と高橋君は一つしよにねるのである。やがてみんなかねてしまつたが中々ねられない「あつい／＼」といつてゐるばかりで一寸もねられない。そつと池見君の空氣まくらの栓をぬいた。「すー」と空氣がぬけていく。すると池見君がとてもおこつてきた。いたづらをしてゐる中に時計を見るともう十一時半だ。高橋君に「十一時半だ」といふと「そうか」といつてすましてゐる。そのうちに僕もねてしまつた。すこしやかましいので、ふと目をあけると、もうおきてゐる者が大分あつたので僕も、もうねむたくなかつたのでおきた。時計を見ると十二時半だ。まだ早いと思つてねようとしたがもうねられなかつたので思ひきつておきた。

汽車はどん／＼進んで行く小さな驛大きな驛を後にして……「早く奉天に着かないかなー」と思ふがそう早くつくはずがない。外はうるしを流したように眞黒で少しおそろしい氣持さへする。山本君は、はしやいでゐて先生に注意されて靜まつたが又後からぼつ／＼話しを始めた久間君や内田君などは窓から外を見て、とまつた驛の名をしきりに見てゐた。僕も見たくなつたので内田君とかはつてもらつた。長い間見てゐると何だか明るくなつてきたようなので「明るくなつたようだ」と久間君にいふと「そうだな」といつてゐた。その時緒方君が起きたので僕は毛布をかりてたぬきねをしてゐた。みんなもいろ／＼な事をはなしてゐた。横山健三君は「みんなのねてゐる顔を見てやらう」といつてゐたので思はずふき出しそうになつた。その中にだん／＼明るくなつてきたので起きた。しばらくして大石橋に着いた。先生が「みんな顔を洗ひなさい」とおつしやつたので、あわてゝ驛の洗面所へ行つた。少ししかない時間なので僕もいそいで顔を洗つた。（つゞく）

人間の砲彈　思ひ切つた離れ技

アメリカ人は實に思ひ切つた離れ技をよくやる。これはニューヨークのスターライト公園で演ぜられた冒險極まるサーカスの曲藝、素晴らしく大きな攻城砲の中に人間を入れてズドーンと一發人間の砲彈を打ち出さうといふ仕組である。上の寫眞は今大砲の口から人間を發射した刹那の光景、空中高く打ち上げられた人間の砲彈は豫め張つてある向ふの大きな網の中へふわりと落ちる。若し誤つて網の外へでも落ちやうものならそれこそたつた一つしかない命は一ぺんに飛んでしまふ。下の寫眞は今もんどり打つて網の中に落ちやうとしてゐるところ

ニドメノ大チヤンノタンケン（54）

ハルミチ作　ジラウ畫

大チヤンハ　シマノムスメタチト　チカラヲ　アハセテ　タフレテヰル　マワウヲ　フトイキノミキニ　ミウゴキノデキナイヤウニ　シバツテ　シマヒマシタ。「コウシテオケバ　ダイヂヤウブダ　サア　コレカラ　マワウニツレラレテイツタ　四ニンノムスメヲ　タスケニ　イカウ」ミンナハ　ゲンキヨク　マワウノ　イハヤニ　ムカヒマシタ。ソシテ　マワウノ　イハヤノナカニ　ナガイアヒダ　トヂコメラレテヰタ　四ニンノ　ムスメタチヲ　タスケダシ　ミンナハ　バンザイヲサケンデ　ヒキアゲマシタ。

娘々祭座談會（中）　迷鎭山は人で埋まる

【大石橋小學校高等科生】

辻本「僕はこんな話を知つて居る。今から五千年前に、大石橋から遼陽邊に至る一帶の地方は非常によく開けてゐた。其の頃、此の邊を統治して居た王が隣國と兵を交へたが、折惡く病床に臥つて居たので止むを得ず其の子に命じて敵に當らせた。處が、翌年、國王が病死したので、家臣は直に此の旨を戰線にある息子に通知した。訃報を聞いた息子は、早速歸つて葬式に參列したいとは思つたが、てうど其の時苦戰の眞最中にあつたのでどうしても歸る事が出來ない。で早速其の旨を返報したので、重臣達が協議した結果「大石橋の山麓」を選んで王の死骸を葬つた。後になつて近在の農民達が王の靈を山上に祀つた。これが今の娘々廟である」

司會者「面白い。傳說はなかなか興味のあるものだ。一體、娘々廟については、文獻が殆ど殘つて居ないといつていゝさうだから、正確な由緒は判らぬ。石碑記錄といつたやうなものが何かあればいゝのだが」

池田「たしか一昨年だつたと思ふ。兄さんや軍隊の通譯をして居る人や五人程一緒に迷鎭山へ登つた事がある、其の時、お寺へ參つてから西の方へ少し下りた處に大きな鐵の碇を見つけた。高さは一メートル位で下の方は大分地面の中へ這入つて居る。鐵の色や質から考へて見るとあまり古いものゝ様には思へないが山の上に碇があるとは面白い」

司會者「不思議だねえ。何れ今度行つた時に研究して見やう」

中澤「僕は最近こちらへ來たのでまだ一度も行つた事が無いのだが、娘々廟はどこにあるんだ」

××「迷鎭山の頂上から少し下つた處にある」

中澤「大石橋から遠いのか」

常見「驛には大石橋の西南三十五町と書いてある」

中澤「祭神は」

常見「圖書館から借りて來た「滿洲旅行案內」によると、趙公明の三妹、雲霄、瓊霄、碧霄の三女を祀ると書いてある。そして雲霄が福壽の神、碧霄が治眼の神、瓊霄が授兒の神となつて居る」

司會者「片桐君の傳說と大分關係があるやうだなあ。これだけ御利益があれば支那の娘さんが着飾つて參拜するのも無理はあるまい。では之から君達の見聞した事實を話し合ふ事にしやう」

辻本「祭日は何時か」

池田「舊曆の四月十六、十七、十八、十九、二十の五日間で、眞ん中の日が一番賑やかだ。今年は新曆の五月二十六日に當つて居る。幸ひに日曜日だから、日本人も澤山參拜するだらう」

辻本「寫眞で見ると、山一面の人だかりだが何人位參るのかな」

片桐「大約七萬人と聞いてゐる」

司會者「何しろ、北は長春から南は旅順大連に至る迄、殆ど全滿各地からの參詣人を集めるのだから、それ位にはなるだらう。實際、汽車から吐き出される人や、迷鎭山の中腹から山麓一帶に亘つてのあの群集を見ない人には、とても當日の雜沓は想像出來ないだらう」

本田「全くその通りで、去年も、太平山の少し南、山麓に最も近い所に臨時驛を置いて、大石橋の驛から三十分おき位に臨時列車を運轉さして居たが、女や子供などは、とても乘れるやうな騷ぎではなかつた」

司會者「そうすると歩いて行く譯だな」

池田「元氣な者なら歩いても行けるが大ていの人は馬車で行く」

司會者「賃金は」

大澤「僕の行つた時は四十錢だつた」

池田「僕は一圓取られた」

只野「今はとても四十錢では行かない。そうかといつて一圓は少し高いやうだ」

司會者「それでは其の日の樣子を話し合ふ事にしやう」

常見「一寸の言葉では云ひ盡せない。麓の方は、移動武馬車やアンペラの小屋で一杯だ。食料や寢具などを持ち運んで、一家族が其處で生活をする。まるで臨時轉宅といつたやうな形だ」

小學校長私宅に電話開通

市內小學校長、公學堂長の私宅に公用電話が架設せられた。電話番號は次の通り

伏見臺校楢本（二一五一二）南山麓校柿野（二一五一三）朝日校櫻井（二一五一四）嶺前校榊原（二一五一五）日本橋校村井（二一五一六）常盤校外池（二一五一七）大廣場校鈴木（二一五一八）春日校越川（二一五一九）松林校越智（二一五二〇）聖德校松原（二一五二一）早苗（二一五二二）伏見臺公柳原（二一五二三）西崗子公倉島（二一五二四）土佐町公坂櫻（二一五二五）沙河口公（二一五二六）沙河口校高本（九七三二）大正校湯下（九七三三）

學校だより

◇大廣場校運動會延期　同校では日學校保護者聯合の運動會を擧行する筈であつたが市民運動會と一緒になつたので次の日曜日六月二日に延期した

新刊教育書紹介

▲教育時論（五月十五日號）俸給引下げと沈滯打開策、勤務指導の本旨、近世的疾患と佛教思想新童話論、どん底生活の悲哀其の他（十八錢東京麹町區三番町開發社）

兩島に行幸の天皇陛下

海上御安らかに八丈島に御安着

光榮に手の舞ひ足の踏む處を知らぬ有樣の島民ら

【八丈島三根二十八日發】今朝横須賀御出發の天皇陛下には氣象臺の天氣豫報不安なるため御途中を御案じ申上げたのであるが、天佑か東京灣を出でさせ給ふ頃から霧雨も次第に霽れ東南東の風少しく強く雲は低く波さまで高からず

陛下には始終艦首に設けの御座に出でさせ時速三十餘節の快速力を以て航進する御召艦上より飛翔する近藤大尉操縱の海軍飛行機の飛行振り等を天覽あらせられ、海上極めて平穩に午後五時三十分八丈島八重根港に御入港安着あらせられた、八丈島は今朝來雨であつたが島民の至誠天に通じてか午後二時半頃より雨歇み雲こそ低けれ風も強からず、波のうねり少し高きも御召艦を迎ふるに差支へなく先着の警備艦五十鈴より二十一發の皇禮砲殷々たる中に御召艦は供奉の灘風、潮風、島風を從へ互姿を現した八丈富士山麓より打…たる花火が島民の歡喜の爆發とばかりに響き亙る、沿岸堵列の島民此の光榮に手の舞ひ足の踏むところを知らぬ有樣であつた

「那智」に御假泊

折柄風強く浪高きため長門御移乘御取止め

【八丈島八重根特電二十八日發】天皇陛下には御豫定の如く八重根に御安着あらせられたが、折柄風強く浪高きため長門御移乘の儀は御取り止めとなり其儘那智に御假泊遊ばされた、供奉の望月內相等も浪に遮られ八重根港を目の前にしつゝ上陸を見合せた

最初の海軍機天覽飛行

【横須賀二十八日發電】御召艦那智は正午館山沖から全速力で行進をはじめた、それと同時に同艦に搭載されてゐた最新式艦上機は近藤大尉操縱し日本海軍航空界に於ける最初の天覽飛行をなし親く天覽に供し奉つた

大島警備の豫行演習 歌の練習

【大島元村廿八日發電】いよいよ三十日天皇陛下の行幸を仰ぐこととなつた大島では午前八時から當日陛下御上陸第一候補地たる元村に警備員五百四名參集、其の日のまゝなる豫行をなし九時十分支廳發三原山より波浮小學校を經て四里餘の行幸巡路の警備豫習を行ひなほ此の日榮えある四名の大島節の歌手は三原山腹で、波浮小學生三十名は同校でそれぞれ大島節ダンスの練習をなした

全滿洲バレーボール選手權大會組合せ

來月二日彌生高女コートに於て開催される全滿洲バレーボール選手權大會組合せは抽籤の結果左の通り決定した

午前九時(兩コート同時に開始)

神明高女 組 對 彌生高女 組

彌生高女A組 對 神明高女B組

午前十時(男子)

大醫 對 大連商業 豫備戰

二中 對 大工 一勝戰

會年青 對 勝者 豫備戰

女子決勝戰

男子決勝戰

不逞團の放火か 昨曉撫順の大火

烈風中六十餘戸全燒す

【撫順特電二十八日發】二十八日午前四時二十分附屬地唯一の樂天地たる歡樂園の露天區南端より發火折からの烈風に六十餘戸を全燒した、消防隊、警察全員出動し、四時五十五分漸く鎭火した、損害三萬圓、原因は不逞團放火の疑ひあり、目下嚴重取調中である

開帳中を御用

二十七日午後九時ごろ沙河口元町一〇八番地王永財方で鍛冶工由德申ほか鐵工苦力等十名車座となり牌九と稱する賭博開帳中一網打盡沙河口署に擧げられた

演習中に七名死傷

火藥爆發して

【靜岡廿七日發電】名古屋第三師團管下豐橋工兵第三大隊三中隊高崎大尉が二十八日午前七時兵卒五十餘名を指揮して練兵場にて築城突擊演習中に、突然數個の火藥爆發して下士卒七名の死傷者を出し加藤上等兵、菅沼曹長の二名は即死し五名は危篤である、急報に依り豐橋憲兵隊は現場に驅け付け應急手當中

大連中華陸上運動會

大連中華青年會主催の第八次大連中華陸上運動會は來る六月二日午前八時より譚家屯大連運動場で擧行されるが、參加團體は中華各學校青年會等約二千四百人に上ると

金一萬圓 計算中紛失

奉天に於て

【奉天特電二十八日發】奉天宮島町三番地錢鈔業興順長では二十八日奉大取引所の受渡し日に當るので新用金票三十二萬六千圓を受取るべく、同日朝十一時店員四名をして千代田通東三省官銀號支店に派し前記金額を受取り計算中、內一萬圓を紛失せるに大騷ぎとなり奉天警察より司法刑事出張取調べ中であるが今尚不明である、同時刻に金票八萬圓を受取つた城內の一支那人に嫌疑が懸つたが、取調べの結果さうではなかつた

沖田氏歸任

遼海丸に乘組み龍口方面警備の任に當つてゐた水上署高等係主任沖田金三郎氏は二十八日午後十二時半歸任した

滿日惜敗

滿日對列車區スポンヂ野球試合は廿八日午後五時より列車區グラウンドにて六對四で滿日惜敗

上水道掃除日割

▲六月一日 攝津町一部、天神町全部、對馬町一部、壹岐町一部家東屯馬車收容所

▲六月三日 播磨町全部、丹後町全部、對馬町一部、壹岐町一部櫻花臺全部、初音町全部

明大留守軍を魁けに來滿チーム決定す

國學院、横濱高商、慶大、八幡製鐵 早大、カ大は交渉中

來る六月二日の第一日曜より九日十六日の第三日曜に至る間三回戰を行ふ實滿戰が終ると共に外來チームが滿倶、實業を目差して續々來連するが、既に決定したものは先陣を承る明大留守軍で朝鮮各地に轉戰して六月二十日着連、續いて同二十六日に國學院大學が着連し、横濱高商、慶大、八幡製鐵所チームも順次來連すべく、また招聘を交渉中のものに早大及び目下來朝中の加州大學あり、三高及び更に內地中等學校野球界一方の雄廣陵中學はこれらと別の意味に於て六月十七日頃來連滿倶、實業と一戰を試むることとならう

實滿戰經過を中繼放送する

大連放送局では六月二日午後三時より滿倶球場に擧行する實滿野球試合經過を球場から中繼放送することゝなつたが、試合經過は大連商業野球部長二宮順氏が極めて詳細にアナウンスすると

澄宮御歸京

【東京二十八日發電】去る三月十八日來葉山御用邸に御靜養中の澄宮殿下には御病氣御全快遊ばされ今二十八日田內御養育掛高木侍醫を從へ自動車にて午前十時五十分二ケ月振りにて御歸京遊ばされた

秘密映畫の密輸に手古摺る

青い灯紅い灯日本は踊り時代 —立花高四郎氏の話—

日本國中がヤンキー映畫の假似事で踊つてゐる世の中だ。銀座や道頓堀の青い灯、紅い灯に憧れて、幾人の若い男女が踊り狂つてゐるなどは先づ罪の輕い方で、エロテイクな方に於けても今は青年よりは中老年の人達が激しい愛慾の探求に狂燥してゐる。猥本の流行、猥談の怒濤、性器性藥の需給繁忙、そういつた變態的現象は皆その片影と觀る。

◇

就中秘密映畫の密入には當局も殆んど手古摺つてゐる。取締に智能を絞れば、密輸者の方でも劣らず惡い意味の頭腦のよさを示して巧妙に、有ゆる手段方法を講じて盛んに持つて來る。

◇

それらのフイルムは勿論ネガのまゝで、輸入の徑路は到底端すべからざるものであつて、到着後何處かで何人かの手に依つて現像されるらしい。玩賞者は性的純な感覺の痲痺した結果強烈な刺戟を慾求するブルジョア階級の不良中老年組が主で、富豪や貴族の不良青年子弟中にも一種の秘密結社風の鑑賞クラブを組織してゐるものもあるらしい。

◇

之等エロテイツク・ナンバーのクラブ乃至個人に共通な點は、此種映畫の愛好者は亦必ず猥本笑畫の愛好者である事だ。それ故秘密映畫の密入にも增して、暗中の魔都を縱橫に馳驅出沒するもの、各國各樣種々奇怪なる猥本の流行は非常なものである。

◇

然し、如何に彼等の跋扈跳梁は激しくても、同一團體、同一個人が、何時までも當局監視の目を潜る事は不可能である。唯だ彼等愛好者の大部分が地位あり名譽ある人々である爲め、檢擧されても社會の表面に現れないだけで、扶殖檢擧の數は隨分と多い。

◇

檢擧する程の犯罪と認められず、然も確かな推理乃至證據に依つて、之等のフイルム或は猥本笑畫の類が或る者の手にあると確めた場合——それが名譽地位ある人である場合警視廳では何等豫告なしに、刑事を遣はして簡單に其の所持品の提出を求むる。と、殆んど總く、一言の抗議なくして必ず即座にそれを提出して終ふ。

◇

人間の本能に即した一種の犯罪——と云ふよりは秘密。それに對しては當局も可成りにデリケートな手心を以て取締つてゐる譯である。

胡藤の花

五月の暮から六月にかけての滿洲はすばらしく爽かなシーズンである。殊に匂やかな胡藤の花が娘の微笑みの口からもるゝ齒並みのやうに咲きこぼるゝさまはとても香ぐはしいもの。北の國の鈴蘭の如くに「夏來る」のさきぶれの花よ。そなたは滿洲のもつともよきシーズンを語るたつた一つの花である。

英艦長に盆栽

石本市長贈る

目下入港碇泊中の英國支那艦隊カーバーランド號艦長に對し石本大連市長より二十八日盆栽三鉢を贈呈した

米大統領に日本刀を贈る

松永東電社長

【ワシントン廿七日發電】出淵大使は本日東邦電力社長松永安左衛門氏を伴ひ大統領官舍を訪ひフーヴアー大統領に接見した松永氏は二百五十年前の作である日本刀一口を贈呈したがフーヴアー大統領は厚くこれを感謝した

感動と滿足を聽衆に與ふ

諧謔を交へ興味深く 橘氏講演會第一夜の盛況

立花高四郎のペンネームで映畫評論家として名聲のある警視廳檢閲係長橘高廣氏を迎へた本社主催の一般ファンのための映畫講演會は、既報の如く廿八日午後七時半から大連滿鐵社員倶樂部第二食堂に於て開催された、講演に先立て情報課撮影のニュースリール「多のハルピン」二卷を封切公開し、次いで臼井本社總務部長の開會の辭があつて橘氏の講演に移つたが、聽衆は殆ど大連に於ける映畫人及び高級ファンを網羅し終始熱心に傾聽したが、橘氏は映畫の見方と題して約一時間半に亙り氏一流の諧謔を交へて頗る興味深い講演をなし聽衆に感動と滿足を與へた、講演後更に情報課のニュースリール「滿洲を拓くもの」二卷を封切し十時頃第一夜の講演を終つた

孫文移柩祭と大連の支那側

故孫文氏移柩祭に際し大連にても華商兩公議會より口頭を以て各方面に弔旗を揭げるやう傳へたので中華各支那側會社商店は夫々半旗を揭げて居り、南京では六月一日は歌舞音曲停止の令が既に發せられたが、流石當地は遠慮して只中華青年會が當日休業し、基督教青年會にては追悼會の準備だけ整へてゐると

女ゆゑに罪を

犯した男の公判三つ

女故に罪を犯した男の公判三件——元滿鐵職工金井久藏(三〇)は昨年十二月初め逢坂町橘樓に登樓し酌婦榮吉こと勝部ハマを買馴染に一夜の甘夢を結んだのが縁となり末は夫婦と言ひ交したが、女には既に他の男と夫婦約束があり義理と愛慾の板挾みとなつた女は去四月九日金井に對して「死んで與れ」と心中を持ちかけた、さうして二人は翌十日旅順に赴き同日午後一時ごろ司令部三番地の松林內で女から「貴方を先に……」と所持せる海軍ナイフで男の咽喉を突き刺し、さらに男が苦悶のうちにナイフを取つて女の胸部と腹部に刺通して絶命させた、しかし男はその時もう自分の生命を絶つだけの勇氣なく其場で苦悶してゐるを發見救助されたといふ自殺幇助事件のまゝは長島判官の訊問により被告は素直に事實を認めたが、最後に判官から女が悶死せる現狀の寫眞を見せられて「濟まなかつた」と男泣きに法廷に泣き崩れた、かくて立會の池內檢察官は懲役七ケ月を求刑判決言渡しは來る六月四日

◇

昭和の鼠小僧を氣取つて貧乏人を助けやうと盜みを働いたがその金は全部遊女に入れ揚げ、前後八回に亘る窃盜が暴れて今は書きの廷に立つ青年——市內愛宕町二十八番地菊地德太郎方久我三平(二〇)に係る窃盜罪は、長島判官の審理を終へ池內檢察官は被告に懲役七ケ月を求刑、大內辯護人の執行猶豫の辯論あつて閉廷、判決言渡しは六月四日

◇

夕刊一部所報、莫連女の手管にかゝつて滿鐵小學基金一萬餘圓を横領した元滿鐵學務課勤務松田利甫(二〇)——夕刊所報年齢は誤り——及び逢坂町末廣樓酌婦竹千代こと植木タカ(二〇)に係る證據湮滅並に贓物罪の公判は二十七日午前中に事實審理を終へ、同午後三時長島判官から松田利甫に對し懲役一ケ年、竹千代に懲役七ケ月罰金五十圓の判決言渡しがあつた

街路上で大怪我二人

何か爆發して

廿八日午後三時半頃小崗子永樂街一番地土屋鐵工所前に於いて榮町滿鐵宿舍三五雷世榮(三二)が路上で拾つたパイプ樣の物を何氣なく針金でつゝき廻して居た處一大爆音と共に破裂し雷は左手の小指を殘した儘四本の指をもぎ取られ血塗れとなり打倒れ傍に居た王陽街鄭廣順(三二)は破片の爲め脚部に治療一ケ月の傷を受け人事不省となつた、附近の人は直に兩名を博愛病院に擔ぎ込んだが小崗子署では直に該爆發物を調べたるも附近に破片もなく確な事は分らないが雷管ではないかと言つてゐる

多々羅氏畫展

東京太平洋畫會教授多々羅義雄氏は一昨年來連展覽會を開催多大の好評を博したが、本年は哈爾賓地方に於て材料を蒐集すべく日本水彩畫會々員間所一郎氏と共に最近來連來る廿九、三十の兩日滿鐵社員倶樂部に於て展覽會を開催すると

リンドバーク大佐結婚す

【加州イングルウッド二十七日發電】大西洋横斷飛行の勇士リンドバーク大佐は豫て公約中の墨西哥駐在アメリカ大使モロー氏令孃アン、モロと本日當地に於て結婚式を擧げた

第四回決算公告

(自昭和參年四月壹日 至昭和四年參月參拾壹日)

貸借對照表

科目	金額
借方(資產之部)	
拂込未濟資本金	二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
建設費	三、八〇七、六六五・〇五
貯藏物品	六二、三二九・六六
切手印紙	四八四・四一
現金	六三三・四八
預金	二〇一、二三六・六七
未收金	一三三、一六八・四六
假拂金	二八、八八五・〇〇
合計	六、三三二、九三一・三三
貸方(負債之部)	
資本金	四、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	一五、八一一・〇〇
社債	二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
未拂金	一三三、七〇八・一六
社員身元保證金	二〇、〇七〇・〇〇
假受金	五二五・六〇
前期繰越金	五六、三八七・二五
當期利益金	一一六、四三一・三三
合計	六、三三二、九三一・三三

損益計算

科目	金額
收入之部	
營業收入	三七二、〇六四・六八
關東廳補助金	九、八〇〇・〇〇
南滿洲鐵道株式會社補助金	二一五、〇〇〇・〇〇
合計	五九六、八六四・六八
支出之部	
營業費	三四一、九一〇・六六
支拂利子	一三八、五二三・七〇
合計	四八〇、四三三・三五
差引當期利益金	一一六、四三一・三三

利益金處分

科目	金額
當期利益金	一一六、四三一・三三
前期繰越金	五六、三八七・二五
合計	一七二、八一八・五八
內	
法定積立金	五、八二三・〇〇
株主配當金(年八分) 壹株ニ付金貳圓	一六〇、〇〇〇・〇〇
後期繰越金	六、九九五・五八

右之通リニ候也

昭和四年五月廿七日

株式會社 金福鐵路公司

追而監査役全員任期滿了ニ付改選ノ結果重任ス

『改造』六月號の論文欄五十九頁より六十二頁迄は削除された

けふのラヂオ

昭和四年五月廿九日(水曜日)

自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)

自午後〇時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース

自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニュース

一、ニュース

二、英語講座 第三課料理店にて 大連彌生高等女學校茶谷茂

三、獨唱 1六騎 2ほとゝぎす 3かやの木山 4寢園の板戸 山田耕作々曲 平間文壽、伴奏齋藤佐和

四、清元 中西お祭り 淨瑠璃 三味線 清元延菊秀

五、喜劇 谷川の水 曾我廼家五郎蝶一座 第一、百姓茂助宅の場 第二、村長福井福兵衛宅 村長福井福兵衛…蝶兵衛、娘咲子…君子、役場小使太七…五郎蝶、下女お松…三郎、百姓茂助…五俵、娘お花…新蝶、養子三之助…五郎蝶、大學生秋山壽一…國男

六、料理獻立

七、天氣豫報

八、ラヂオ體操

轉居

星ケ浦公園內ヤマトホテル一〇號別莊

五月二十六日 村井啓太郎

公示催告

大連市西公園町四十九番地 滿鐵社員消費組合本部 申立人 元木照五郎

目錄

一、證券ノ種類及番號 船荷證券壹通外第貳〇參號

一、證券發行日附 昭和參年拾貳月參拾日

一、船舶名稱 香港丸

一、發行人及證券作成地 大阪商船株式會社大阪支店、大阪市

一、船積港 大阪

一、荷送人 田村駒商店

一、荷受人 滿鐵社員消費組合本部

一、陸揚地 大連

一、品名及數量 綿布 壹箱

一、價格 金七百八拾七圓五拾錢

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和四年十一月三十日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和四年五月二十五日

關東廳地方法院

寄附電話開通申請受付

一、受付期間 六月一日より同八日まで

一、寄附架設費 一口金百五拾圓(當局指定の期限內に納付すること)

一、制限 申請者多數のときは御希望に應じ得ざることあり

一、詳細は當局に就て承合せらるゝこと

昭和四年五月二十八日

旅順郵便局

公示催告

大連市寶町一番地 順泰油房事 申立人 姜西亭

目錄

一、證書種類及番號 貨物引換證レ第七〇參號

一、發送人及荷送地 東永茂、開原驛

一、證書發行所 同泰油坊、大連埠頭

一、到着地

一、證書及託送發行年月日 昭和四年五月拾九日

一、品名 金元大豆(麻袋入)

一、數量 參百五拾袋(四九、七〇〇斤)

一、價格 金參千圓也

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和四年十一月三十日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣言スル事アル可シ

昭和四年五月二十五日

關東廳地方法院

本社懸賞當選小說 人生の曲藝 (144)

(禁無斷上演)

瀬野皓太作 淺枝次朗畫

ホテル、オブ、ミラクルス(二)

朱文啓は婦の獨り言を聞き逃せなかつた。

「お前は、あの日本婦人と近づきでゝもあつたのかね」

「あたし? 勿論ともさ」彼女はその問ひ方には充分の滿足と誇りとを持つて答へた。

「隨分、長い交際なんだね」

「長い交際? 無論、この先はね しかし、話し合つたのは昨夜からさ」

「昨夜?」

朱文啓の心は失望させられて了つた。

「昨夜は昨夜でも、妾にはたつた一人の友達なのさ。あの人は手足にかせを掛けられてるのは妾と同じ事なんだよ。あんなに綺麗でもね」

「手足にかせを」

朱文啓の心は不思議におびえて了つた。

が、朱文啓の求めてゐるものは、この女から、聞き出さうとしてゐるある事柄なのに氣づくとそのおびえた心も元の樣な、冷たさに歸るのであつた。

「さあ、お前の部屋に歸らう。俺はこの明るさを好かないからね」

彼女もそれを聞くと立ち上つた

「あたしも、今日は心が滅入つちやつてしようがないの」

朱は彼女の腕を抱へた。

小さな部屋はホール間近に用意されてゐた。

厚いとばり、茶のブラインドに遮られた窓、ほのかに暗い電氣スタンドの灯り。

彼は、女をソフハに横はらせると直さまに、訪ね始めた。

「お前は今朝、あの女の騒ぎの時に出會はしたと言ふじやないか」

女はその不意の質問を怪しむかの樣に、彼を見つめた。

「少し今朝は疲れすぎたの。やつとあの頃、家に歸る所だつたからさ」

朱は注意深く口を開いた。

「で、お前はどう思ふ。あの女は助かると思へさうかい」

女の眼は閉ぢられた。

「とても。胸を一さしやられてるからさ」

「あの女は、何か手に持つてゐた筈だ。お前はそれを見なかつたかい」

「見ましたともさ。黒い包をね」

朱文啓の心のせきつきは口に現はれてゐた。

「で、その黒い包は?」

女の記憶はそれに就いては極めて薄かつた。

朱は女にそれを憶ひ起させるのには、かなり努力をしたのであつた。

「あの人をひどく世話をしてる日本人が、駈けつけると直に、何より先に拾つちやつたわ。たしか、さうだと思ふんだけれど」

「その、日本人つてのは、太つた」

「さうよ」

朱文啓は僞に兩手で頭を抱へた

「早川啓吉だ」

さう思ふと、彼は一時もそのまゝではゐられない樣な氣がするのだつた。

東京時代から、彼は早川啓吉の監視を恐れてゐた。彼と一度さへ面と向ひあつた事さへなかつたものゝ、彼の心と、早川の心とは常に激しい交渉があつた。その早川啓吉に、折角の計畫を覆へされるのは、彼にとつては何よりの苦痛であつたから。

「確にお前は、それを見とゞけたんだね」

女は、物憂げにうなづいて見せた。

女の心は、その黒い包よりも、葉山百合子の傷口に惹かれてゐた

「ね、旦那。あの女の方は助かりつこはないね。今夜は、ひよつとしたら亡くなつてゐやしないかしらと思ふよ」

彼女の胸には黒い影がかすめて行くのだつた。醉つてゐる身體、それでゐて益々はつきりと醒めて來る心。

が、朱文啓には、その葉山百合子の死と言ふ事よりも、早川啓吉に拾ひ上げられた黒い包に、どれだけ氣を焦ら立たしてゐるかも知れなかつたのだつた。

女は朱の落ちつかない態度に職業的な不安を抱いてゐるのだつた

「今晩は泊つて呉れるの?」

滿日文藝 滿日俳壇

畑打

○ 哈爾賓 松本采牛子

畑打や低く飛び交ふ燕
土の香の漂ふ畑を打ちにけり
ひもすがら一樹を圍り田打かな
今朝の雲いつしか散りぬ畑打
夕づゝや今一打の丘の畑
畑打ちて戻りし父を迎へけり
千町田や川を挾んで打競ひ
門川や投げ込んである田打鍬

○ 大連 伊東晃水

白塔の眞下の畑打ちにけり
城壁の影さす畑を打てるかな
畑打や金州城はまのあたり
畑打を離より呼ぶ晝餉かな
畑打や海に展けし山畑
畑打のあちらこちらに出揃へり

○ 撫臺 天江雨江

北陵の林に近き田打かな
畑打つ踏切番の夫婦かな
一人も通らぬ山の畑を打つ
畑打の後ろ通るや草摘女
波の音ひゞく棚田を打ちにけり
夕映に畑打つ鍬の光かな
畑打女晝餉のひまの蓬摘み

滿日俳壇募集規定

次回課題「短夜」「衣更」「蝙蝠」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十月六日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八一島田青峰宛

政記輪船出帆

廣利號 五月廿九日威海行
得利號 五月廿九日芝罘行
永利號 五月廿九日芝罘行
有利號 五月卅日龍口行
全利號 五月卅日芝罘行
同利號 五月卅一日通州行
恒安號 五月卅一日芝罘行
乾利號 六月二日廣東行

政記輪船股份有限公司 電話四一四一番

大連汽船出帆

●青島、上海行
奉天丸 五月廿九日前十一時
天津丸 六月一日前十一時
大連丸 六月四日前十一時
●天津行
長平丸 五月卅日前十一時
天潮丸 六月二日前十一時
濟通丸 六月四日前十一時
●登州府、龍口行
龍平丸 六月一日後六時
●安東行
濟通丸 五月卅一日後六時
●香港廣東行
興順丸 五月卅一日
英順丸 六月五日

大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店(大連市敷島町) 永和公司 電話七二七五・七八六八番

社船大連出帆

●鹿兒島三角行
廣發丸 六月一日
●日本海行
春丸 六月十五日
●龍口行
南都丸 五月 日

大連市山縣通一二九 栃木商事株式會社大連出張所 電話七四一八番

島谷汽船大連出帆

●南鮮裏日本各港函館小樽行
鮮海丸 五月卅一日
大成丸 六月廿七日
●寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新
舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●南鮮裏日本北海道樺太行
長成丸 六月十五日
●寄港地 鎭南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽、大泊
●各等客室設備あり

島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電長四七一一・三四八二・六二二三

高橋汽船大連出帆

大連芝罘間定期船
●芝罘行
海壽丸 五月卅日午後六時

大連加賀町三〇 代理店 鹿玉軒記 電六一一七・三八五一

大阪商船出帆

●門司神戶(大阪行)午前十時出帆
ばいかる丸 五月廿九日
はるびん丸 六月一日
うらる丸 六月四日
香港丸 六月七日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆
長沙丸 六月五日
福建丸 六月十六日
盛京丸 六月廿六日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行
關東丸 六月十二日
●北米シヤトル、タコマ行(上海神戶四日市橫濱經由)
ありぞな丸 六月八日
●紐育行(神戶四日市橫濱經由)船客お斷り
はばな丸 七月十七日
●歐洲行(上海香港新嘉坡經由)船客お斷り
あんです丸 五月三十日
●天津行
武昌丸 六月一日前十一時
貴州丸 六月八日後五時
河南丸 六月十五日正午
●橫濱直行(後三時出帆)
河南丸 五月卅日
武昌丸 六月七日
貴州丸 六月十四日

大阪商船株式會社大連支店 電話四二三七番
專屬船客案內所 滿洲旅館協會 信濃町遼東ホテル內 電四一三二一番
乘船切符發賣所 大連市伊勢町 ジヤパンツーリストビユーロー大連案內所 電五五五四番
專屬荷客扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番
大山通り列符發賣所 電七〇三四番
沙河口切符發賣所 東來洋行內 電話九五〇六番
二ホーム荷扱所 電話四八〇二番

日清汽船大連出帆

●青島、上海行午前九時出帆
華山丸 五月卅一日
唐山丸 六月八日

代理店 大阪商船株式會社 大連支店 電話四二三七番
專屬荷客扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社 電話三一五一番

阿波共同汽船

●芝罘、威海衛、青島行
第十六共同丸 五月卅一日後七時
●芝罘、威海衛、青島行
第廿一共同丸 六月三日後七時
●芝罘、威海衛、仁川行
第廿六共同丸 五月廿九日後七時
●鎭南浦行
長山丸 五月卅一日

滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地 阿波國共同汽船會社 大連支店 電長六八九一・五〇〇一番

日本郵船出帆

●歐洲行
松本丸 五月卅日漢堡行
豐橋丸 六月十九日漢堡行
敦賀丸 七月廿五日漢堡行
だかあ丸 六月六日李浦行
だあばん丸 七月二日李浦行

近海郵船大連出帆

●長崎、神戶、大阪、橫濱行
玄武丸 五月卅日
勝浦丸 六月廿一日
●橫濱行
相模丸 六月八日
淡路丸 六月十四日
玄武丸 六月廿九日
●天津、牛莊行
相模丸 五月卅一日
淡路丸 六月六日
勝浦丸 六月十三日
玄武丸 六月廿一日
●基隆、高雄行
第二蓬萊丸 六月六日

朝鮮郵船大連出帆

●青島、仁川行
會寧丸 六月八日
●仁川、長崎、鹿兒島行
羅南丸 六月一日

朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌(海圖)販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通 電話三七三九・七八四六番
監部通(若狹町) 專屬客荷取扱店 丸二商會 電話四二四六・五八八八番

夕刊 滿洲日報 五月二十八日

馮玉祥氏下野を決意し近く甘肅に隱遁せん
大勢如何ともし難きを覺り 將領を集めて凝議

【北平特電二十八日發】馮玉祥氏は韓復渠氏の寢返りに依り大勢既に如何ともし難きを覺り廿七日潼關に於いて將領を集めて凝議の結果、いよ／＼下野して甘肅に隱遁するに決した

閻氏に外遊應諾の返電

【北平廿七日發電】閻錫山氏は曩に馮玉祥氏に對し時局和平解決のため共に外遊せんと打電したが昨日馮玉祥氏より和平手段に依り時局解決を希望すると共に外遊應諾の返電ありしに對し閻錫山氏は今日更に馮玉祥氏に對し和平解決策を議すべく山東省運城まで出迎へられ度いと打電した

韓の寢返りは欺瞞策か
◇奉天某機關に入つた情報

【奉天特電二十八日發】馮玉祥麾下の韓復渠氏の寢返り說は頗る疑問視されてゐるが、當地某機關への情報に依れば、馮玉祥氏がロシヤから供給を受くる兵器とガソリン油の到着するまで中央政府の討伐を再延せしむる欺瞞策なることが判明した

北平の日本公使館近く大使館昇格
芳澤公使の滯平中に實現か 列國も同意せん

【上海廿七日發電】支那公使館の大使館昇格は六月中旬芳澤公使の北平滯在中實現するに大體決定してゐると確聞する、昇格については從來の關係上芳澤公使より一應列國に我意嚮を通ずべきが固より列國としては不同意を唱ふべしとは期待されない、大使館所在地は北平であるが國民政府との間の用務一切は當地で行はるべく既に重光總領事が大使館參事官兼任たる外天羽書記官は南京總領事兼大使館一等書記官たるに決定してゐる

外交團會議に提議

【北京二十七日發電】大使館昇格問題は芳澤公使が國書捧呈に依り正式承認をなして後一應北平に歸任し移靈祭參列のため南京に赴ける各國公使の歸平を待つて外交團會議開催され芳澤公使より大使館昇格の正式提議をなし日本は大正十四年よりの決定方針なるを以て國民政府正式承認を機會に實現し度き旨を告げ列國の同意を求むるものと豫期されてゐる

芳澤公使談

【上海廿七日發電】芳澤公使、天羽書記官、新任南京駐在海軍武官津田大佐一行は本日午後三時上海丸で到着したが公使は語る

大使館昇格問題については既に決定して居り準備もあり適當の時機に昇格する方針であるが未だ一週間や十日中には實現せぬことは確かである、いづれにせよ這は單に時間の問題だ、大使館に昇格しても直に北平を撤退して南遷する意味ではない、昇格は敷地や建物の事ではないことは云ふまでもない、予は引續き當地に留まるから大使館の用務は當方で處理さるべく其の準備も既に整つてゐる

荻川放談 (44)
弔文(其二)

頃日蔣馮の抗爭は次第に募る、たゞしその何れに軍配の揚がるやは知らぬが、蔣側にある弱味は、軍費兵員の多少なんかと云ふものよりも革命完成後に内亂なしとの期待が裏切らるゝ民衆の不平次から次と起る戰爭の軍費徴發を厭ふ財閥の離反蔣政府首席の專斷獨裁からしての政府及與黨内部に於ける動搖

此弱味があるから蔣も鄒々に立てぬ、その立つは、故孫文移靈祭が終つてからと云ふも、口實なるなからんや。

◇

されば云つて、馮の安きに居つて機を狙ふの主義は、彼をして蔣に先んぜしむることをなさぬ、而已ならず馮側にも、次の弱味がある

絶えず志を二にするが故を以て誰しも其聯盟たるに躊躇する露國と提携して國家を售るとの悪罵を浴せられ世間から同情なし

斯うだとすると、双方共に立派な名義を掴まねばならぬ、確實なる基礎を築えねばならぬ、合戰などは易く起されないが、それにしてもこゝらで双方さらりと確執を捨て、元に還つて革命の完成に努力してはどうか。

◇

山西の閻錫山が此の時に方り嚴正中立を聲明す、是れ自衛の國と目せらるゝが、併し此嚴正中立は、蔣側の戰意を弛めるに足る、これが弛めば馮側とて反氣分を和ぐるに違はぬ、そこで妥協じや、而して此妥協に一層の効果を齎すべきは、張學良の態度なり、若し張學良にして眞に革命の完成に專念し、東北四省の保境安民に寄思するなら、唯國民政府の遣り口に迎合するばかりが能でない、こゝで天晴大政治家たる手腕を發揮し、先づ蔣馮間に居中停調を試み、開き直つて大義名分を糺し、然る後に於て關內出兵なんかのことをも定むるのである。

◇

支那の政權把握者の一人として斯ふした力量を示し能ふは、現在に地の利を得たる張學良あるのみ、彼にして人の和を得んか何事か爲し遂げられざらん、さるにつけ、亡父の功績を揚げ、亡父の遺業を繼ぎ、吾また天下國家を志さんとするに於てまのあたり彼が履み行きつつある途は餘りに平凡で、寧ろ其腑甲斐なさを感ずる、志すところ如上にあらざれば乃ち止む、然らざればこゝ一奮發はどうじや而して此奮發は保境安民から初まらねばならぬ、人の和は是から來る。

故孫文氏の靈柩けさ南京に到着
卅萬の奉迎者沿道に堵列し 禮砲天地を壓す

【南京二十八日發電】二十六日北平を出發し戰雲漲る津浦線を南下した民國革命の父孫文の靈柩列車は本日午前十時浦口驛に到着した此の日浦口停車場附近から

◇…碼頭 一帶は早朝から首都衞戍司令派遣の憲兵隊約五百名に依つて警戒され午前八時頃から胡漢民、譚延闓、戴天仇、吳稚暉、蔡元培、王寵惠、王正廷、同夫人、宋子文、同夫人等の中央要人其他各界代表は續々軍艦のランチで長江を渡り孰も喪服姿を碼頭に現しプラツトホームの奉迎位置に就く、軈て午前九時五十分對岸の南京獅子山砲臺から殷々たる百一發の禮砲が打出され數臺の飛行機は弔旗を風に飜かせて紺碧に晴れ渡つた南京浦口の

◇…空を 或は高く或ひは低く飛び靈柩車に敬意を表した、軈て列車は哀曲奏でられ奉迎全員の敬禮裡に到着、列車からは北平より隨行した孫文遺子鐵道部長孫科(喪主)同夫人、孫未亡人宋慶齡女史降り立ち、之れに續いて徐州まで出迎へた蔣介石氏が姿を現はし之れと前後して孫文の近親者として北平から同道の孫文生前の同志梅谷庄吉氏、山田純三郎氏、前代議士菊池良一氏等の顔も見える、宋慶齡未亡人の喪服姿は人々の心を最も强く打つた樣に見えた

◇…扉は 開かれ晴天白日旗に蔽はれ花環に埋れた孫文の靈柩は四十名の奉仕者の手で列車から靈柩輿に移され奉仕者の肩に擔はれた斯くて靈柩は碼頭に運ばれ軍艦威勝に遷された、此の時碇泊の支那軍艦を始め各國軍艦は何れも弔砲を放ちて弔意を表し我第一遣外艦隊旗艦矢矧も其の列にあり靈柩艦威勝に向つて弔砲を放つた時に十一時四十分、軍艦威勝は中山碼頭に到着し靈柩は各員の最敬禮裡に靈柩車に移され

◇…中山 を一路中央黨部に運ばれ迎櫬行列は八つの小列に分れ各隊の先登にはそれ／＼軍樂隊が配され哀の曲を奏でる、參列支那人は白の夏服に黒の靴下を履き蔣介石氏は心持面を伏せながら謹嚴な足取りで靈柩に先行して來る、靈柩が中央黨部の正門に入つたのは午後四時であつた、斯くて本日より四日間靈柩は此處に安置される、下關碼頭より中央黨部に至る沿道の

◇…警戒 には衞戍司令部衞隊、公安局巡警、中央軍官學校學生等一千名が當り沿道堵列の奉迎者は約三十萬人に達した

滿蒙鐵道
驛傳競爭踏破行程
滿州里
チチハル
昂々溪
哈爾賓
海倫
洮南
長春
吉林
敦化
四平街
鄭家屯
朝陽鎮
開原
西豐
西安
梅河口
通遼
奉天
撫順
大虎山
溝帮子
營口
蘇家屯
牛心台
本溪湖
大石橋
安東
金州
貔子窩
周水子
山海關
旅順
大連
凡例 紅班 白班 豫定線

驛傳競爭成績

◇…十九日午前八時十分開始
◇…廿八日午前八時十分現在

紅班	踏破鐵道 二二〇〇・一哩	(實走行程二八〇一・二哩)
白班	踏破鐵道 一三三〇・〇哩	(實走行程二一一三・八哩)

滿蒙鐵道驛傳競爭

紅白兩班の四勇士 長春で堅き握手
兩班引繼ぎを終つて 東支線と吉長線に勇しく出發

【長春特電二十八日發】薄霧立籠むる二十八日午前六時四十四分東支列車は秋山紅班選手を載せて驀進し來り驛頭には長井領事、土肥地方所長、森田驛長、齋藤憲兵隊長、長尾署長、石田郵便局長代理、堀江吉長驛長、齋藤事務主任、井上高等、得丸地方委員、野村電信課長、其他多數官民愛讀者の歡迎あり、暫く驛長室に休憩し、間もなく南滿より驅け付けた白班加藤選手と偶然にも邂逅しヤアヤアとの叫びに孰も敵味方を忘れて堅き握手を交し「疲れたらう」「うん」「いや大丈夫」「しつかり頼む」の合言葉勇ましく、白班は北滿を踏破する神藏選手、紅班は吉林の奧深く突進する木村選手に無事引繼を終り、萬歲の聲に神藏選手は七時東支へ、木村選手は八時半吉長に、所定のコースに向つて出發した

秘密文書を手渡す
加藤選手から神藏選手へ

【長春白班加藤選手廿八日發電】吉長吉敦輝吉潘鄭の四鐵道を完全に走破した余は奉天に於ての引つぎを夢みて奉天站に到着したところ更に勇躍長春に飛べとの命に接し氣勢れも何處へやらオーライとばかり出迎への自動車に飛び乘り三里の道を南滿驛に飛ばし午後十一時十分發北行、假寢の夢も結び兼ね今朝七時豫定の如く長春着意外にも紅班の秋山木村兩選手の姿をぎ望み白班第三走者神藏選手とともに固き握手を交して前途の武運を禱る「勝てくれ」とバトンを渡して余は神藏選手に武田班長よりの秘密文書を手渡し七時五十分發の東支鐵道ホームに見送つた、戰友神藏君をのせた列車は朝霧をついて北へ驀進して其の姿を消した「車よウンと走つてくれ」—

怪電報 對策に狂奔
長春に着いた木村紅班選手

【長春にて木村紅班選手二十七日發電】單騎長驅して豫定の作戰を遂行せる秋山選手に代らんと二十七日夜長春に到着したが、神藏白班選手が吉林驛長に對し「紅班に特別の便宜を與ふること絶對に斷る」旨打電せるを聞き込み闘志猛然として起り解きし旅裝を再びつけ自動車のヘツドライトに闇を破つて人知れず之が對策に狂奔す、天運何れにくみするや二十八日未明には長春驛頭に紅白兩選手期せずして邂逅の上東西に別れて出發する筈である

白班長善後策

右木村選手の電報を見たる武田白班長は直に吉長當局者に對し神藏が赤に特別の便宜を與ふること絶對に斷はる旨吉林驛長に打電したる趣なるが其心情は充分察するも戰は飽く迄堂々たらざる可からず—とて吉林驛長に轉電方を依頼する電報を發した

天氣豫報

廿九日(晴) 西北の風 後晴れ
日出四時二十一分 日沒七時十分
滿潮前一時十五分 後一時三〇分
干潮前七時 後八時四十五分

協調遂に絶望か 市長辭職の他なし
早くも話頭に上る後任市長

助役問題に絡はる大連市會三派の溝渠は依然として除去されぬのみか却て增大し行く狀勢である、革新派中の中立系有志議員が企てた調停運動なるものも擁護派滿鐵派の容るゝ處とならず、殊に滿鐵系は村田議長の辭職を徒事ならしめぬために飽くまで現市長を辭職せしめなければ已まぬといふに傾き革新派の大勢亦益々强硬であつて此等の空氣の中に早くも後任市長候補が話題に上り、即ち大藏公望男、小川順之助氏等を之に擬してゐる向のあることによつても市會の現勢を察知し得るであらう

村田議長正式辭職
村田氏の辭表廿七日通達

かねて石本市長に辭職を勸告しつゝあつた大連市會議長村田慤麿氏は其の素志が果されないことを憤慨し廿七日附を以て市會議員辭職書を市役所に通達した

拓務省開設 六月十日の豫定
大臣は當分首相兼攝

【東京二十八日發電】田中首相は二十七日午後前田法制局長官を官邸に招致して拓務省設置に關する事務的手續に關して種々打合せた結果

一、拓務省開設は六月十日の豫定を以て準備を整へること
一、拓務大臣は內閣改造まで田中首相の兼攝とすること
一、官制公布を十日とするため各大臣は九日午前までに東京に歸り副署に差支へなきようすること
一、政務官は專任拓相決定まで置かざること
一、事務次官は田中首相考慮中であるが大體小村欣一侯と見らる
一、局課長は[?]月十日迄に鳩山翰長、前田法制局長官等の手許にて銓衡の上首相の裁決を待つて決定する

ことに大體方針を決定したが拓務局長は內務省の富田社會局保護課長、管理局長は成毛拓務局長、殖產局長は拓殖局郡山第二課長に落着くべくなほ拓務省開設と共に田中首相は拓殖施政方針に關する聲明書を發表のはずで朝鮮統治上特に朝鮮部設定に關して言及するものと見られてゐる

松岡滿鐵副社長 卅一日東京出發

上京中の松岡滿鐵副社長は卅一日東京發歸社の途に上ることに決した旨滿鐵本社に通告があつた

人事

▲安藤嚴水氏(帝國在鄉軍人會代表弔魂、長陸軍中將)二十九日夜六時着列車にて來連
▲井上綾太郎氏(會計檢査官)隨員二名と共に廿八日夜旅順より來連遼東ホテルへ

大觀小觀

◇大島、關西地方行幸。遙かに御旅路の御平安を奉禱す。
◇乾坤一擲の衝突が今にも起らうとして遂に起らず、忽ち馮派がへたばる。流石に支那だ。
◇馮氏下野して甘肅に入る、虎が野に歸つたわけ。但し此の虎は牙が抜けてゐるらしい。
◇北滿のクーデター、とても勇ましいことではある。
◇市會の協調遂に成らずといふ。ドウでも宜し。

旅日記
遲塚麗水
熊岳城にて

金州の閻氏の邸に一夜を過ごし翌朝城壁の上を一周す
城壁に晴れ行く靄や花馬蘭
夜は熊岳城の溫泉場に宿す
アカシヤの花の散り込む河原風呂
熊岳城の溫泉は伊豆の下鴨にさながらの風趣あり

關西地方行幸の聖上陛下
常春、傳說の島へ けさ帝都を御發輦
閑院宮始め文武百官奉送裡に 略式鹵簿に召され

【東京廿八日發電】天皇陛下には豫て仰せ出しの如く常春に綠光映ゆる傳說の島八丈、大島南島を始め西日本の兩大都市大阪神戸へ十二日に亘り行幸、親く赤子を愍はせられ産業狀態を御覽あらせらるべく二十八日帝都を御發輦先づ八丈島に向はせられた、この日の朝海軍樣式大元帥の

〔御軍裝〕大勳位略章を佩ばせられ颯爽たる御英姿の天皇陛下は御車寄せまで皇后陛下並に照宮樣の御見送りを受けさせられ暫しの御別れを告げさせられて鈴木侍從長御陪乘の自動車に召させ牧野內府、西園寺御用掛、奈良武官長を始め侍從侍醫、武官供奉の略式鹵簿にて午前八時五分宮城御出門、市民堵列奉送裡を、東京驛に着かせられ、直に久保田東京鐵道局長の御先導にて、閑院元帥宮、伏見大將宮、賀陽宮、東久邇宮、秩父宮妃、竹田宮大妃殿下、東鄕、山本兩大勳位以下文武百官の奉迎送の裡を同十五分東京驛御發、一路

〔横須賀〕に向はせられた、岡田、望月、小川の三大臣は御同乘、横須賀まで扈從申上た

皇禮砲轟く中を 御召艦に御移乘
横須賀を御出發遊さる

【横須賀廿八日發電】天皇陛下御召の宮廷列車は午前九時四十分横須賀驛に御到着、この頃御召艦那智を始め在港八十餘艦より二十一發の皇禮砲殷々と響き渡つた、陛下には逸見波止場まで土屋侍從御先行、岡本、海江田兩侍從奉持の寶劍、神璽を前後に玉歩を運ばせられ水雷艇にて沖合なる御召艦に御到着、荒山那智艦長の御先導にて御乘艦遊ばされた、時正に十時四十二分メーンマスト高く錦繡綾なる天皇旗翩翻と輝き紺碧の海原に映じ莊嚴さを添へた、斯くて十時四十五分御召艦那智は灘風、島風、潮風の供奉艦を從へ東京灣港外へ進んだ

多數の秘密書類と共に 支那官憲七十名を押送
昨夕六時、二臺の自動車にて
哈爾賓勞農總領事館事件

【哈爾賓特電二十七日發】既報勞農總領事館內の家宅搜査を行ひつゝあつた支那官憲は二十七日午後六時に至りメリニコフ總領事を除く館員全部及び共產黨員ら約七十名を自動車二臺に分乘せしめ多數の秘密書類と共に警察署に押送した、右檢擧の原因につきその後判明した處によると二十七日午後一時から領事館內に於て約五十名の共產黨員が極秘裡に集合援馮問題および急變せる支那の政狀に對し第三インターナショナルとしての積極的運動を行はんとして討議せることを探知したゝめであつたと謂はれてゐるなほ詳細なる眞相は押收せる秘密文書の整理を待つて判明するであらう、之がため支那側では各沿線のコーペラチーブその他勞農機關に對し嚴重なる警戒を加へつゝある模樣である

或は支那側が 奉露協定破棄か

【哈爾賓廿八日發電】哈爾賓領事館の手入は南方戰局の發展に伴ふ奉軍の關內出動を豫想し蒙古軍を總動員し背後より奉天派を脅かさんとし且つ赤化宣傳を行はんとした露西亞側に一大彈壓を加へたものであるが、支那側は二十七日午後五時よりソウエート系のグランドホテルの電話線を切斷した、なほ支那側は今回の事件を端緒に奉露協定放棄の態度に出でんとも限らない、一方本事件は張學良氏と蔣介石氏が合議の上行はれたとの說がある

對支赤化 宣傳を協議
事件內容發表

【哈爾賓廿八日發電】支那官憲は二十八日午前一時事件の內容を發表したが、その要點はロシヤ共產黨員八十名(內四十一名は領事館員)は二十七日正午より領事館に會合し午後三時まで第三インターナショナル對支赤化宣傳につき協議したとある

巧妙な 押收の書類

【哈爾賓二十八日發電】押收書類は自動車で支那警察に運ばれたが右は第三インターナショナルの對支政策に關するもの多く一般支那政情を書き連ねた書類の裏面に第三インターナショナルの重要對支政策が列記され、之を化學藥品に依て表現する巧妙なものであると

張景惠氏反駁

【哈爾賓二十八日發電】東鐵副總裁ェルキン氏は張景惠氏を訪問し領事館員は何等關係なしと再抗議したが、張氏は領事館に於ける共產黨の會合は社會秩序を亂し國際公法に違反すると辯駁した

閉鎖か
勞働組合も 東支沿線に於る

【哈爾賓二十八日發電】一說に依れば哈爾賓領事館同樣奉天領事館も搜査されたと傳へられ、書類の內容如何に依つては赤化宣傳の根據地東支鐵道沿線一帶の勞働組合の閉鎖もなすべき狀態にあり、一方支那要人は緊急會議を開き搜査顛末を張學良氏に打電した

安藤嚴水中將 今夕着連

帝國在鄕軍人弔魂團一行は廿八日午前九時二十五分遼陽を出發し途中鞍山を見學し同日大石橋に一泊の上、明二十九日朝營口を見學大石橋で同日午後七時旅順へ赴き同夜はヤマトホテルに投宿の豫定である尙三十日は戰蹟を視察し夜は軍司令官招待の晩餐會に臨み同夜の最終列車にて大連に來る豫定である 因に團長安藤中將は二十八日午後六時着列車で來連すると

實滿野球 爭霸戰前記
ファンの期待する 滿俱新人の活躍
守備は鮮麗堅實共に兼備 攻擊の中心勢力

あと數日に迫つた實滿野球戰に對する全市野球ファンの興味は、この頃の氣溫が昂騰するやうに一日毎に濃厚となつてゆく、グラウンドに兩軍の

〔練習振り〕を見物に集る人の群がスタンドに多くなつてゆくのも無理はない、練習を見に來る連中の中には全體としての練習振りを見て、晴れの試合の勝敗を豫想する者も多いが、新入選手の一擧一動に仔細の注意を拂つて兩軍實力の比較を試みようとするファンが少くない、即ち新しい選手は滿俱側に最も多く、今年の實滿戰の人氣の大部分を集中しようとしてゐる濱崎投手を初めとして昨年まで

〔傳統的に〕滿俱の缺陷だつた內野を充實して、守備を安泰に導かうとしてゐる、二壘手として現在日本一と謳はれてゐる永澤選手、實業の高橋三壘手同樣ジミな振りではあるが健實無比な吉野三壘手(舊大連商業遊擊手で山口高商出身)それに六大リーグの遊擊を凌駕してゐた國學院大學出の長澤選手、高崎中學出で俊敏な井上外野手、それに滿俱のピッチングスタッフに一段の勢力を增した松山高商出の藤枝、大商出の小松兩投手、好防

〔猛打者と〕して工專時代から鳴らした廣津捕手の七人である、この內レギュラーメンバーとして實滿戰に出場を豫想されるのは永澤、吉野、長澤、濱崎の四選手で井上外野手は左翼の守備を練習してゐるが、打擊が好いので出場の可能性多くピンチヒッターとして兒玉投手と共に後詰の備へには是非なくてならぬ重要な地位に置かれてゐる、藤枝、小松兩投手は場馴れのせぬ點に於いて兒玉、濱崎三投手に萬一の故障以外本年はベンチを溫めるほかはあるまいと見られてゐる、廣津捕手も同樣の意味で片岡正捕手の後陣たるは蓋し當然の趨勢であらう

〔新入選手〕は概して打擊の確實な連中で攻擊の中心となり猛然として實業の堅陣に迫ることであらう、第一回戰に濱崎を立てるか、青山、兒玉の內から投させるか、この點は秘中の秘としてうかがひ知ることを得ないが、前記の新人を加へた第一回戰の滿俱のメムバーを豫想すれば大體左の通りではあるまいか

投 濱崎 捕 片岡 一 疋田 二 永澤 三 吉野 遊 長澤 外野 井上 芥田 木原 二神

寫眞說明 (上)永澤二壘手(中)右は井上外野手、左は吉野三壘手(下)長澤遊擊手

親なればこそ
苦界の娘の落籍を依賴

原籍山口縣佐波郡小野村字中山四九中村忠吉長女俊子(二一)は大正十五年十二月市內惠比壽町西檢番から八千代と名乘前借二千三百圓五ケ年契約で藝妓となつて出てゐるが廿八日福岡縣若松市に居る父より「母サタが病氣だから是で身を洗つて歸らして呉れ」と三井銀行振出朝鮮銀行宛の大枚二千百圓の小切手を同封し大連民政署長宛依賴して來たので直に管轄小崗子署より目下樓主に交涉してゐる

偽造印紙を貼り 上海煙草を密賣
けさ露天市場で發見 小崗子署活動を開始

二十八日朝小崗子露天市場一區一八九雜貨商孫中倫(三三)方店頭で煙草に値支スタンプを押して居るのを偵邏中の刑事が發見取調べた處以外にも數十枚の關東廳の煙草收稅印紙及び印紙の無き密輸煙草多數あり直に小崗子署に引致嚴重取調べた處次の如き事實が發覺した即ち該印紙は偽造で芝罘で製造されて居るらしく、彼等は密輸の上海製煙草ラットに是を貼付し入錢のスタンプを捺して賣出して居たもので、一箱二十五個入につき民政署から卸されるより三十錢の利益あり、他に相當連絡があるらしく小崗子署では刑事を八方に派して各方面に探索を續けてゐる

獎學基金橫領の 松田は懲役一年
けふの公判で求刑さる

遊女に現を拔かし獎學基金財團の公金一萬二千圓を橫領した元滿鐵學務課勤務松田豐日(二九)並に植田タカ兩名に係る橫領私文書偽造行使詐欺事件の公判は二十八日午前十時から大連地方法院にて長島判官係池內檢察官立會の下に開廷された、被告松田は判官の事實訊問に對して素直に犯行の全部を認め判官の慈父の如き懇々たる意見に流石ほろりとしてゐた、相被告のタカは女だてらに强たか者で男が不正手段で金を得てゐると知りながら男を騙まして身受けさせたと悪びれた風なく申立てた、立會檢察官は男に懲役一ケ年、女は贓物罪、併合されて懲役一ケ年罰金五十圓の求刑があつた

菓子屋と豆腐屋に 夏期衞生の注意
けふ夫々大連署から

傳染病流行の時期を目前に控へて大連署衞生係では近く飲食店の一齊臨檢を行ふ筈であるが、これに先だち二十八日午前十時から管內の菓子製造販賣業者百五十餘名を召集し、菓子製造工場及び什器の清潔、蠅の驅除、從事員の健康等につき充分なる注意を與へ、なほ今後製造職人には白衣をまとはせることにした、更に同署では二十九日午前十時から管內豆腐製造業者七十餘名に對しても同樣の注意を發する筈である

胴體を眞二つ
製材中の木挽

市內北大山通四番地秋田商會木挽工董振發(三〇)は二十八日午前九時三十分ごろ同商會工場に於て製材に從事中、過つて製板機に衆込まれ胴體を眞二つに切斷され、悲慘なる即死を遂げた

遣外驅逐艦
けさ旅順歸港

大連入港中の第二遣外艦隊驅逐艦「楓」「椿」の二艦は二十八日午後一時出港の豫定を繰上げ同午前九時出港旅順に歸港したが、既報の如く海事思想普及の爲め一般市民約三百名を便乘せしめた

湖月園生花會

佐藤湖月園社中の生花大會は六月一、二の兩日市內大山通花園席で開催するが、當日は青山御流生花及び湖月流投入、盛花、盛物等五十餘瓶の出陳あり、又別席で抹茶の饗應をなし一般の觀覽を希望すると

◇…昭和の軍事美談が滿洲駐劄福知山聯隊內にあつた事は本紙既報の如くであるが今回マキノキネマ撮影所で之を映畫化し近く公開することになつたと留守隊から遼陽の本隊に情報があつた【遼陽發】

◇…二十六日午前八時ごろ鐵嶺驛三等待合室で新聞配達夫張廣河(二)が備へ付の消火器を轉倒し流出する水を止めやうと無鐵砲にも逆にした爲め强硫酸と重曹が猛烈に噴出し初めたので面喰つて投出すと消火器は八尺ばかり飛上つて行程十四米突弱の大飛行といふ前代未聞の離れ技を演じたが居合せた楊巡警は氣の毒に負傷した【鐵嶺發】

全く驚歎に價する獨逸の製鐵鋼業

徹底したその「產業の合理化」

滿鐵顧問　伍堂卓雄述

製鋼工場設置に關する社務を帶びて渡歐、最近獨逸から歸滿した伍堂滿鐵顧問の視察記である。戰後更生した新獨逸における產業合理化の模樣、その他興味𣴎々たる內容は左の如く、今夕刊以降の經濟面に連載す

伍堂卓雄氏

一

今回自分が渡歐したのは、主として滿鐵の製鋼工場設置に關する機械購入、其他の用件を帶びて行つたのであつて、素より視察はその目的ではなかつた。

隨つて自分の希望は、獨逸を初め英米各地の產業狀態、或ひは一般的の經濟狀態を詳細に視察もし且つ調査もして來たかつたのであるが、何分餘裕がなくその意を得なかつた。故に茲には獨逸一殊に製鋼業に就て其の概況を述べ且つ

以來、同國の通貨は一大緊縮を來し、從つて獨逸經濟界は著しく不況を呈し、一九二五年頃に至り極度の不振狀態を示した。

されば之れが、打開策につき、各方面で種々攻究された結果起つたのが所謂「產業の合理化運動」で、この「產業の合理化」と云ふ事は、日本でも近頃流行となり、其の各方面で稱へられて居るが、其の手段として一般に稱へられてゐるのは

一、產業の系統的整理
二、生產品の單純化　標準化
三、產業の組織、設備を科學的根據に依つて經營し、原料、勞力等の冗費を省く事

等である。

沿線四ケ所の小賣市場を改善

滿鐵商工課にて具體案攻究　上海小賣市場を參考に

滿鐵商工課では長春、奉天、撫順（日支合辦）等の小賣市場の經營管理が何れも株式組織の營利會社に委ねられてゐる爲め、從來低資の保證、產業助成金の交附、其他の便宜を與へつゝあるも尚未だ地方公共的施設としての機能を充分發揮し……

二、從來の補助、助成を市場設備の方面に振向けしめ、特に衛生上の見地から野菜の消毒、市場內外の清潔、汚物廢棄場の完備魚類取扱場所をコンクリートとする等主として上海工部局の市場に則り會社としては完全なる市場設備を提供するに留め、其他は自然の發達に任せること

瀋海鐵路購入車

米國より百輛到着　直に十輛づゝ輸送

瀋海鐵路局では曩に貨車購入の爲め世界各國の汽車製造會社に對し入札に附し、其結果米國の會社が落札し既に無蓋貨車六十輛、有蓋貨車四十輛計百輛が大連埠頭に到着したので同鐵路局の聯絡係主任修德海氏は來連輸送に關し滿鐵側と打合せの上、二十九日から十輛づゝ十日間で發送することゝなつた、右貨車の價格は有蓋千四百弗無蓋千二百弗で非常な廉價である從つて內地邊の車輛會社に取つては之と對抗することは餘程困難の由である、尚同鐵路局では機關車をも入札に附する筈であつたが交通委員會の承認を得るに至らず遂に取止めとなつた

て廿五日長春滿城內を見物して廿六日吉林往復廿七日朝哈爾賓に向つたが荘田氏は語る

「今度の旅行は別に定まつた目的もなく唯見物すると言ふ程度です、吉會線の實現する曉には長春は最も重要な地點になるでせう、殊に吉會線沿線一般は無限の富が藏してゐると言はれてゐますから、日本人が益々同方面に發展し、投資するは有望と思はれますが、兎角日本人は大事をとり過ぎるから鐵道の豫定地方に進んで手を出す日があるかどうか疑はしい、然し鐵道が開通してから後では最早遲いと思ひます云々」

錢信重役會

二十八日開催

大連錢鈔信託會社では二十八日午後六時から市內若狹町玉久良において懇親を兼ねた重役會を開き當期決算並に其他の事項に關し協議を行ふはず

數字に現れた滿洲の財界

大連商議書記長　篠崎嘉郎

八、物價

滿洲各市場夫々の資料を求むることは困難なるを以て大連に於ける物價を綜ねて以て滿洲物價の梗概を忖度する、大連の物價は一方に土地の生產によるものと、他方に日本內地よりの輸入品に俟つものとある關係上或は安値を喚び或は割高を唱へ他地と甚だ異つた

「境地」

を現出して居るのである

即ち味噌、醬油、清酒、鰹節、呉服、疊表の如き日本人特有の需要品と高粱、玉蜀黍、高粱酒醬油、土布の如き支那人特殊の需要品と麥粉、砂糖、鹽、魚類肉類、鷄卵、野菜

の如き日支人共通のものある中、日本人特有の需要品は全く物價の根幹が內地物價の上に置かれ結局內地物價に運賃諸掛の加はつたものが大連の物價となつて現れ、一方魚類、肉類、鷄卵、野菜等の如き此の土地の產物は比較的安値にあり此等の對比は聊か跛行的なるを免れない

大正二年歐戰前當時より通じ得る三十一種六十一目の卸物價の單純算術平均指數を用ゐ指數の基礎を戰前たる大正二年を一〇〇として前後を通じ十六箇年の比較を取つて見ると大正三年は九四、四年は九六に下落し五年より漸騰の步調を辿り八年には二四三、九年に至つては二六五の激騰を見たが十年より漸落して昭和二年には一八五即ち大正九年以來の低率である而して昭和三年に入り一九一に騰貴した

「大體」

大正四年より大正七年を好況時期とし大正八年より九年を反動時期とし更に大正十年より十二年を混亂時期とし、大正十三年以後を漸落時期とすることを得る

即ち大正二年を一〇〇とする世界重要都市に於ける物價を大連の夫れに對比すれば大正四年迄は保合の狀態であつたが、五年より漸騰し八年には日本二三六に對し、英國二四二、米國二〇三、大連二四三に騰貴した、而して米國のみは九年の一九九より漸落の步調を辿りしに拘はず日本は二五九、英國二九五、大連二六五に奔騰し十一年以降は大勢漸落の氣勢を呈して昭和三年には日本一七一に對し英國一四一、米國一四四、大連一九一となつた、この

「指數」

は大連は三十一種、日本は日本銀行調査東京市內卸賣物價主要商品五十六種、英國はエコノミスト誌調査主要商品四十四種、米國はアラッドストリート誌發表商品九十六種に付一封度の相場を調査したものに倚つた

要するに日本は依然たる高値の保合狀態を續け稍世界的大勢に推されて幾分の低落氣配を見せつゝあるも尚戰後に於ける英國の努力特に昭和二年に於ける著しき低落に對比すれば甚だ忸怩たるの感が多い又支那に於ける重要都市たる上海、天津、哈爾賓、大連との物價を比較することは興味あることゝして屢試みたれど色々の關係から困難であるが、大體大連の物價は上海より三割方、天津、哈爾賓よりも高いと云ふこと丈は明かである。

滿東聯絡の換算率

六月中實施

六月一日より實施する滿鐵東支兩鐵間貨物連絡運輸に適用する換算率は左の通りである

一、滿鐵發貨物に對する
イ、東鐵收得額を滿鐵に於て收入する場合
換算率金百留＝百十五圓
ロ、滿鐵收得額を東鐵に於て收入する場合
換算率金百圓＝八十六留九十六哥
二、東鐵發貨物に對する
イ、東鐵收得額を滿鐵に於て收入する場合
換算率金百圓＝八十六留九十六哥

右は前月に比し二十錢高である

團體めぐり（六）

高いか廉いか　釘づけの組合炭價

…石炭商組合の卷（下）

◇所で、組合の販賣價格は滿鐵指定の最高販賣價格以內で協定して居るが、その會社から組合への卸賣値段は、大正十二年四月以來、七ケ年の永い間釘付狀態で

あるから組合の販賣價格もそれに伴つて、當然釘付となつて居る。隨つて、その商賣は「變化の甘味がないが」その代りに仕事に危なげのない安全さ、確實さはある譯である。

◇近年滿鐵では、從來印度炭の獨占市場であつた南支一帶へ飛躍的進出を試みつゝあり、販路開拓上販賣價格においても相當廉く賣つて居る模樣だが、一方北滿においても從來東支の穆稜炭、支那側鶴立崗炭等の地盤に喰ひ入るため、移民の增加に刺戟されて、一般ハウスコール並に燒鍋、電氣工業等の需要激增の趨勢に對し、同樣の販路開拓方針をとつてゐる模樣である。

◇而も、お膝下の大連では前記の如く、永い間炭價釘づけとなつて居るのに對し世間では「厘」丈のやうな非難を加へて居る者がある、序だから茲にそれを紹介して偃かう。

石炭の噸當り生產費は今日著しく低下してゐる、それにも拘らず滿鐵が永い間市價を釘付のまゝとし、之を放置して留くのは怪しからぬ次第、市場を獨占してゐる滿鐵が、生產費を無視した石炭價を維持してゐるのは、何んとしても不合理である、不都合であるとね。之はよくチョイ〳〵聞く非難の聲だ。

◇だが、物事は一方の言分ばかり聞くのは片手落だ。次に滿鐵側の言分を紹介して、此項を終らう。

元來露天掘りは深く掘り下げるに比例して採炭、運炭その他諸設備等に要する費用が膨脹して來る、また天災事變等に對する損失償却なども考慮しなければならぬ、なほ今日の思想動搖時代において、從業員の手當、待遇等を考慮しなければならぬことは云ふまでもない。

◇故に出炭量の增加により、て、辛うじて單價引上げをカバーして居る現狀では、市價の引下げを望む方が無理である。滿鐵が他の方面において、產業の發達助成や商工關係の補助、その他の各種の方法に依り間接に在滿邦人の爲め圖つて居ることを考慮すれば、炭價の點のみおいて非難する事はない筈であらう云々

と、この言分には無論言足らぬ所があるに相違ない、隨つてこの言分のみで、非難者側を首肯せしめ得るか何うかも疑問であるが、茲ではまア此の程度に止めて置く。

界…ゐた。

所が獨逸は、例のレンテンバンク（公私一切の資產をサラケ出して創設した）からレンテン馬克を發行して、通貨の大整理を行つて

一、販賣價格の統制に關しては自由競爭に委ね、仕入系統の整備等を援助し仲買商人の實力を充實せしめてその素質の優良堅實化に伴れ、日用食糧品の供給を豐富低廉ならしめること

聯合會

間商議の樓上で定時總會開催

…合總會を開き左記事項について審議する筈なりと

議案

一、昭和三年度事業報告及決算に關する承認の件
二、昭和四年度收支豫算承認の件
三、定款變更に關する各組合提案審議の件
四、貸付規程改正に關する件
…同各組合提案審議の件
…火災保險代理店引受の件
…現金廉賣デー勵行の件
…會報改題の件
九、店員訓練並福利增進に關する件
十、各組合提案審議の件

黄塵

◇…在京中の松岡副社長「山本社長の頭腦はフォードの上に在り、まさに世界一」と折紙をつける。

◇…恐ろしく賞めたものだが、𢌞く事業的頭腦において「日本一」或は「東洋一」は間違ひあるまい、と黄塵子も折紙をつけて見る。

◇…少し賞め過ぎますかナ。

◇…輪組聯合會に關する各地輪組の提案、何れも揃つて對內的の小改善ばかり。

◇…當事者の頭腦の程度が窺はれる、モツと積極的な好案を出しては何うだね。

◇…輪組の本質が邦人の共喰的機關に過ぎないならばイツソ潰して終へ！

市況

特產　一般に平調　新材料に乏し

今朝の定期は依然何等特色なく概して無味平調を辿り、手仕舞もの、仕手關係は強調を示したが結局強弱れ三等大豆は不申豆粕又は焦付商狀を示し高粱はたず保合を辿つた

◇定期前場（弱々）

▲大豆（強弱區々）

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　七十四車

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（保合）

出來高　八萬二千枚

▲豆油（保合）

出來高　二千箱

▲高粱（保合）

出來高　二千箱

▲包米（出來不申）

出來高　六十九車

◇現物前場（銀建）

混保（袋込）六五六〇
大豆（裸物）
三等（袋物）六四七〇
大豆（裸物）

出來高　四十五車

品目	出來高
豆粕	二一七〇　五車
豆油	四萬枚
高粱	一六二五　三千箱
包米	三四〇〇　十車
	三八〇〇　五車

雜穀出來値（廿八日）

▲包米（遼陽）三、九〇　八二（鄭家屯）三、七八　城子）七、八〇（通遼）

定期喰合高（廿七日）

品目	前日對比
大豆	二七九四車 ×
高粱	二一七九車 ×
豆粕	一四七四千枚 ×
豆油	一八五五百函 ×

錢鈔

前場（弱合）今朝の銀塊は倫敦銀塊は…分の七と（八分の一安）紐育銀塊は五十三仙八分の五と（四分の一…）…七五滙申は七十一兩八…九十九圓四十錢日米は…と（八分の一安）滙相は…分の三と（十六分の一安）…十四弗二分の一と（同事）…スは八十五仙下度と（…）…一高）米支は五十九弗…（同事）上海標金は三百…と寄付き六十九兩八と…の銀價は弱合を呈して

◇定期取引（單位…）

期	寄付	高値	安値
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高

◇現物取引（單位…）

	銀對金	銀對洋
九時	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金）四萬　（銀對洋）一萬

商品

前場

麻袋（保合）

株式

寄安引高で五品保合

株

豆

銀

奧地市況（廿八日前場）

特產

錢鈔

市場	限月	寄付	大引
哈爾賓・開原・公主嶺	六月限・七月限・八月限	[illegible]	[illegible]

▲高粱

▲小麥

天（奉票）現物　先限
開原（奉票）現物　先限
同（鈔票）現物　先限
安東　鎮平銀　近期　遠期
哈爾賓（大洋）現物

手形交換高（廿八日）

	枚數	金額
金	一〇二六枚	五、七三六、一四〇圓
銀	三四四枚	四、一五九、九〇三圓

上海爲替情報

【上海二十八日發電】材料高に高寄り日本銀行筋、殊に三井圓約四十萬賣り、滙豐銀行、白耳義銀行磅好く買ひ、標金は福昌大連筋、大德成、恒興寺買ひ、高値、マバラの利喰ひ賣物弗々あり三菱住友圓八月もの、七十五十六分の三を賣り、伸び惱む引際信字約三千本買ひに急騰した

上海標金

寄付	三六八兩九
高値	三七〇兩一
安値	三六八兩八
大引	三七〇兩

爲替相場（廿八日正午）

◇正金（銀勘定）
日本向參着賣（銀買）
同十五日賣（同）
上海向參着賣（銀買）
倫敦向電信賣（銀二志九片〇分〇）
同二ケ月賣（同二志九片二分一）

◇正金（金勘定）
倫敦向電信賣（圓）一志九片六分一三
信用付二月賣（同）一志〇片一六分七
米國向電信賣（百圓）四弗八分三
同九十日拂賣（同）

◇鮮銀（金勘定）
倫敦向電信賣（圓）一志九片十六分十五
同二ケ月賣（同）一志〇片八分三
紐育向電信賣（金買）
上海向電信賣（金買）
同　　　　　（銀買）
日本向電信賣（銀買）
同十五日買拂（同）

大阪株式

東京株式

大阪期米

	前場寄	前場引

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戶豆粕

橫濱生糸

印度麻袋

市場電報（廿八日）

銀塊及爲替

棉花

平安異香（2）

葉多默太郎作　中一彌畫

非常線（二）

大事なところで呼ばれた彌陀六

「あゝいけねエ、おつうちやん、引込んだ引込んだ」

窓から出かゝつた女の頭を押込んでおいて、ばた〳〵と駈けて行く。と、雜木林を拔た所でばつたり出會つたのは、この邸で相撲と稱んでゐる年增の愛嬌のない女中

「何をしてゐるのだね、六さん。こんな日にはちやんと御殿の近くでゐてくれないと困るぢやないの何時、どんな用事が出來るか分らないのに」

「へエ」

「このお人を送つて上げておくれ栖倉樣のお邸へ、これから行くの

さあ、どうぞ此方へ」

彌陀六は何を考へたものか、女を導いて雜木林の中の小徑を往く

「あのう、こちらでございますか」

「へエ、裏門は直其處ん所で」

そして出て來たのは例の納屋の前だつた。

「お女中はこれから栖倉樣へおいでになるので」

「えゝ、少しも早く參りたいのでございますが……アラ……」

「こ、聲を出しちやいけねエ」

突然女の頸を抱きこんだ彌陀六が、片手で女の口を抑へて了つた

「な、なあにお前吃驚することたあねエ、命を貰ふのなんのと、そんな大それたことをするこの彌陀六

の着物と着替へな」

「まあ、そんなつもりだつたの、偉いわねエ六さん」

おつねが女傀儡子の衣裳を着る間に彌陀六がおつねの着物を女傀儡子に着せて了つた。

「お女中、重ね重ねの無理なお賴みで申譯ねエが、晩の辨當の時刻迄身代になつてゐておくんなよ」

ぐつたりとなつてゐる女を、窓から納屋へ投りこんで、五人力の力で曲がつた鐵格子を直すと、彌陀六はおつねの手をとつて裏門へ走つた。

おつねが水干をすつぽりと頭から被いだので、門番は遊女だと思つて默つて通す。が、門を出ると

「さあ、どうぞお召なすつて」

な」

彌陀六に擲ふおつねの心持が呑みこめたのはそれからもう小一丁も行つた時分だつた。見ると、栖倉右京太夫樣の御邸が、斜になつた日差に甍を光らせて、つい其處に立つてゐる。

「こいつはいけねエ、あすこへ擔ぎこまれた日にや、何も彼も毀れてしまふ」

「直歸つておくれよ。まだ〳〵忙しいのだから」

云ひ捨てて、そゝくさと御殿へ返つて行く相撲。後にのこつたは先刻御殿で東踊りを踊つてゐた傀儡子の女だ。小袖に水干のまゝの姿で立つてゐる。

「こいつは困つた」

呟いて彌陀六がチラと女の顔を見ると、すつきりと水際立つて美しいには美しいが、胸の病でもあるのか、いやに色が靑くつて、つゝましく伏目になつてゐる。

「御面倒なことを御願ひ申しまして」

「へエ、いや、どういたしまして

云ひながら彌陀六、醤油で煮しめたやうな手拭を女の口の中へ詰めこみ、水干を剝ぎ、帶に手をかけてくる〳〵と解き、小袖を脫かすと女は裸體だ。

「南無阿彌陀佛、寒からうな。だが一寸の間だ、我慢しなよ」

裸體の女を、逃げ出さぬやうに樹に縛つておいて。

「おつうちやん、さあ出て來なさあ」

「あいよ」

窓の下につくばつた彌陀六の背を踏臺にして、おつねが漸う窓から下りると、

「おつうちやん、さあよ、早くこ

[illegible]けといふのだから、輿の用意くらゐはさせてあるのが當然だが、それへ彌陀六は氣が付かなかつた。

ぐつと唾を呑んで目を白黑してゐると、當のおつねはいきなりぽんと草履を脫いで、

「御苦勞ですね」

すうと輿の中へ入つて、座つてしまつた。

「あいよ」と輿は揚がる。

「なあるほど、おつうちやんはあれでなか〳〵確かり者だ。裏門あたりで愚圖々々云つて輿丁に疑はれでもしやうものならそれつきりだてんで、默つて乘つたもんだ

スペインの花

ロナルド・コールマンとヴィルマ、バンキーの最後の共演映畫といふのが興味をそゝる

◆オルチー夫人の原作「レザーフエース」をミラー女史が脚色してフレッド、ニブロが監督した十卷もので、結局はハピーエンドとなる悲戀舞曲でフランダースがスペイン支配下にあつた頃の戀物語でコールマンのリイクとバンキーのレノラ姬が例によつて定石通りに支配人の暴政に虐げられて最後に愛の殿堂を築くといふのがこの映畫の梗概である

ところで見てゐる方ではコールマンとバンキーだといふので最初から終局を想像してゐるだけにブロ監督の手法が少々ファンにアツピールするのに熱が不足してゐる、第一卷で頻りにオーヴアーラツプで疊みかけた手法は次第に手堅い一方な可もなく不可もないといふ調子に進んでゐるが、流石にフオローシー其他にニブロの冴えが閃めいてゐる【演藝館上映】

昨日の船で警視廳の檢閱係長橘高廣氏が來連、ファンには花高四郎といつた方が通りが良い▲日程のなかに、市內映畫館視察が含まれてあるが、その感想が妙に興味をそゝる▲それから社告の如く講演會を開くが演題は氏の著書「映畫の見方」と「敎育映畫に就いて」によつたものである▲會場は約二百名位しか收容出來ぬから成るべく早く來場されたい▲日活の「東京行進曲」は天然色を挿入した爲め燒き增が間に合はず浪速館の內地同時封切は延期されるらしい▲其代りに河部五郎の「赤垣源藏」を上映する▲情報課の映畫班は都合で娘々祭行きを中止した▲今週の演藝館は高級ファンには「スペインの花」だらうが▲却て帝キネの「波浮の港」とマキノの「續水戶黃門」が大衆受けがして人氣を呼ぶものと見られてゐる

發聲映畫雜話（三）

矢野クニジ

トーキーとは是等發聲映畫の總稱であることは云ふまでもないが、これを興行、製作と云ふ二方面から考慮して、全く寫幕の無いものをオール、トーキー又は百パーセント、トーキーと云ひ、部分々々をトーキー化したものをパート、トーキーと云ふことは既に讀者御承知の通りである。

次にトーキーの內容に立到る順序になるが、2、3はフイルムに寫眞と音響とを同時に記錄する所謂フイルム、メソツドで殆と全く其の原理を1に等しくするものであるから、フオノ、フヰルムによつて代表せしめて以下記述することにする

このヴアイタ、フオン方式は未だ筆者が其の內容に接しない爲め、たゞ特殊の自働的に板を取り替へることの出來る蓄音機板を映畫と巧にシンクロナイズせしめ（同期電動機等を用ひて）そのレコード音をラヂオの眞空球を應用した擴大裝置に導き、任意の音量となし、これによつてスクリーンの裏面に置かれた擴聲器を動作せしめて最初の音聲を再製せしめる（これをレコード式と云つてゐる）と云ふ程度より以上に識り得ないのは甚だ恥しい次第である。

だがトーキーで最も重要であり且又最も苦心を要した興味ある映畫と音響とのシンクロナスモーシヨンは、フオノ、フヰルム一般にフヰルム式に見るべきで、如何に是等の諸點が巧妙に取扱はれてゐるかは實に驚異である。ラヂオの心臟とも見做すべき眞空球の發明者にしてはじめてこのフオノ、フヰルムの發明があつたと合點せしめるのである。

ド、フオレー博士が一口に云へば音響のエネルギーを電流のエネルギーに轉換し、更にこれを光りのエネルギーに置換して而もそれを特殊なものを用ひず現用キネマ、フヰルムに寫眞と並行して音を燒きつけた（一寸變に聞えるが）と云ふことは、今日トーキーをトーキーたらしめた所以で、當時のエディソン式に比較して大なる進步であると云はねばならない。

この音響のエネルギーを電流のエネルギーに轉換すること（或はこの逆）は日常のラヂオによつて我々はこれを容易に行つてゐるが、最後に光りのエネルギーに換へてタイム、ラツグ（時間の遲れ）無く、瞬間々々の音響の變化を寫眞とシンクロナイズせしめつゝフヰルムに記錄し、映寫に當り再び音響を寫眞とシンクロナイズせしめて再發せしめると云ふことは、可成り六ケ敷い問題で、この兩者のシンクロニズムと云ふことは、ラヂオ界の發達進步に依つて初めて完成せるものと云つて決して過言では無いのである。

滿洲日報

新日本少年文學全集

豫約募集

〆切迫る

内容見本進呈

申込〆切 五月卅日

東京市麹町區内幸町一丁目六番地
國民圖書株式會社
電話銀座七八三・二八八・三六八六 振替口座東京五二二九八番

第一回配本開始（全國著名書店にあり）
長篇童話集

豐かな滑稽味の中に教訓を含み、面白みの中に眞理を考へさせ、愛を教へ平和を教へ、人間のたましひの尊さを教へる點に於て、沖野先生のお話は誠に傑れたものであります。その傑作中の傑作が此の集です。

▲世界に誇るべき本全集の内容

1. 建國物語集　盧谷蘆村
2. 長篇童話集　沖野岩三郎
3. 實演童話集　久留嶋武彦
4. 科學童話集　廣田花崖
5. 宗教童話集　野邊地天馬・岩村やす子・栗津勸・小野田露村・村岡花子・中根眞雄・内山憲堂・樫葉勇
6. 童謠傑作集　北原白秋・三木露風・川路柳虹・河井醉茗・濱田廣介・白鳥省吾・水谷まさる・大木篤夫・百田宗治・西條八十・野口雨情・井上康文・葛原齒・藤森秀夫・福田正夫・相馬御風・サトウハチロウ・他數十名
7. 冒險小說集　安倍季雄
8. 世界神話集　松村武雄
9. 幼年童話集　岸邊福雄
10. 文藝童話集　小川未明・久保田万太郎・小嶋政二郎・水木京太・鹿嶋鳴秋・澁澤青花・千葉省三・濱田廣介・北村壽夫
11.
12.
13. 動物童話集　上澤謙二・樫葉勇・安倍季雄・野邊地天馬
14. 女流童話集　與謝野晶子・茅野雅子・徳永壽美子・横山美智子・小寺菊子・宇野千代・村山籌子・北川千代子
15. 歴史小說集　江見水蔭・笹川臨風・仲木貞一
16. 名作物語集　坪内逍遙・生田葵・小寺融吉・岡田八千代・長尾豐・多田不二
17. 兒童劇集
18. 傳說童話集　藤澤衛彦・佐田至弘・中田千畝・西岡英夫

略規
▲申込金貳圓（最終會費充當）▲毎月拂込金貳圓▲外に送本料を要す▲六月より毎月一回配本

體裁
▲四六判天金▲裝布製極美本▲十二ポイント組總振假名付▲毎卷彩色石版挿畫數葉▲紙數毎卷三百五十頁

九條武子夫人書簡集

佐佐木信綱博士編

壹圓五拾錢　送料八錢

好評忽十五版

九條夫人を追慕する人々に久しく待たれた書簡集が美裝して世に出た。書簡は、初めから公表されることを豫期されない全然の親展書であるから、餘所行きの心持が少しも交つてゐない。それこそ心に思つたことが、包まず、飾らず、其のまゝに記してある。從つて、本書は夫人の心に秘められた、信念、社會觀、人生觀、結婚觀を窺ふに頗る便利であつて、本當の夫人を知るには、「無憂華」「薰染」に併せて、本書を讀まなければならない。また婦人の書簡文範としても推奬したい。

――内容――
◇三河島千軒長屋（小川鐐衵夫人の許に）
◇糸毛の車（横山大觀畫伯の許に）
◇女と生れし喜（下村宏博士の許に）
◇九月一日の事共（小西夫人の許に）
◇深川の託兒所（渡邊子爵夫人の許に）
◇封筒日（藤瀨夫人の許に）
◇尼港紀念碑（堀内信水將軍に）
◇アトリヱ開き（津輕伯爵世堂の許に）
◇濟女のうらみ（高島米峰氏の許に）
◇人生の旅（佐佐木博士の許に）
◇春雨の靜かな日（バーネット夫人に）
其他合計百七十六篇　本文三百貳拾頁　秘藏寫眞八頁

九條夫人二大名著
隨筆 無憂華（むいうげ）　貳百廿版　定價貳圓　送料拾錢
歌集 薰染（くんぜん）　好評重版　定價八十錢　送料八錢

九條夫人歌碑建立

九條夫人の高徳を永久に讃へる爲め本社は御後援を得て夫人の歌碑を建立致します。一口五十錢以上右御寄附の方々には夫人の「薰染」の型付つき額面を差上げ、且つ御寄附者名は…（以下不鮮明）

發行所　東京市京橋區南紺屋町　振替東京三二六番　實業之日本社

一世の風雲兒 後藤新平

岡本瓊二著　四六判四百頁　價一圓廿錢　送料十錢　東京市麹町區四番町　振替東京五七〇七三　第一出版協會

立てば必ず風を起し雲を呼ぶ。萬人瞠視の裡に何者も企圖し得ぬ天下國家の大策を遂行して、世人を驚嘆せしめし一世の怪傑伯後藤今やなし、而も其の生涯は實に波瀾萬丈小說よりも奇しく又面白し。本書は志を立つる者には處世訓となり、國民大衆には風雲兒後藤伯を偲ぶの書。大方の愛讀を俟つ。……好評最新刊

モンドロスミシンとビクター蓄音器は
文化的生活に必要なる二重奏

ミシン界の革命兒「モンドロス」は貴家のお裁縫を擔任し時間の經減と被服の經濟化を謀り「ビクター蓄音器」は古今の名曲を吹奏して終日のお勞れを慰め亦一家團欒の急先鋒となります。弊店は此の二重奏の最も善き品を最も御便利に提供する事に努力して居ります是非弊店を御利用願上ます

ミシンと蓄音器の御用は
大連市常盤橋電車交叉點角
河島ミシン店
電話六六八四番

世界第一、良品廉價
振つても落しても止らぬ時計
ハフィス振動不感時計

特徴
振動不感　指示正確　機械堅牢　日付印極厚側

滿洲關東
安東旅順營口長春奉天大連…

滿洲特約店
大連　近江洋行　大連販賣所
營口 …　奉天 …　森田時計店　前田時計店　天土時計店

正隆銀行
頭取　安田善四郎

大連市三河町二番地
日下齒科醫院
電話三三六七

あなたのお齒のシミこそは雪野に下りた黑い鳥！ずいぶん目立ちますことよ

タバコのみの
齒磨スモカ

化粧品煙草店にあり

284

ヴィタミンBの世界的始祖
脚氣新藥
オリザニン

脚氣に對するオリザニンの效果は既に決定的事實なり

(1) 重病經過中に來る榮養障碍及其浮腫の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特に煉乳、穀粉榮養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の榮養を助け、惡阻を輕減若くは防止し便秘を去るに極めて適切なるを知らる

類似品多數ありオリザニンと指定を要す………（實驗報告集進呈）
粉末、錠劑、液劑、越幾斯劑、注射劑の各種あり

東京室町　三共株式會社
株式會社三共藥品販賣所　大連市山縣通一八一

最新刊

支那陶磁の時代的研究　上田恭輔著　實價三圓六十七錢送料十二錢
黑い騎士　三重吉著　實價三圓六十七錢送料二十錢
級數總和數　林鶴一外一名著　實價五圓四錢送料二十錢
作詩法入門　西澤道寛著　實價二圓十錢送料十二錢
物權法概論　岩田新著　實價一圓八十九錢送料十二錢
競艷女變相圖　春美納頭著　實價一圓五錢送料十二錢
法學通論　高橋貞三著　實價二圓八十三錢送料十六錢
明治風俗史　藤澤衛彦著　實價二圓九十四錢送料十四錢
落款と箱書の栞　荒木矩著　實價三圓十五錢送料十二錢
新川柳大觀　川上三太郎著　實價一圓五十七錢送料十二錢
燒立ての馬鈴薯と其他　鈴木謙一郎著　實價一圓三十六錢送料八錢
月殺俱樂部講義　スティーヴンソン著　實價一圓八十九錢送料十錢
歴史哲學序論　小出武千代著　實價一圓二十六錢送料六錢
漬物のつけ方　奥村秀子著　實價一圓五錢送料十錢
飲米を見よ　高石眞五郎著　實價一圓二十六錢送料八錢
日本倫理概說　伊東千信三著　實價一圓五十七錢送料十錢
グラッドストン　永井柳太郎著　實價一圓五十七錢送料十錢

最新刊

デンマルク童話集　大山 一郎著　實價一圓五十七錢送料十二錢
人心收攬術　高橋悠久著　實價一圓六十八錢送料八錢
商店建築設計圖案　佐藤之吉著　實價二圓四十一錢送料十二錢
少年世界地理文庫　西龜正夫著　實價一圓五十七錢送料八錢
世界性慾學辭典　佐藤紅霞著　實價二圓九十四錢送料十二錢
義經物語　吉川助治著　實價一圓五錢送料八錢
昭和四年全國高等專門學校入學英語問題解釋とその傾向の指摘　中等英語研究所著　實價六十三錢送料四錢
昭和四年語問題解釋　長沼直兄著　實價九十四錢送料六錢
レーニン彼の生涯と事業　稻村順三著　實價一圓廿六錢送料六錢
フランス西洋史第一卷　レオ・ディルル著　吉野源三郎著　實價二圓九十四錢送料十二錢
カナンプカウンドシナ　玉置光三著　實價七十三錢送料六錢
魔の湖物語　金の星社著　實價五十二錢送料六錢
お菊さん　野上豐一郎著　實價四十二錢送料四錢
アーサー王物語　ヨネ・ノグチ社著　實價九十四錢送料六錢
少年日本外史南北の卷　金の星社著　實價二圓十錢送料十二錢
自由詩講座　福田正夫著　實價一圓五錢送料六錢

□婚姻の社會的考察……穗積重遠
□東三省の教權回收問題……原　聰
□不健全なる享樂生活……和田富子
□社會政策的教育の急……今泉臨朗
□日支親善の社會觀……山田武吉
□學校の卒業生と就職……海老川良一
□デパートと小賣商人……狩野泰一
□勞働保護會の事業成績……當野一
□創作＝源實朝の死……島田一夫

發行所　大連市松山臺ノ五（電話五四二六番）　滿洲社會事業研究會

煖房
衛生工事請負　水道

大連市榮町二二
中嶋平治事務所
電三〇八〇番
支店　長春、撫順

皆様にキット御氣に召す
御寫眞……
吉野町の内田へ……

大連市吉野町三丁目
内田寫眞館
電話四五一七番

支那官憲哈爾賓の勞農總領事館を捜索

館員全部を檢束して取調ぶ

馮援助の策動暴露か

【哈爾賓特電二十七日發至急報】當地勞農總領事館に於て廿七日午後二時當地總領事メリニコフ、駐奉總領事クズネツオフ、東支鐵道副理事長チルキン氏以下七十名が秘密會議を開催中奉天張學良氏の電命に依り突然支那官憲のため家宅捜索を受けたが、同館員が狼狽の餘り書類を燒却せんとしたので消防隊を招集するなど大騷ぎを演じ、目下なほ全館員を檢束して書類を檢閲中である、その原因は現在滯哈中の前奉天總領事クズネツオフ氏が當地總領事館と聯絡して勞農政府の馮玉祥援助に關し種々策動した爲めであると傳へられて居る

馮派と聯絡して四省の擾亂を計畫

證跡瞭かとならば奉天でも捜索

支那側當局者語る

【奉天特電二十八日發】支那側の哈爾賓露西亞領事館に對する思ひ切つた彈壓は當地外交團に非常なショックを與へ、奉天の露西亞領事館に對し一樣に注意を注ぐに至つた、記者は哈爾賓からの情報に接するや直に商埠地の勞農領事館を訪ね眞相を探らんとせるも、館員全部不在を名として面會せぬので、支那當局について訊くに

露西亞側は先般來馮釐の赤化宣傳本部を哈爾賓に移して、赤化宣傳に努めつゝあるのと、馮玉祥と聯絡して東北四省擾亂の陰謀を企てつゝあつたことは證跡瞭かである、此の爲め張學良氏は建設廳長彭士雲氏を宣傳部長、楊大實氏を副部長に任命して、之が取締と對抗策を講じつゝある、今の處奉天の露西亞總領事館をどうするといふ處までは行かぬが若し證跡瞭かとなれば斷乎たる處置を執るは勿論である

と語つてゐた

露國側強硬に抗議

ハルビン總領事館の捜査は南京政府の命令

【ハルビン秋山特派員二十七日發電】今回支那側が突然勞農ロシア總領事館の捜査を行つたのは張學良氏が南京政府よりの命令に基き之を電命したものであつて折柄ロシア側は各地の領事會合せるときであつたので有無を言はせず會合者全部を逮捕したものである、ロシア側は此の不意討ちに多少狼狽したが肝腎の秘密書類は全部燒棄した後であつたから支那側の睨んだ事件に對して何等物的證據を握られないので、ロシア側は強硬な態度を執り苟くも居住權を有し殊に領事館に在つたものを單に多數會合せりとの理由により斯くの如き行爲に出づることは甚しき暴擧であるとて抗議を提出する模樣であるが結局水掛論に了るであらう

奉軍愈よ關内へ

平津地方の引繼は六月五日頃か

【奉天特電二十七日發】張學良氏は昨廿六日再び蔣介石氏より察哈爾及び平津地方の讓渡、平奉線の全收入を軍費に流用を條件として至急關内出兵方要求の電報に接したので取敢ず關内前衞軍を八個師に増員に決したる外、熱河駐在の鄭澤生の騎兵第三十一軍に對し遷安に進出すべき命令を發した因に奉天軍が平津地方を徐永昌軍から引繼ぐのは大體六月五日頃と傳へられる

五路軍幹部の討馮通電

【北平廿七日發電】唐生智、何成濬、李品仙、魏益三氏その他五路軍全部連名で本日附馮玉祥氏に通電を發し馮氏の十六罪狀を擧げて十日以内に反逆者を殲滅すべしと稱してゐる

韓石氏等中央擁護通電

【北平廿七日發電】韓復榘石友三氏以下八名の馮玉祥軍師長旅長は連名で中央擁護の和平通電を全國に發した

韓石寢返說は矢張り宣傳

蔣介石氏側で製造した

【上海大矢特派員二十七日發電】茲四、五日來馮軍韓復榘、石友三氏等馮氏に寢返り、韓復榘軍と探良誠軍と衝突せりとか、馮軍は河南を抛棄して陝西に退却等の說傳へられ、當初は蔣介石氏側の宣傳なるやも知れずとして七分迄疑ひをもつて見られてゐたが、その後續々韓復榘氏寢返りの說がまことしやかに傳へられるので、今日では寢返り說が一般に信ぜらるゝに至つた、然るに記者が支那側の信ずべき消息通に質した所によれば寢[illegible]

閻氏は中立

馮氏に反對出來ぬ破目

【北平二十七日發電】閻錫山氏が蔣介石氏と策應して馮討伐に參加し得ず平津を守つて中立の態度を執る外なきは既報の通りだが京漢線及び正太鐵道の從業員に對し早くより馮玉祥氏の手が廻つて居り若し閻錫山かで對馮軍事行動を執り積極的に軍隊を動かすに至らば山西右兩鐵道の從業員は結束して山西軍の軍事輸送を不可能にする計畫が整つて居り策戰上重大なる齟齬を來すので、かたぐ閻錫山氏は馮玉祥氏に對し積極的反對行動が執れぬ破目に陷つてゐる

返り說を傳へる電報は盡く蔣介石氏派の製造せる謠言で未だ河南よりどこへも信ずべき電報とて達してゐない、これは全く蔣介石氏がせめて奉安祭までても民心の動搖を防がんとして放てる謠言なること明かであると

馮玉祥軍

全部平漢線以西に配置

【北平二十七日發電】平漢鐵路局長何成[illegible]の電報に依れば、馮軍は目下信陽の西百支里の桐柏より南陽間に二師、南陽に五師、南陽洛陽間に二師、鄭州より潼關に亘り其の一部駐屯、兵力總數は十五萬以上と見られ、鐵道以東には一兵も見ず、糧食の大部は洛陽に貯

孫文陵墓

南京紫金山に造營された孫文陵墓にして六月一日靈柩はこゝに安置される

軍隊を還へして改編を實現せん

閻氏の討馮通の內容

【北平特電二十八日發】太原より閻錫山氏は馮玉祥氏に對して次の如く打電し下野外遊を慫慂した

……藏され中牟縣白沙河の鐵橋は全く破壞された

我等三名（蔣、馮、閻）は黨國及び人民のために圖り其の幸福を想ふこと久し、故に自ら敢へて常らずと雖も此に衷情を披瀝して貴兄に致す、貴兄若し一切を捨て、即時下野し禮讓を以て干戈に代へれば是れ豈に單り吾人兄弟の幸福のみに止まらず、洵に國家の大幸なり余久しく外遊の願ひあり驥尾に附して倶に遊ぶ欣幸何ぞ之に過ぎん、兄にして其の決心をなさば之を國民政府に宣布し軍隊は中央に還し以て改編を實現し得ん

過般の覺書通り條約交渉を繼續

大使館昇格は急には實現せぬ

上海に着いた芳澤公使語る

【上海大矢特派員二十七日發電】芳澤公使は今日午後二時半着上海丸にて着滬、船中にて語る

往復廿三日の旅行で東京には僅十五日の滯在で東京出發間際迄外務省に出向ひてゐた程で頗る慌しい　旅だつたが、奉安式參列の準備は出發までに漸く間にあつた、今夜矢矧に乘込み明朝出港二十九日午前九時南京着、同日午後外交部長と會見三十日伊太利、獨逸の諸國公使と共に御信任狀を捧呈する、一日は奉安式、二日は蔣主席の招待會があり、予は三、四日に上海に歸り二、三日內に陸路或は海路北平に赴く、北平滯在は十日か二週間で又上海に歸り通商條約交渉を繼續する、條約交渉に關する日本側の打合せは大體濟んでゐる、今後の成行き如何は豫言し難いが兎に角交渉開始し得る樣になつてゐる、條約交渉が支那時局に影響されることなきやとの質問を受けたが

日本は　四月下旬往復せる覺書に明示されてゐる通り交渉を繼續するもので今更覺書の趣意を變更する必要を認めない支那時局の影響は支那政府の決定すべきことで我々の干渉すべきところに非ず、又これがためかれこれ心配の必要なし、馮玉祥氏が各國公使館に致したといふ中立要求の通牒は旅行中でまだ見てゐない、在支公使館の大使館昇格は決定されてはゐるが多少準備に時日を要するから早急には實現せぬ、大使館を上海に移すことについてはまだ具體的計畫はないが事實上予が上海にゐるから事務は上海に移るわけだ

尚同船には支那公使汪榮寶氏も乘込んでゐたが奉安式參列のため一二週間の豫定で歸國したまでゞ、八月中旬にはまた日本に歸ると語つてゐた、尚芳澤公使は日本政府及び田中首相より孫文靈前に贈る花環挾張を携へて來た

芳澤公使南京に向ふ

【上海二十八日發電】芳澤公使、重光總領事、公森財務官、有野通譯官一行を乘せた滑外艦隊矢矧は今朝五時半出港南京に向つた

民政黨政策

具體化を協議

【東京廿七日發電】民政黨は曩に決定せる金解禁、金融制度、公債政策、對支問題を始め十三政策を具體化せしむるに決し廿八日午前十一時から總務會を開き特に各特別委員長理事も參加し之が調査方針を定め、特に財界不安問題對策を協議する筈である

懸案交渉準備の爲有田局長奉天へ

二十八日閣議で決定

【東京特電二十八日發】廿八日の閣議に於て協議の結果、田中外相は有田アジア局長を奉天に特派せしむることに決した、右に就いて外相は次の如く述べてゐる

日支通商條約改訂の交渉は豫定の如く開始されることになつてゐるが、之に先ち我政府としては一面に於いて特殊權益と密接なる關係を有する滿蒙鐵道問題其他、諸懸案交渉を速に解決する必要上、其の準備のため有田アジア局長を奉天に特派する

非行を認めて支那側深謝

誠意を認めて犯人を引渡す

我兵狙擊事件解決

【奉天特電二十八日發】奉天鐵西瓦房に於ける支那巡警の日本兵狙擊事件に關し、奉天總領事館は嚴重に抗議したが昨二十七日支那側よりは、白公安局長が奉天總領事館、奉天憲兵隊、奉天獨立守備隊を歴訪し、今回の事件は重々支那側の非行として、その罪を深謝し尚今後は自分が全責任を以て事件の再發を取締まるべく、既に各地に訓令を發した、又發砲した巡警は處罰することを條件として解決方承認を要望したので、右三代表商議の結果、支那側の誠意ある態度を認め、要求の如く承認し茲に問題は圓滿に解決したので拘禁してゐた巡警の身柄を釋放し、尚押收してゐた證據物件を引渡した

蔣氏徐州へ

靈柩車出迎へ

【南京二十七日發電】蔣介石は本朝六時浦口發徐州に赴いた、明十時靈柩車に同乘歸京の筈である

山東不安で陳調元氏は移靈祭不參

【青島廿七日發電】山東警備司令吳思豫も移靈祭參列の爲本日正午出帆の大連丸で南京に向つたが元來陳調元が行く筈であつたが吳思豫が行く事になつた理由は憲兵二師の兵力では置き去りにされて不平を懷く顧震、任應岐、劉珍年孫殿英等の有力雜軍多數散在して居るので、之等を改編して懷柔するか然らざれば兵力の増派を要求するためであると

二週間の豫定で歸國

（本文は上掲芳澤公使談話中）

拓務省官制は骨拔でない

前田長官より釋明

【東京廿七日發電】政友會總務會は會衆議院より萬國商事會議並に支那視察に派遣すべき政友會代表を左の如く決定した

▲萬國會議出席者　山本愼平、胎中楠右衛門、森本千吉、木村清治

▲支那視察員　久恒貞雄、伊藤仁太郎、中井一夫、中谷貞頼

次で前出法制局長官より最近政府は樞府の反對に屈從し拓務省の官制は全く骨拔きとなり、朝鮮は所管外となつた樣誤傳されてゐるが、事實は然らず、官制には朝鮮の事務を統理すとあるから所管內に在る事明瞭で、從來豫算等も特別會計となつてゐたものが拓務省所管になり決して骨拔きとなつたものではない

と釋明するが處があつた

鈴木喜三郎氏

首相と會見

【東京二十七日發電】鈴木喜三郎氏は本日午後四時より一時間に亘り官邸に田中首相と會見、內閣改造問題に就て意見の交換をなした

領事館に半旗

孫文移柩祭當日

【吉林特電二十七日發】孫文移柩祭に當り我公使館及び各地領事館に於ても半旗を揭ぐる事となり其旨外務當局より夫々達示があつた爲め當吉林總領事館に於ては六月一日丈け半旗を揭ぐる事になつた

安滿三師團長

拜謁仰付らる

【東京二十八日發電】山東より歸還した安滿第三師團長は六月十一日午前十時四十五分從き邊より凱旋將軍の禮を以て拜謁仰つけられ御賜品を御下賜あらせらるゝ由拜承す

三十日に國書捧呈

首相閣議で報告

【東京特電二十八日發】田中外相は二十八日の閣議に於いて芳澤駐支公使は六月一日孫文移靈祭に參列するに先だち五月三十日を以て國民政府に國書を捧呈することになつた旨を報告した

同仁會大會へ

【東京二十七日發電】貴族院議員近衞公[illegible]金杉英五郎氏は同仁會々長[illegible]

金福公司總會

八分据置案可決

【東京二十七日發電】大倉組を大株主とする金福鐵路公司は二十七日午前十時工業倶樂部に於て總會を開き、配當八分据置案を可決し任期滿了の監査役全部重任に決定

の代理として來る六月一日東京驛發神戸より上海丸で上海へ直行し南京、天津を經て北平に赴き同仁會大會に臨み歸途奉天大連に立ち寄る筈である

混保制度の改善案

委員會開催

混保制度改正問題中の重要案件なる規格審査については既報の如く特産取引人組合重要物産組合油房聯合の三團體より成る聯合研究委員會に於て基礎案を作成する所あつたが大連取引所への上場を圓滑ならしむべき必要上二十八日午後三時より取引所主催の下に取引所樓上會議室に於て再び聯合研究委員會を開き更に愼重審議する所あつた

市學務委員會

彌生高女の移管申請を協議

大連市役所では廿八日午後二時から學務委員會を開いて石本市長、小泊學務課長、恩田、今村、牛島、三宅、閻、西內、岡內、重松、倉島の各學務委員出席、市立彌生高等女學校關東廳移管申請の件に關し協議を重ね午後四時過ぎ散會した

關東廳叙勳（二十五日）

叙勳	位階勳等	氏名
叙勳三等授瑞寶章	正五位勳四等	郡山智
叙勳四等授瑞寶章	正五位勳五等	大場鑑次郎
叙勳五等授瑞寶章	正六位勳六等	三木卓
	勳八等	早野文雄
叙勳七等授瑞寶章（各通）	從七位勳八等	横井武雄
	從七位勳八等	櫻井勳四郎

兩班選手愈よ昨朝長春で引繼

木村選手は吉敦線

神藏選手は哈爾賓に向ふ

突破同車約一時間にして金州驛頭に分れをつげた驛傳競爭紅白兩班の選手……紅班秋山選手は長駆して滿洲里に飛び更に轉じてポグラニチナヤに走り北滿國境の東西兩極を一貫し、次でこれと

十字形に

呼海線より東支南部線と一週間に亘つて縱横に馳驅して堂々二千哩を征服して萬丈の氣を吐いたに反し、白班は牛歩遲々として一驛又一驛一線又一線と只堅實に急がず騷がず關から誰陽へと鹽食的努力をつゞけて尚紅班の牛行程を辛うじて踏破し得たに過ぎない狀態であるが、その間の戰雖局の大半を終つた、斯くて此の兩班の期せずして兩極端の作戰は日々刻々ファンを熱狂せしめつゝ一週間を過ごしたが

圖らず

もこゝに紅班は秋山第一走選手より木村第二走選手に白班は能勢、加藤の兩選手行程を完了して第三走者神藏選手に滿鐵最北端長春驛に於て昨朝八時前後殆ど同一時に落合つてともに引つぎをたすことゝなつた即ち紅班秋山選手は一昨夕六時半呼海線馬船口驛に歸還するや直に松花江を渡つて哈爾賓に出で七時四十分發列車に投じて昨朝五時五十九分長春に到着して木村選手に引つぎの途についた

敦化に

木村選手は午前八時半發吉長鐵道頭道溝站より吉林に向ひ又白班加藤選手は一昨夜午後九時滿輝線の踏破を終つて第三走者に引つぐべく奉天に現はるや、班長よりの飛電は驛頭に來着を待ちうけ轉して長春に急行神藏選手に引つぐべしとの豫定變更に、小憩の暇もなく自動車を驅つて滿鐵奉天驛に到り午後十時十分發列車に移乘して北行

加藤選手長春に向ふ

【奉天特電二十七日發】滿輝線の踏破を終つた加藤白班選手は本日午後九時太原支社長等多數の出迎へをうけて當地に到着したが、當地に於ても第三走者に引つぐべき豫定を變更して長春に至り神藏選手に引繼げとの命令をうけ、直に

哈爾賓に向つて出發し

昨朝七時長春に到着神藏選手に引つぎをなし、神藏選手は直に秋山選手のコースを逆に午前八時二十分發を以て哈爾賓に向つて出發した偶然にも兩班四選手は長春市民の大歡迎裡に落ち合つて、後繼二選手は北と東に分れて壯途に上り、大任を果した前走二選手はともに昨日までの血塗ろの奮鬪を忘れて光風霽月手を携へて南へ……歸社の途についた

秋山、加藤紅白兩選手

相携へて歸る

【長春特電二十八日發】期せずして今朝當地に落ち合つた紅班秋山白班加藤兩選手は各後繼選手に引つぎを終り吉林と哈爾賓とへ送り出してホツと一息、重責を果して心も輕く昨日までの敵味方の奮鬪を忘れたやうに打揃つて食堂をとり休憩數刻午後三時十分發列車に乘り仲睦じく歸途についた

木村紅班選手敦化へ

【吉林特電二十八日發】長春で秋山選手と引繼ぎ吉長線を踏破して廿八日午前十一時半吉林に着いた紅班第二走者木村選手は直に吉敦線敦化行き列車に乘り換て敦化に向つた

驛傳ゴシップ

滿鐵鐵道部の中でも旅客課は紅班の顧問渉外課は白班の顧問といふやうに分かれてゐるので此所でも眞劍な競爭が行はれ、兩班の一進一退毎にお互に「何うだい君の方は、ダメぢやないか」とデモンストレーションをやり合つてゐる。

◇

白班の神藏選手が紅班の妨害をしたといふ怪電報が來たので武田白班長大に面喰ひ早速打電して曰く「爭ひは公明正大なるを要す區々たる術策を弄すると思はれてはならぬ」と

◇

兩班とも豫定のダイヤも可なりの變化を來したのは掩い難い事實である、ソコで滿鐵邊で專門的に研究して、豫想投票は案外適中せぬであらうと見られて來た。

安岡相子

實滿戰も愈グラウンド交換にまで進んで戰機切迫を告げてきたが、昨日滿倶球場で練習中足に球を叩きつけられた實業團の人氣男小安チヤン事安藤勝君嘆じて曰く「一昨日は彼方（實業球場）で左を、今日は此方で右をやられた、これぢや歩くことが出來ねえや」傍から實業贔負のファン慰め顏に「兩方でヒットが打てる前兆だらう」で、小安チヤン跛を曳きながら苦笑▲素晴しいバッチング振の岩瀨投手にネット裏から前滿倶の主將竹中君「五郎サン大分當つてるね」と云ふと「今年は打ち捲くつてやるんだよ」と兩將顏を見合せてニコく▲練習見物の彌次馬連が改造中のプレヤースベンチを眺めながら「ネットを張め込んだら虎の檻だね」「精々まづ猫か狐ぐらゐだな」「ぢや第一回戰を見物に來た猫と狐を追込むさ、網の前は鼻の下の長い連中かワツショイくで毎日賑やかなことだらう」で惡落

特産

◇定期後場（銀建）

▲大豆（張調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	六五二〇	六五二〇	六五一〇	六五二〇
六月末	六四一〇	六四一〇	六四一〇	六四一〇
七月末	六三三〇	六三八〇	六三三〇	六三八〇
八月末	六〇八〇	六〇九〇	六〇八〇	六〇九〇

出來高　五十九車

▲三等大豆　出來不申

▲豆粕（張調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二一七五	二一八〇	二一七五	二一八〇
七月限	二一八〇	二一八〇	二一八〇	二一八〇
八月限	二〇九〇	二一〇〇	二〇九〇	二一〇〇

出來高　五萬二千枚

▲豆油（保合）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
八月限	一六九〇	一六九〇	一六九〇	一六九〇

出來高　五百箱

▲高粱（區々保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	三三五〇	三三五〇	三三五〇	三三五〇
六月末	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇
七月末	三三一〇	三三一〇	三三〇〇	三三一〇
八月末	三三四〇	三三四〇	三三二〇	三三四〇

出來高　二十八車

▲包米　出來不申

◇現物後場（銀建）

銘柄	寄付	大引
混保大豆（袋込）	六五五〇	六五七〇
大豆（裸物）		

出來高　三十車

銘柄	寄付	大引
三等大豆（袋込）	六四六〇	六四八〇
大豆（裸物）		

出來高　五車

銘柄	寄付	大引
豆粕	二一八〇	二一八五

出來高　一萬五千枚

銘柄	寄付	大引
豆油	一六二五	一六二五

出來高　二千箱

高粱　出來不申

包米　出來不申

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

期近	寄付	高値	安値	大引
	九[illegible]〇	九[illegible]〇	九[illegible]〇	九[illegible]〇

出來高　期近　百五十五萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	九[illegible]	一三三[illegible]	一二六〇
二時半	九[illegible]	一三[illegible]	一三[illegible]
三時半	—	—	—

出來高　銀對金　六千圓　銀對洋　二千圓

商品

後場　出來不申

神戸特産物（廿八日）

銘柄	値
大豆現物	七五〇
大豆先物	六五〇
豆粕現物	二二七〇
豆粕先物	四七五
滿洲小麥	六〇〇
豆油現物	二三五〇

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
東株新	一三三五〇	一三四〇〇
東新	一二二〇〇	一二三〇〇
五品	一二〇〇〇	一二〇〇〇
中	不申	一二五〇〇
先	一二六〇〇	一二三六〇
新	一二七〇〇	一二七〇〇
豆中	一七〇〇	一七二〇
先	不申	不申
豆信、中、先	一七二〇	一七一〇

東京株式（長期）

銘柄	東	新
不品	二三六〇	二三三八〇
五	二三八〇	二二四〇〇
中	二三六〇	二三三〇〇
先	不申	不申
新	二二七〇〇	二二七〇〇
中	不申	不申
先	一七二〇	一七一〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	八九八〇〇	九八〇〇〇
大紡新	七八二〇〇	七八一〇〇
鐘紡新	二五一八〇	二五二八〇
日糖新	一二八七〇	一二八七〇
郵船新	六六六〇	不申
東新	一二四〇〇	一三三八〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	二九五七	二九七[illegible]
六月	二九八六	三〇一[illegible]
七月	三〇五六	三〇六[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
六月	二三七〇〇	二三七二〇
七月	二三六〇〇	二三六〇〇
八月	二三三七〇	二三四五〇
九月	二三三〇〇	二三三八〇
十月	二二九七〇	二三〇三〇
十一月	二二八八〇	二二九三〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	二九三九	二九四九
六月	二九八〇	二九八五
七月	三〇二三	三〇三[illegible]

支那の勞働運動に就いて

滿洲日報

大連を根據地として一時滿洲の勞働界を風靡した中華工學會は、周水子における福島紡績の暴動的罷業を最後として、昭和二年四月頃遂に解散したが、それ以來、滿洲の勞働界は先づ平穩無事であつた。然るに本年に入つてから營口の東亞煙草、奉天の大安煙、同上の國際運輸等に勞働爭議が起り、且その勞働運動が組織化され思想化されて行く傾向が見えるのは、大いに注意すべき事である。京奉鐵路工會や奉天及び長春に設けられた郵務工會の如きは、組織化されたものとして、蓋しその最も優秀なものであらう。

◇

支那の産業が近代化されるに從ひ、支那にも勞働運動が起るのは當然で、産業近代化の地たる上海、香港、漢口、廣東、青島、天津、大連、奉天、長春等には、日本より少し遅れて、大正十一年頃から種々の勞働爭議が頻發した。勞働運動は言ふ迄もなく勞働團體の成立に隨伴して起るもので、大連の中華工學會、奉天製蔴の茶話會、南滿製糖の同僚會の如き、初めは勞働者各自の親睦と技能の練磨を目的とする消極的團體に過ぎなかつたが、次第に變化して竟に純然たる勞働團體となり、中華工學會の如きは國民黨中央執行委員會工人部の統制下に在つた中華全國總工會と呼應して盛んに罷業を煽動した。消極的勞働團體のやうに見せかけて其實過激な勞働運動の指導を目的とした團體もあつたのである。

◇

斯くして支那の勞働運動が最も激越化したのは大正十三年乃至十四年の頃で、上海には彼の五卅事件なるものが起り、其頃滿洲にも中華工學會によつて華人勞働者の罷業が激烈に且頻繁に起つたのである。斯やうな次第であるから、滿洲にも青天白日旗が揭げられて南支那の勢力が徐々に且巧みに浸透しつゝある今日、華人勞働者を産業別にして縱に結合せる種々の勞働團體が新たに滿洲に起るのは、毫も怪しむべき事でない。唯こゝに注意を要するは是等の勞働運動が排外運動の一種又はその手先となることで、之れは支那に外國人經營の工場が多い故でもあるが、特に排外運動化させる場合も尠くない。上海には別して排外的色彩の濃厚な勞働運動が起り易く、大連や奉天にも煽動者によつて此種の勞働運動が起つたのであるから、滿洲においては、殊にこの點に深甚の注意を拂はねばならぬ。

◇

時代の大勢より觀て、支那にも組織化した勞働運動が起るのは當然だが、政客又は學生などの煽動によつて、或る場合それが排外運動の一種又はその手先となるのは、厄介千萬な事である。支那は外國の資本と外國人の技術を入れて其の産業を近代化すべく運命付けられて居るのであるが、打倒帝國主義、國貨獎勵、外貨抵制、經濟絶交などを口にする三民主義の徒は、一般的排外運動と共に、勞働運動を特に便乘して排外化させやうと努めるので、嘗ての上海や漢口に起つた如き排外的勞働運動が現はれるのである。ロシアが支那の國民黨を自在に操つてゐた當時、中國共産黨やデマゴークの徒によつて支那の勞働運動は殊に排外化され、華人勞働者は却つて困つた程である。

◇

若しそれ華人勞働運動の思想化については、華人勞働者の智識の程度の概して低いこと、隨つて自覺力の乏しいこと等に考へて、今それを明白に言ひ切ることは難かしい。だが彼等と彼等の運動の裏面に指導者、統率者、煽動者、デマゴークの徒などある事を思ふて、それ等を介して、多少の思想的背景のあることは觀取し得られる。滿洲の勞働運動もこの意味において思想化されつゝあると言へる。江亢虎、孫洪伊、濮自由などの古いところは暫らく措き、現に共産黨のある事や、三民主義の民生主義が社會主義の一類である事など念ふたならば、排外化し易い支那の勞働運動に警戒の要あるを知るであらう。

滿蒙鐵道驛傳競爭

蒙古開發に必要な長洮線の建設

車中に横溢する民族の臭ひ

(第十信)　龍江にて　秋山紅班選手

◇滿鐵、四洮、洮昂、東支の四線は其の名の異ふやうに客車內部の構造が幾分變つてゐる。四洮、洮昂は左程でもないが、東支線は丸きり樣子が異ふ。洮昂線は貧乏世帶のためか便所に這入つても卷紙がぶら下つて居ない。此十六日から一等車や食堂車を連轉したが、排水器の引手を引張つても雨垂れの雫に似た水がチョボ、チョボと滴れて來る程度。洗面室には手拭も無ければコツプ臺はあつても備品は一切無い。備品があつても手の長い人間が多いから失敬して了ふのかも知れない。滿鐵線の其れに比較すると全く雲泥の差である、さうした比較をすることが根本に間違ひかも知れない。其の點に行くと四洮線も大同小異である唯藥臭のする番茶と、手拭を持つて來ることは全支那鐵道の似通つた旅客接待法である。

◇東支線に這入ると今までのニラ臭がチース臭に變り、最近はニラとチースの混臭で充滿してゐる普通列車の便所(ウボールナヤ)はダンスでも出來さうな廣さで洗面場と糞便壺が對座してゐる、三等車の便所と來ては氣持が惡くて潔癖性のないコノ選手も些か落ちつかない。これが初めての日本人なら出るものも出さずに退却して了ふだらう、尤もエキスプレス車の一等は國際旅客を扱ふだけ稍々設備は整うてゐる、露支人共には非衛生約觀念の持主であるとは共通してゐる、支那人が三等車內に略痰して四邊かまはず手鼻をかむことは其れに馴されたものでも餘り氣持のよいものではないが、オシヤレの若いロシヤ人男女が、時々櫛にペツと唾液を吐きかけ其れで髮を整理してゐる姿は手鼻式よりは他人に迷惑をかけぬだけ少しは優つてゐるだらう。

◇一世紀前に引戻された氣分のする四洮線から洮昂線を經て齊克線の終點に着いたのが大連を發して二日目の午後五時半、洮昂線は將來齊克線によつて價値づけられるであらうが、更に洮南から西北方ソロン方面と長春から扶餘を經て洮南に達する長洮線が架設されたら、興安嶺東部の開拓と內蒙の農牧が俄然一變し、吉長線との聯絡で中部滿蒙の經濟的發展は目覺ましいものがあらう「滿蒙の文化は鐵道から」との標語が實現されることになる、張海鵬君の所有土地も初めて値うちが出るだらう。

◇洮昂鐵路局では今回本社主催の驛傳競爭リレーに對して聲援する意味から路局長を初め洮南站長孫不功君の肝煎りで各驛に青天旗と黨旗とを交叉し昂々溪では特に「滿洲日報主催の驛傳競爭を歡迎」と記した二旒の旗を竿頭高く立てて歡迎を表されたことは此所に改めて感謝する、尚ほ洮南公所長西村潔、所員湯淺秀、雨衣辰巳其他の諸氏が誠意ある聲援を與へられたことを謝す。

―蒙古人の住家―

所謂嚴罰主義

滿鐵本社　當局生

交通事故頻發に鑑み警察當局は嚴罰主義を採ると言ふことであるが之が既に取締方針が根本的に誤つてはゐないか、犯したものを罰するではなく事故を未然に防ぐといふことが最も進んだ警察の根本方針でなければならん、現今の如く罰金をとることが即ち交通整理だと心得てゐるやうな警察當局では何年經つても望ましき交通整理は出來るものでない。却つて警官の前で緩めた速力を他で入れ合せやうとするから事故が多くなるやうな結果になるのではなからうか、警察當局にして眞に交通整理を行はんとするならば交通當事者を集めて協議するなり世界各國で行はれてゐるやうな交通事故防止宣傳標語を募集して一般市民の交通道德の向上をはかるなり又もう少し根本的にその原因例へば近來盛んに起る自動車事故に對して誰かも言つてゐるやうに賃金値下げが交通事故に如何なる影響を與へてゐるかといふことを調査するなりして事故を未然に防ぐといふことに根本方針を變へなければ到底徹底した交通取締りが出來るものではない、敢て警察當局の熟慮を促す

八つ相　投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするのは採らず

土木課に願ひ

Y生

日本橋の交番前に圓形の空地がある。あれは安全地帶かとも思はれるが避難する人は未だ嘗つて見たことがない、少しの金を出してあの空地に草花や樹を植えたらあの殺風景な場所がどれ程よくなるかわかりません、市民に代つて敢て民政署土木課當局へお願ひします

大楡樹驛の試驗水田に土塗れに働く若人

感激させらるゝ沿道の歡迎

(第十信)　公主嶺にて　加藤白班選手

◇鄭家屯までアツサリ一なめにして私は意氣方に衝天。廿二日午後二時、四平街を北行車に乘る。櫻井支局長、濱田驛長その他が熱誠な見送りをしてくれる。私の前途を祝して擧げた盃、私はせつな氣持に打たれて乾杯した。萬歳の聲に送られて發車、車輪は五月の午後の陽光を浴びて滑らかに回轉して行く、素晴らしい速度である。

◇齋藤車務車掌は「私が乘つてゐる以上遲らす樣な事はありませんよ」力強い激勵辭、安心し切つた安易さはやつと私に世間話の口をひもとかせた、世間がこの滿日の驛傳競爭に對しどれだけ熱心に注意を喚起してゐるとか、又は、支那鐵路旅行の經驗談とか盡きるところを知らない

◇楊家、十家堡、郭家店が私の目の前を過ぐる。大楡樹に着いた時日本旅行團の臨時特別列車が構內に入つてくる「こんなのを利用したらうまく行くだらうに」私の頭は全く驛傳競爭になり切つてしまつたらしい、時間表が私の頭で回轉してゐるのだ、この大楡樹には、かつて同驛の驛長だつた曾根氏が試驗的に作つた水田があつて今公主嶺の農事試驗場の採種田をなしてゐる、で今年までは鮮農に試作を命じてゐたものであるが、今期からこの滿洲の土になるべく、實に働き切る若人の爲に開設される事になり、陸軍の滿期兵その他眞面目な青年が十二三人、朝まだきから夕晩くまで孜々として土まみれになつて働いてゐるさうである、折柄うすづきかけた夕陽に私はこれ等の若人の健在を祈つた。

◇

ゐる我國の權益の一つたる大滿鐵公主嶺だ、こゝには私が今乘つての沿道警戒治安維持と云ふ大きな責務を擔はされた獨立守備隊司令部と騎兵聯隊が駐屯してゐる此處でも恐ろしい歡迎ぶりだ、滿日の小旗がヒラヒラ初夏の風にはためいてゐる桐ケ谷驛長池永支局長その他多數が出迎へてくれた、同驛で擦違ふ筈の貨車が來ないので八分遅れる「それで好いのですか」聞くと「大丈夫ですよ」大きな返事で、安堵の胸をなで下す、驛長の厚意で食堂車において前途を祝つて貰ふ「プロージツト」桐ケ谷驛長はとても元氣だ。乾盃して萬歳の聲を後に更に北進――一路長春に向ふ

「近代支那外交史論」

竹內克己氏が現國民政府外交部長王正廷氏の原著を翻譯して標題の書を出版した、內容は支那の國際的交通の起原より筆を起し鴉片戰爭以後の中國外交の失敗、歐洲戰後の中國外交の進步、關稅回收問題、法權回收問題、租借地回收問題等を要項として詳述してゐる、著者は中國外交界の大立物として支那の外交に直接執掌せる人であるから對支外交研究の上には見逃がし難いものがあり譯者亦た多年支那問題を研究しつゝある人であり此の書は支那研究者にとつて好個の材料たるを失はぬ(定價一圓五十錢、中日文化協會發行大阪屋號發賣)

ラヂオ英語講座

大連放送局五月廿九日午後七時三十分
講師大連彌生高等女學校茶谷茂
第九回(第九週第三課)

At a Restaurant.　第三回

1. Good morning, sir. Please take this seat. What would you like? This is to-day's Menu.
2. Have you any fresh oysters?
3. Yes, sir.
4. These oysters are delicious.
5. What next, please?
6. I'll have beefsteak.
7. Do you care for tomato sauce on the steak?
8. Yes, that will do.
9. How about a little soup before the steak?
10. Yes, all right.
11. Do you like your steak well done or underdone?
12. Underdone, please. Pass the sault, please.
13. Anything more?
14. No, nothing more.
15. What will you take for dessert?
16. Any fruit will do, so long as it is fresh.
17. Do you care for coffee?
18. Yes, please. This coffee is very strong. I hope it will not keep me awake to-night.
19. I don't think it will, sir.
20. Well, how much do I owe you?
21. Two and six pence, sir.
22. Here you are three shillings. Don't bother about the change.
23. Thank you, sir.

料理店にて

1. いらつしやいませ、どうぞお掛け下さい。何に致しませうか、之が今日の獻立表です。
2. 新らしい牡蠣があるか。
3. はい。
4. 此の牡蠣は甘い。
5. お次は何に致しませうか。
6. ビーフテキ にしませう。
7. テキの上に トマトソース をおかけ致しませうか。
8. はー、それもよいでせう。
9. テキ の前に少し スープ は如何ですか。
10. えー、それもよからう。
11. テキ はよく燒きませうか半燒に致しませうか。
12. どーぞ 半燒なのを、食鹽をこちらに廻して下さい。
13. もつと何かお上りになりますか。
14. もう何う要りません。
15. デザート は何に致しませうか。
16. 新しければどんな果物でもよろしい。
17. コーヒ をお上りになりますか。
18. はい、どーぞ、この コーヒ は隨分濃いが。夜眠られない様な事がなければよいが。
19. そんな事は御座いませんでせう。
20. さて、お勘定は?
21. 二シリング 六ペンス です。
22. これに 三シリング あるが、お釣りはもうよろしい。
23. 有り難う御座います。

金言　明快なる果斷は決して悔なし（西諺）

コドモページ

修學旅行記　汽車は我々の樂しい夢をのせて　北へ北へ……

大廣場小學校六年生　屋鋪健治

汽車の中はせまいので中々きゆうくつだ。あせはだら〳〵流れる。僕と高橋君は一つしよにねるのである。やがてみんながねてしまつたが中々ねられない「あつい〳〵」といつてゐるばかりで一寸もねられない。そつと池見君の空氣まくらの栓をぬいた。「すー」と空氣がぬけていく。すると池見君がとてもおこつてきた。いたづらをしてゐる中に時計を見るともう十一時半だ。高橋君に「十一時半だ」といふと「さうか」といつてすましてゐる。そのうちに僕もねてしまつた。すこしやかましいので、ふと目をあけると、もうおきてゐる者が大分あつたので僕も、もうねむたくなかつたので起きた。時計を見ると十二時半だ。まだ早いと思つてねようとしたがもうねられなかつたので思ひきつておきた。汽車はどん〳〵進んで行く小さな驛大きな驛を後にして……「早く奉天に着かないかなー」と思ふがそう早くつくはずがない。外はうるしを流したように眞黑で少しおそろしい氣持さへする。山本君は、はしやいでゐて先生に注意されて靜まつたが又後からぼつ〳〵話しを始めた。久間君や内田君などは窓から外を見て、とまつた驛の名をしきりに見てゐた。僕も見たくなつたので内田君とかはつてもらつた。長い間見てゐると何だか明るくなつてきたやうなので「明るくなつたやうだ」と久間君にいふと「そうだな」といつてゐた。その時緒方君が起きたので僕は毛布をかりてたぬきねをしてゐた。みんなもいろ〳〵な事をはなしてゐた。横山健三君は「みんなのねてゐる顔を見てやらう」といつてゐたので思はずふき出しそうになつた。その中にだん〳〵明るくなつてきたので起きた。しばらくして大石橋に着いた。先生が「みんな顔を洗ひなさい」とおつしやつたので、あわてゝ驛の洗面所へ行つた。少ししかない時間なので僕もいそいで顔を洗つた。（つゞく）

人間の砲彈　思ひ切つた離れ技

アメリカ人は實に思ひ切つた離れ技をよくやる。これはニューヨークのスターライト公園で演ぜられた冒險極まるサーカスの曲藝、素晴らしく大きな攻城砲の中に人間を入れてズドーンと一發人間の砲彈を打ち出さうといふ仕組である。上の寫眞は今大砲の口から人間を發射した刹那の光景、空中高く打ち上げられた人間の砲彈は豫め張つてある向ふの大きな網の中へふわりと落ちる。若し誤つて網の外へでも落ちやうものならそれこそたつた一つしかない命は一ぺんに飛んでしまふ。下の寫眞は今もんどり打つて網の中に落ちやうとしてゐるところ

ニドメノ大チャンノタンケン（54）

ハルミチ作　ジラウ畫

大チャンハ　シマノムスメタチト　チカラヲ　アハセテ　タフレテキル　マワウヲ　フトイキノミキニ　ミウゴキノデキナイヤウニ　シバツテ　シマヒマシタ。

「コウシテオケバ　ダイヂャウブダ　サア　コレカラ　マワウニツレラレテイツタ　四ニンノムスメヲ　タスケニ　イカウ」ミンナハ　ゲンキヨク　マワウノ　イハヤニ　ムカヒマシタ。

ソシテ　マワウノ　イハヤノナカニ　ナガイアヒダ　トヂコメラレテヰタ　四ニンノ　ムスメタチヲ　タスケダシ　ミンナハ　バンザイヲサケンデ　ヒキアゲマシタ。

娘々祭座談會（中）　迷鎭山は人て埋まる

【大石橋小學校高等科生】

辻本「僕はこんな話を知つて居る。今から五千年前に、大石橋から遼陽邊に至る一帶の地方は非常によく開けてゐた。其の頃、此の邊を統治して居た王が隣國と兵を交へたが、折惡く病床に臥つて居たので止むを得ず其の子に命じて敵に當らせた。處が、翌年、國王が病死したので、家臣は直に此の旨を戰線にある息子に通知した。訃報を聞いた息子は、早速歸つて葬式に參列したいとは思つたが、てうど其の時苦戰の眞最中にあつたのでどうしても歸る事が出來ない。で早速其の旨を返報したので、重臣達が協議した結果「大石橋の山麓」を選んで王の死骸を葬つた。後になつて近在の農民達が王の靈を山上に祀つた。これが今の娘々廟である」

司會者「面白い。傳說はなか〳〵興味のあるものだ。一體、娘々廟については、文獻が殆ど殘つて居ないといつていゝ。さうだから、正確な由緒は判らぬ。石碑記錄といつたやうなものが何かあればいゝのだが」

池田「たしか一昨年だつたと思ふ兄さんや軍隊の通譯をして居る人や五人程一緒に迷鎭山へ登つた事がある。其の時、お寺へ參つてから西の方へ少し下りた處に大きな鐵の碇を見つけた。高さは一メートル位で下の方は大分地面の中へ這入つて居る。鐵の色や質から考へて見るとあまり古いものゝ樣には思へないが山の上に碇があるとは面白い」

司會者「不思議だねえ。何れ今度行つた時に研究して見やう」

中澤「僕は最近こちらへ來たのでまだ一度も行つた事が無いのだが、娘々廟はどこにあるんだ」

××「迷鎭山の頂上から少し下つた處にある」

中澤「大石橋から遠いのか」

常見「驛には大石橋の西南三十五町と書いてある」

中澤「祭神は」

常見「圖書館から借りて來た「滿洲旅行案内」によると、趙公明の三妹、雲霄、瓊霄、碧霄の三女を祀ると書いてある。そして雲霄が福壽の神、瓊霄が治眼の神、碧霄が授兒の神となつて居る」

司會者「片桐君の傳說と大分關係があるやうだなあ。これだけ御利益があれば支那の娘さんが着飾つて參拜するのも無理はあるまい。では之から君達の見聞した事實を話し合ふ事にしやう」

辻本「祭日は何時か」

池田「舊曆の四月十六、十七、十八、十九、二十の五日間で、眞ん中の日が一番賑やかだ。今年は新曆の五月二十六日に當つて居る。幸ひに日曜日だから、日本人も澤山參拜するだらう」

辻本「寫眞で見ると、山一面の人だかりだが何人位參るのかな」

片桐「大約七萬人と聞いてゐる」

司會者「何しろ、北は長春から南は旅順大連に至る迄、殆ど全滿各地からの參詣人を集めるのだから、それ位にはなるだらう。實際、汽車から吐き出される人や、迷鎭山の中腹から山麓一帶に亘つてのあの群集を見ない人には、とても當日の雜沓は想像出來ないだらう」

本田「全くその通りで、去年も、太平山の少し南、山麓に最も近い所に臨時驛を置いて、大石橋の驛から三十分おき位に臨時列車を運轉さして居たが、女や子供などは、とても乘れるやうな騷ぎではなかつた」

司會者「さうすると歩いて行く譯だな」

池田「元氣な者なら歩いても行けるが大ていの人は馬車で行く」

司會者「賃金は」

大澤「僕の行つた時は四十錢だつた」

池田「僕は一圓取られた」

只野「今はとても四十錢では行かない。そうかといつて一圓は少し高いやうだ」

司會者「それでは其の日の樣子を話し合ふ事にしやう」

常見「一寸の言葉では云ひ盡せない。麓の方は、移動式馬車やアンペラの小屋で一杯だ。食料や寢具などを持ち運んで、一家族が其處で生活をする。まるで臨時轉宅といつたやうな形だ」

小學校長私宅に電話開通

市内小學校長、公學堂長の私宅に公用電話が架設せられた。電話番號は次の通り

伏見臺校阿本（二一五一一）南山麓校柿野（二一五一三）朝日校櫻井（二一五一四）嶺前校榊原（二一五一五）日本橋校倉井（二一五一六）常盤校外池（二一五一七）大廣場校鈴木（二一五一八）春日校越川（二一五一九）松林校越智（二一五二〇）聖德校松原（二一五二一）早苗（二一五二二）伏見臺公柳原（二一五二三）西崗子公倉島（二一五二四）土佐町公坂櫻（二一五二五）沙河口公（二一五二六）沙河口校高木（九七三三）大正校湯下（九七三三）

學校だより

◇大廣場校運動會延期　同校では日學校保護者聯合の運動會を擧行する筈であつたが市民運動會と一緒になつたので次の日曜日六月二日に延期した

新刊教育書紹介

▲教育時論（五月十五日號）俸給引下げと沈滯打開策、勤勞指導の本旨、近世的疾患と佛教思想、新童話論、どん底生活の悲哀其の他（十五錢東京神田區三番町開發社）

明大留守軍を魁けに來滿チーム決定す

國學院、横濱高商、慶大、八幡製鐵 早大、カ大は交渉中

來る六月二日の第一日曜より九日、十六日の第三日曜に至る間三回戰を行ふ實滿戰が終ると共に外來チームが滿倶、實業を目差して續々來連するが、既に決定したものは先陣を承る明大留守軍で朝鮮各地に轉戰して六月二十日着連、續いて同二十六日に國學院大學が着連し、横濱高商、慶大、八幡製鐵所チームも順次來連すべく、また招聘を交渉中のものに早大及び目下來朝中の加州大學あり、三高及び同先輩の組織する神陵チームは來連してゐる、更に内地中等學校野球界一方の雄甞陵中學はこれと別の意味に於て六月十七日頃來連滿倶、實業と一戰を試むることとならう

グラウンドを交換して練習

實業滿倶では各自ホームグラウンドで練習してゐるが、例年のごとくグラウンドを交換して練習することゝなり、廿七日から滿倶は實業グラウンドで、實業は滿倶グラウンドで各々練習することゝなつた

實滿戰經過を中繼放送する

大連放送局では六月二日午後三時より滿倶球場に擧行する實滿野球試合經過を球場から中繼放送することゝなつたが、試合經過は大連商業野球部長二宮順氏が極めて詳細にアナウンスすると

神宮奉唱歌 内務省で募集

【東京廿七日發電】内務省は今秋神宮式年御遷宮を機會として神宮奉唱歌を一般から募集するに決定した右奉唱歌は今後神宮參拜其の他神宮式日に國民に奉唱せしむるものであると

感激にみちた美しい集り

少年東郷會發會式に老元帥の珍しい演説

【東京特電二十七日發】海軍記念日の二十七日午後、少年東郷會發會のため都下小學校二萬の兒童が日比谷公園新音樂堂に老元帥を迎へて感激に滿ちた美しい集まりを催した、爽かな初夏の風に萬國旗が勇ましくはためき渡る、三時五十分水交社に於ける記念式を終つた元帥は

怒濤の様な萬歳を浴びながら式場到着、やがて小笠原長生中將の紹介でマイクロホンの前に立ち、めつたに聞いたことのないあの重い口を徐ろに開き意外な程元氣な聲で

「少年諸君、諸君はお上のために日本國家を背負つてたたねばなりません、忠孝の二つを心がけ學問を勵み體を大切にして立派な人になつてほしい、力や才があつても誠の心が缺けてゐては眞實の御奉公は出來ません、どうぞ誠の道を踏違へない樣に進んで下さい、これが東郷が心から諸君に希望するところであります」と父が子を諭すやうに諄々と語る

樣に耳を傾けた滿場水を打ちたるが如く靜まりかへつて

食入る　小日向小學校五年生小池君がはぎれのよい立派な答辭を述べると、元帥の面にはうれしさうな微笑が浮んだ、日露戰役當時三笠の一等水兵だつた加賀谷啓介氏は態々秋田から上京、元帥の姿を眺めて「ちつともお變りはありません」と感激の涙を流してゐた

米大統領に日本刀を贈る 松永東電社長

【ワシントン廿七日發電】出淵大使は本日東邦電力社長松永安左衛門氏を伴ひ大統領官舍を訪ひフーヴァー大統領に接見した松永氏は二百五十年前の作である日本刀二口を贈呈したがフーヴァー大統領は厚く之れを感謝した

春日池で模型艦二隻爆破 海軍記念に相應しい催し

去二十七日は海軍記念日なので各方面に於てこの佳き日をさまざまな催しごとで祝つたが、殊に當日午後一時五十五分即ち日本海々戰に於て「皇國の興廢この一戰にあり」と云ふ信號を發した時刻、市内春日町春日池に於ては海軍協會の軍艦模型爆沈が行はれると云ふので池畔には觀衆約一千名が集つた、軈て二時頃となるや灰色に塗られた長さ一間位の模型艦二隻が池のまん中に浮べられた、この二隻の船底にはダイナマイトを仕掛け電流を通ずるや轟然たる音響と共に模型艦は沈沒した、並居る觀衆はやんやと拍手、海軍記念日らしい催しごとであつた

呉竹仙史の力作

古い自由黨の人、天覽富嶽描きの書家、康有爲亡命で山縣老公に長詩を送つて痛棒を喰はした快男兒、京都書壇の大御所安田呉竹仙史は過般來遊約一ケ月の豫定で遼東ホテルに滯在中であるが、寫眞は山本滿鐵社長に贈つた得意の二行書六十六翁尚矍鑠宕の老手流石に天下の珍である

大連中華陸上運動會

大連中華青年會主催の第八次大連中華陸上運動會は來る六月二日午前八時より譚家屯大連運動場で擧行されるが、參加團體は中華各學校青年會等約二千四百人に上ると

孫文移柩祭と大連の支那側

故孫文氏移柩祭に際し大連にても華商兩公議會より口頭を以て各方面に弔旗を掲げるやう傳へたので各支那側會社商店は夫々半旗を掲げて居り、南京では六月一日は歌舞音曲停止の令が既に發せられたが、流石當地は遠慮して只中華青年會が當日休業し、基督教青年會にては追悼會の準備だけ整へてゐる

滿鮮を股にかけ利權詐欺を働く

名士の名を利用して警視廳の手に捕はる

【東京二十七日發電】警視廳の渡邊警部は二十七日大藏から實業家と稱する田野豐(五三)を引致嚴重取調を開始した、同人は數年來田中首相、一木宮相、山本滿鐵社長その他セミヨノフ將軍等の名を利用して内地、北海道はもとより滿鐵關係方面、朝鮮等に於て利權を持廻り詐欺を働いて居たもので其の被害額數十萬圓に上つてゐるが、更に數年前に前暹羅公使某氏と共に武器の密輸をしたことも判明し一時滿鮮に姿を晦ましてゐたものである

支那遊廓火事

二十一日午後一時四十分ごろ市内浅間町三番地飲食店主王局玉方臺所より發火、同家を全燒して料理店十一號に延燒せるが消防隊の活動により一戸全燒二戸半燒にて二時十分鎭火した、賑やかな支那遊廓地帶とて一時はなかなかの騒ぎであつた、原因損害等目下取調中

新禱師夫婦を慘殺す 病が癒えぬと

【福岡廿八日發電】福岡縣鞍手郡木屋瀬町農業安藤重吉(三九)は實母キシ(六三)が病氣に罹り重態に陥つたので隣家の新禱師池末政吉(四七)と妻ミツ(四〇)に祈禱を頼んだが、病氣が治らぬので重吉は政吉夫婦が野狐を附けたものと誤解し政吉一家五人を慘殺せんと二十六日午後六時半七首を揮つて同家に押入り政吉を慘殺し更にミツの逃げるを追ふて之を街上で突き殺し、血に狂つて更に同家に引返さんとするところを急報に依り馳けつけた駐在所巡査に取押へられた

安東税關吏七名增員 通關が早くなる

【安東發】朝鮮税關に於ては今回安東驛詰税關吏を増加することゝなり最近雇員六名を増員したが尚過般閣議を通過した増員即ち事務官補二名、檢査官補二名、監吏三名の官制も發表せらるゝ筈にて此等は總て安東驛詰めに振向ける事に決定した模樣である、實現後の安東通關は定めし旅客貨物共に頗る迅速になることゝ思はる

胡藤の花街頭に薫る

秘密映畫の密輸に手古摺る

青い灯紅い灯日本は踊り時代 立花高四郎氏の話

日本國中がヤンキー映畫の眞似事で踊つてゐる世の中だ。銀座や道頓堀の青い灯、紅い灯に憧れて、魔都の若い男女が踊り狂つてゐるなどは先づ罪の輕い方で、エロテイクな方にかけても今は青年よりは中老年の人達が激しい愛慾の探求に狂燥してゐる。猥本の流行、猥談の怒濤、性器性藥の需給繁忙、そういつた變態的現象は皆その片影と觀る。

◇

就中秘密映畫の密入には當局も殆んど手古摺つてゐる。取締に智能を絞れば、密輸者の方でも劣らず悪い意味の頭腦のよさを示して巧妙に、有ゆる手段方法を講じて盛んに持つて來る。

◇

それらのフイルムは勿論ネガのまゝで、輸入の經路は到底端睨すべからざるものであつて、着後何處かで何人かの手に依つて現像されるらしい。玩賞者は性的純な感覺の痲痺した結果、強烈な刺戟を慾求するブルジョア階級の不良中老年組が主で、富豪や貴族の不良青年子弟中にも一種の秘密結社風の鑑賞クラブを組織してゐるものもあるらしい。

◇

之等エロテイック・ナンバーのクラブ乃至個人に共通な點は、此種映畫の愛好者は亦必ず猥本笑畫の愛好者である事だ。それ故秘密映畫の密入にも増して、暗中の魔都を縱横に跳梁出沒するもの、各國各樣種々奇怪なる猥本の流行、殊に近時支那猥本の流行は非常なものである。

然し、如何に彼等の跋扈跳梁は激しくても、同一團體、同一個人が、何時までも當局監視の目を潜る事は不可能である。唯だ彼等愛好者の大部分が地位あり名譽ある人々である爲め、檢擧されても社會の表面に現れない丈けで、摘發檢擧の數は隨分と多い。

◇

檢擧する程の犯罪と認められず、然も確かな推理乃至證據に依つて、之等のフイルム或は猥本笑畫の類が或る者の手にあると確めた場合――それが名譽地位ある人である場合警視廳では何等豫告なしに、刑事を遣はして簡單に其の所持品の提出を求むる。と、殆んど總く、一言の抗議なくして必ず即座にそれを提出して終ふ。

◇

人間の本能に即した一種の犯罪――と云ふよりは秘密。それに對しては當局も可成りにデリケートな手心を以て取締つてゐる譯である。

暴風大阪府内を襲ふか

【大阪二十八日發電】行幸を目前に控へた大阪測候所では廿八日午前十時左記暴風警報を出した

大阪府管内警戒を要す低氣壓は九州の南東にあり七百五十粍を示し東北東に進行しつゝあり

和歌山縣阪神地方民は只管陛下の御航海御安全を禱り奉つてゐる

常識講座計畫 社會館で準備中

大連市立社會館では一般市民の健全なる常識の發達を期する爲め今後毎月乃至隔月各方面專門家或は學者に依頼し學術、經濟、時事問題、文藝等に關する常識講座を設くべく目下之が具體案につき協議中であると

リンドバーク大佐結婚す

【加州イングルウッド二十七日發電】大西洋横斷飛行の勇士リンドバーク大佐は豫て公約中の墨西哥駐在アメリカ大使モロー氏令孃アン、モロと本日當地に於て結婚式した

貔子窩に水道

水に惠まれぬ貔子窩にもいよいよ水道を引く事になり二十八日午後一時半より同地避病院跡で上水道新設工事の地鎭祭を行ふに決定

早大大勝 加大との野球

【東京特電二十七日發】カリホルニヤ對早大第一回野球戰は廿七日午後三時より神宮球場にて横澤(球審)天知・池田(壘審)のもとにカリホルニヤ先攻で開始したが・二〇A對零で早大大勝す・バツテリーは加州ジ・エコブ・ソンバワ・ワイヤツト・早大清水・多勢・伊丹・閉戰五時十分

法政軍惜敗す

【ホノルル特電二十六日發】本日法政對ハワイ大學との野球試合は三對二で法政惜敗した・法政バツテリーは田村・藤田・尚ほ藤井は練習中飛球が目に當り負傷した

不逞團の放火か 昨曉撫順の大火

烈風中六十餘戸全燒す

【撫順特電二十八日發】二十八日午前四時二十分附屬地唯一の樂天地たる歡樂園の露天區南端より發火折からの烈風に六十餘戸を全燒した、消防隊、警察全員出動し、四時五十五分漸く鎭火した、損害三萬圓、原因は不逞團放火の疑ひあり、目下嚴重取調中である

開帳中を御用

二十七日午後九時ごろ沙河口元町一〇八番地王永財方で鍛冶工由德申ほか鐵工苦力等十名車座となり牌九と稱する賭博開帳中一網打盡沙河口署に擧げられた

橘高廣氏歡迎會

映畫評論家として知られたる、警視廳檢閲係長警視橘高廣氏の歡迎會が二十七日夜六時半から滿鐵情報課主催で常盤遊園瀛閣で催された、情報課より石本憲治、青木源之助、石原巖徹、芥川光藏、中山晴夫氏等、大連署檢閲係今井民造、本社山口海旋風等の諸氏出席含畜あり興味ある映畫談、深刻なる特殊犯罪談等に關する歡談を交はし九時散會した

藤井家慶事

大連民政署庶務課長藤井唐三氏令妹とし子孃は今回中西滿鐵地方課長の媒酌で滿鐵人事課員古賀叶氏と婚約成り二十八日午後二時大連神社で華燭の典を擧げ午後三時よりヤマトホテルで披露宴を催す由、新郎は大正十四年出の帝大卒業、新婦は大連高女卒業の才媛であると

又た僞藥被害

既報僞醫師の藥賣被害が本日も赤届出があつた――市内惠比須町五八番地表具商東市平妻タカ(四五)が十九日午後二時頃一人で留守居中を訪れ言葉巧に血の道の藥と稱し佐賀縣製翔研究所發賣のオルミン長崎シーボルト製藥所製の剌傷を賣付けたものである

上水道掃除日割

▲六月一日　攝津町一部、天神町全部、對馬町一部、壹岐町一部、家東屯馬車收容所

▲六月三日　播磨町全部、丹後町全部、對馬町一部、壹岐町一部、櫻花臺全部、初音町全部

けふのラヂオ

昭和四年五月廿九日(水曜日)

自午前十一時　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)

自午後〇時三十分　相場(特産、錢鈔、各地相場)ニュース

自午後三時三十分　相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)ニュース

一、ニュース

二、英語講座　第三類料理店にて　大連彌生高等女學校　茶谷茂

三、獨唱　1 六騎　2 ほとゝぎす　3 かやの木山　4 寝園の板戸　山田耕作作々曲　平間文壽、伴奏　齋藤佐和

四、清元　中西お祭り　淨瑠璃　三味線　清元延菊秀

五、喜劇　谷川の水　曾我廼家五郎一座　第一、百姓茂助宅表の場　第二、村長稲井福兵衛宅　村長稲井福兵衛…蝶兵衛、娘咲子…君子、役場小使太七…五郎蝶、下女お松…三郎、百姓茂助…五俵、娘お花…新蝶、養子三之助…五郎蝶、大學生秋山壽一…國男

六、料理獻立

七、天氣豫報

八、ラヂオ體操

『改造』六月號の論文欄五十九頁より六十二頁迄は削除された

第四回決算公告

(自昭和參年四月壹日　至昭和四年參月參拾壹日)

貸借對照表

借方(資産之部)		貸方(負債之部)	
拂込未濟資本金	[illegible]	資本金	[illegible]
建設費	[illegible]	法定積立金	[illegible]
貯藏品	[illegible]	社債	[illegible]
切手印紙	[illegible]	未拂金	[illegible]
現金	[illegible]	社員身元保證金	[illegible]
預金	[illegible]	假受金	[illegible]
未收金	[illegible]	前期繰越金	[illegible]
假拂金	[illegible]	當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]	合計	[illegible]

損益計算

收入之部	
營業收入	[illegible]
關東廳補助金	[illegible]
南滿洲鐵道株式會社補助金	[illegible]
合計	[illegible]

支出之部	
營業費	[illegible]
支拂利子	[illegible]
合計	[illegible]
差引當期利益金	[illegible]

利益金處分

項目	
當期利益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
内 法定積立金	[illegible]
株主配當金(年八分)	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

右之通リニ候也

昭和四年五月廿七日

株式會社　金福鐵路公司

追而監査役全員任期滿了ニ付改選ノ結果重任ス

公示催告

大連市西公園町四十九番地　滿鐵社員消費組合本部　申立人　元木照五郎

目録

一、證券ノ種類及番號　船荷證券壹通外第貳〇參號

一、證券發行日附　昭和參年拾貳月參拾日

一、船舶名稱　香港丸

一、發行人及證券作成地　商船株式會社大阪支店、大阪市

一、船積港　大阪

一、荷送人　田村駒商店

一、荷受人　滿鐵社員消費組合本部

一、陸揚地　大連

一、品名及數量　綿布　壹箱

一、價格　金七百八拾七圓五拾錢也

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニヨリ其所持人ハ昭和四年十一月三十日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和四年五月二十五日

關東廳地方法院

公示催告

大連市寳町一番地同泰油房事　申立人　姜西亭

目録

一、證書種類及番號　貨物引換證七第七〇參號

一、原驛　開原驛

一、到着地　大連埠頭

一、證書發行所　同泰油坊、開原驛

一、證書及託送發行年月日　昭和四年五月拾九日

一、發送人及荷送地　東永茂、開原

一、品名　金元大豆(麻袋入)

一、數量　參百五拾袋(四九、七〇〇斤)

一、價格　金參千圓也

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニヨリ其所持人ハ昭和四年十一月三十日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ヒ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無効ヲ宣言スル事アル可シ

昭和四年五月二十五日

關東廳地方法院

轉居

星ケ浦公園内ヤマトホテル一〇號別莊

五月二十六日

村井啓太郎

寄附電話開通申請受付

一、受付期間　六月一日より同八日まで

一、寄附架設費　一口金百五拾圓(當局指定の期限内に納付すること)

一、制限　申請者多數のときは御希望に應じ得ざることあり

一、詳細は當局に就て承合せらるゝこと

昭和四年五月二十八日

旅順郵便局

本社懸賞當選小説（禁無斷上演）

人生の曲藝（144）

瀬野皓太作　淺枝次朗畫

ホテル、オブ、ミラクルス（二）

朱文啓は婦の獨り言を聞き逃せなかつた。

「お前は、あの日本婦人と近づきでゝもあつたのかね」

「あたし？　勿論ともさ」彼女はその問ひ方には充分の滿足と誇りとを持つて答へた。

「隨分、長い交際なんだね」

「長い交際？　無論、この先はね、しかし、話し合つたのは昨夜からさ」

「昨夜？」

朱文啓の心は失望させられて了つた。

「昨夜は昨夜でも、妾にはたつた一人の友達なのさ。あの人は手足にかせを掛けられてるのは妾と同じ事なんだよ。あんなに綺麗でもね」

「手足にかせを」

朱文啓の心は不思議におびえて了つた。

が、朱文啓の求めてゐるものは？

この女から、聞き出さうとしてゐるある事柄なのに氣づくとそのおびえた心も元の樣な、冷たさに歸るのであつた。

「さあ、お前の部屋に歸らう。俺はこの明るさを好かないからね」

彼女もそれを聞くと立ち上つた

「あたしも、今日は心が滅入つちやつてしようがないの」

朱は彼女の腕を抱へた。

小さな部屋はホール間近に用意されてゐた。

厚いとばり、茶のブラインドに遮られた窓、ほのかに暗い電氣スタンドの灯り。

彼は、女をソフアに橫はらせると直さまに、訪ね始めた。

「お前は今朝、あの女の騷ぎの時に出會はしたと言ふじやないか」

女はその不意の質問を怪しむかの樣に、彼を見つめた。

「少し今朝は疲れすぎたの。やつとあの頃、家に歸る所だつたからさ」

朱は注意深く口を開いた。

「で、お前はどう思ふ。あの女は助かると思へさうかい」

女の眼は閉ぢられた。

「とても。胸を一さしやられてるからさ」

「あの女は、何か手に持つてゐた筈だ。お前はそれを見なかつたかい」

「見ましたともさ。黑い包をね」

朱文啓の心のせきつきは口に現はれてゐた。

「で、その黑い包は？」

女の記憶はそれに就いては極めて薄かつた。

朱は女にそれを憶ひ起させるのには、かなり努力をしたのであつた。

「あの人をひどく世話をしてる日本人が、驅けつけると直に、何より先に拾つちやつたわ。たしか、さうだと思ふんだけれど」

「その、日本人つてのは、太つた」

「さうよ」

朱文啓は俄に兩手で頭を抱へた

さう思ふと、彼は一時もそのまゝではゐられない樣な氣がするのだつた。

東京時代から、彼は早川啓吉の監視を恐れてゐた。彼と一度さへ面と向ひあつた事さへなかつたものゝ、彼の心と、早川の心とは常に激しい交渉があつた。その早川啓吉に、折角の計畫を覆へされるのは、彼にとつては何よりの苦痛であつたから。

「確にお前は、それを見とゞけたんだね」

女は、物憂げにうなづいて見せた。

女の心は、その黑い包よりも、葉山百合子の傷口に奪かれてゐた。

「ね、旦那。あの女の方は助かりつこはないね。今頃は、ひよつとしたら亡くなつてゐやしないかしらと思ふよ」

彼女の胸には黑い影がかすめて行くのだつた。醉つてゐる身體、それでゐて益々はつきりと醒めて來る心。

が、朱文啓には、その葉山百合子の死と言ふ事よりも、早川啓吉に拾ひ上げられた黑い包に、どれだけ氣を焦ら立たしてゐるかも知れなかつたのだつた。

女は朱の落ちつかない態度に職業的な不安を抱いてゐるのだつた

「今晩は泊つて呉れるの？」

滿日文藝

滿日俳壇

畑打

○　哈爾賓　松本牽牛子

畑打や低く飛び交ふ燕
土の香の漂ふ畑を打ちにけり
ひもすがら一畑を圍り出打かな
今朝の雲いつしか散りぬ畑打
夕づゝや今一打の丘の畑
畑打ちて戻りし父を迎へけり

○　大連　伊東晃水

千町田や川を挾んで打競ひ
門川や投げ込んである田打鍬
白塔の眞下の畑打ちにけり
畑打や金州城はまのあたり
城壁の影さす畑を打てるかな
畑打を畑より呼ぶ晝餉かな
畑打や海に展けし山畑
畑打や離れ離れて遠からず
畑打のあちらこちらに出揃へり

○　撫順　天江雨江

北陵の林に近き田打かな
畑打つ踏切番の夫婦かな
一人も通らぬ山の畑を打つ
畑打の後ろ通るや草摘女
波の音ひゞく棚田を打ちにけり
夕映に畑打つ鍬の光かな
畑打女晝餉のひまの蓬摘み

滿日俳壇募集規定　次回課題「短夜」「衣更」「蝙蝠」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十月六日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八一　島田青峰宛